

平成 23 年度

決算に係る主要な施策の 成果についての報告書

平 戸 市

目 次

主要な施策の成果

(一般会計)

議 会 費	1 頁
総 務 費	3 頁
民 生 費	23 頁
衛 生 費	49 頁
労 働 費	65 頁
農 林 水 産 業 費	67 頁
商 工 費	93 頁
土 木 費	115 頁
消 防 費	137 頁
教 育 費	143 頁
災 害 復 旧 費	185 頁
公 債 費	187 頁

(特別会計)

国 民 健 康 保 険	193 頁
後 期 高 齢 者 医 療	201 頁
介 護 保 険	203 頁
農 業 集 落 排 水 事 業	213 頁
宅 地 開 発 事 業	215 頁
あ づ ち 大 島 い さ り び の 里 事 業	217 頁
電 気 事 業	219 頁

【 1 款 議会費 】

地域住民の代表機関として、地方自治体の最終意思決定機関である地方議会の役割は大幅に増大しており、組織の自己決定権を尊重し、議会の活性化及び公開を図りつつ、住民に理解が得られる議会運営が求められている。

こうした状況の中で、議会の審議能力の向上はもちろんのこと、地方議会の充実強化あるいは議員個々の政策形成能力の高揚に努めた。特に市民の悲願でもある西九州自動車道の早期建設に向け積極的な取り組みを行い、進展がみられた。また、厳しい本市の財政状況の下、議会としても、今後整備が必要となる重要施設について調査研究を行うために、重要施設整備検討特別委員会を設置し、重要施設整備に係る審査を行った。

このような、議会の活動内容を市民に広く知らせるために、議会中継システムや会議録検索システム、そして議会だよりを活用し、開かれた議会の構築に向けて努力を重ねた。

(1) 議員研修

各常任委員会では、先進都市のすぐれた施策等を見聞し、市勢浮揚の一助となるよう所管事務調査等を実施した。

- ・総務委員会 …… 消防行政及び防災時の備えについて
(山梨県南アルプス市、新潟県柏崎市)
- ・産業建設委員会 …… 備前市における五味の市及び下関市における唐戸市場の活用について
(岡山県備前市、山口県下関市)
- ・文教厚生委員会 …… 地域医療連携及び病院事業並びに廃校施設の利活用（福祉施設）について
(広島県尾道市、神石高原町)
- ・議会運営委員会 …… 議会運営及び議会条例・規則・規程について
(大阪府豊中市、大東市)

事業名	事業内容	事業費
議会中継システム 管理事業 (議会事務局) 【事項別明細書 84 頁】	開かれた議会と議会傍聴ができない市民等の利便性向上のため、インターネットによる本会議の生中継、録画中継を行った。	1,659
議会会議録作成経費 (議会事務局) 【事項別明細書 84 頁】	議会内容の記録・保存のため会議録を作成するとともに、ホームページへの掲載を行った。また、議会に関する情報を広く市民に周知するため「市議会だより」を発行した。 ・会議録 2,105 千円 発行回数：年 4 回 発行部数：54 部 ・市議会だより 727 千円 発行回数：定例号 年 4 回 (5 月、8 月、11 月、2 月) 臨時号 年 1 回 (12 月) 発行部数：14,000 部	2,832

(2) 特別委員会

【議会広報特別委員会】

市議会だより「とかいせん」は、定例号 4 回及び臨時号 1 回を発行した。各号発行（臨時号を除く）に際し委員会を 3 回開催し、市民に議会の様子がよりわかりやすく伝わるよう記事・レイアウト等の校正に努めた。

シリーズ「ふるさと宝さがし」では、各地区の行事や歴史を委員が取材し、地域の魅力を発信することで、互いの地区の理解を深め、市民がより身近になることを期待している。

【西九州自動車道整備促進特別委員会】

平成 23 年度も引き続き、伊万里道路、伊万里松浦道路の事業推進及び松浦市から佐々町間の早期事業化に向け、佐賀、長崎河川国道事務所、九州地方整備局、民主党本部、地元選出国会議員等に対し、事業促進に向けて要望活動を行った。

特に中央要望活動は、民間団体と初めて活動を実施したことにより市民の関心がより高まったものと思われる。そうした中で、松浦・佐々間約 19 キロメートルが事業の前提となる環境影響評価の手續きに着手されたことから、一定の要望活動の成果はあったものと思料する。

【重要施設整備検討特別委員会】

重要施設の整備に関する調査研究のために、9 月定例会において設置し、5 回の委員会を開催した。平戸市総合計画実施計画に計上している事業及び合併特例債を活用する事業に財政計画等までを加えた審査を行い、11 月臨時会において中間報告を行った。

(3) 市議会会議録検索システム

会議録検索システムの活用により、インターネット、庁内のネットワークを通して市民や理事者等が本会議の内容を知ることができるなど、情報化時代に即応した事業の展開が図られた。

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,659	いつでも視聴できる環境を提供することで、市民が議会に対し関心を持つ機会を増やせた。 アクセス件数 生中継 1,635 件 録画中継 1,696 件
			2,832	会議録発行と併せて、インターネットによる検索システムにより、いつでも誰でも迅速に、容易に会議録の閲覧ができるようになり、また、市議会だよりを通じて、より身近な議会活動情報を提供し、市民に対し市政への関心を醸成することができた。

【 2 款 総務費 】

1 総務管理費

(1) 一般管理費

少子高齢化、高度情報化などが進展し地方分権が推進される中、複雑多様化する行政ニーズに対応し、分権時代に対応できる環境の整備や職員の資質向上が求められている。こうしたことから、開かれた行政、市民総参加のまちづくりを進めるとともに、長崎県市町村行政振興協議会主催の研修をはじめとする各種研修への職員の参加等を積極的に行った。

2月21日に平戸市市民表彰式を行い、各般にわたって市政の振興に寄与した者や市民の模範と認められる行為があった51人に市民表彰を授与し、個々の業績を称え本市の自治振興を促進した。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地に対して、長崎県被災者支援チームの一員として第4陣から第27陣まで36人、避難所等における健康管理、衛生管理に従事する保健師12人、石巻市漁港施設災害復旧に係る技師2人、合計50人の職員派遣を行った。

地域住民に対し地域の活動や行政施策などを視覚的に周知するため、地域コミュニティ助成事業を活用した自治会掲示板の設置に対する助成を行った。

また、市長自らが各地区に赴き、地域の実情や課題等を把握し、市民の皆さんの声をより市政に反映させるため、移動市長室及び市政懇談会を開催した。

(2) 広報費

広報活動については、市政に関する情報を市民等に広く周知するため、「広報ひらど」の発行及びホームページによる情報発信を行った。

「広報ひらど」とホームページに、市民の声のコーナーを設け、市民の意見を積極的に収集することに努めた。

(3) 情報通信費

平成23年7月24日に完全移行した地上デジタル放送について、難視聴対策のための共聴施設整備に対する補助を行った。

(4) ふるさと振興費

本市では、地方分権、自治体財政の悪化、少子化・高齢化、環境保全や産業の空洞化等、多様化高度化する地域社会の課題に対して、法令等に基づく画一的な行政サービスでは十分な対応が困難となる中、新たなまちづくりのシステムとして、「市民と行政が対等・平等な立場で、お互いを理解し尊重しながら協力してまちづくりを行う」協働によるまちづくりを進めている。

平成23年度は、平戸オランダ商館のオープンに合わせ、市民を主体的とした4つの提案事業を行い、平戸オランダ商館の開館を幅広くPRした。また、平成22年度から組織されている市民参加型のプロジェクトチームによる「平戸オランダ商館」を核としたまちづくりの中・長期アクションプランの策定を行い、市民のアイデア等、市政に反映できるよう提言を受けた。

また、定住対策については、ホームページ等による情報提供や定住希望者への相談対応、また、田舎暮らし体験ツアーの開催により、本市への定住の促進を図った。

さらに、独身男女のめぐりあいの場を提供するイベントを農林、水産、商工関係団体及び市で組織する協議会主催において開催した。

(5) 国際交流費

西暦2000年のながさき阿蘭陀年を契機に、オランダ王国ノールトワイケルハウト市との青少年サッカー交流を通して、両市における相互訪問や多彩な文化交流により友好関係を築いてきたが、1639年築造倉庫平戸オランダ商館が復元され、両市のさらなる友好と交流の発展を目的に平成23年9月18日に姉妹都市締結を行った。

また、交際交流につながる活動を行う団体の交流活動に対し助成を行うことで、市民団体レベルでの国際交流を推進することができた。

さらに、友好都市である中国福建省南安市との交流では、市民訪問団の派遣を行い友好親善が図られた。

(6) 国土調査事業

本事業は、土地の保全及びその利活用の高度化に資するとともに、地籍の明確化及び土地行政の円滑化を図り、土地に関する紛争の未然防止や早期解決、土地取引や公共工事の円滑化など、市民生活並びに行政施策ともに効果性の高い事業として実施した。

(7) 交通政策費

度島、高島地区の生活航路を維持・確保するため、離島航路の運航補助や運航委託を行った。また、地方バス路線の確保を図り、地域住民の福祉の向上に資するため、ふれあいバスの運行補助などを行った。

さらに、鉄道交通の安全性の確保と利便性の向上のため、松浦鉄道(株)が行う施設整備に対し支援を行った。

(8) 諸費

市内6カ所で市民総合相談所を開設するとともに、市民課内に市民総合相談室を常設し、市民が気軽に相談できる機会を設け、市民の悩み、相談、トラブル等の解決を図るための助言等を行った。

【 2 款 総務費 】

2 徴 税 費

賦課事務については、地方税法、市税条例等を基に公平・公正とし、電子申告をインターネットを通じて受け付けることができる「eLTAX システム」の導入が完了し、利用者の利便性と事務の軽減化・経費削減が図られた。

徴収事務については、デフレ等による景気低迷が続く中で、依然として滞納整理を取巻く環境は厳しい状況にあるが、「納税推進行動計画」に基づき、滞納整理の促進に努めた。

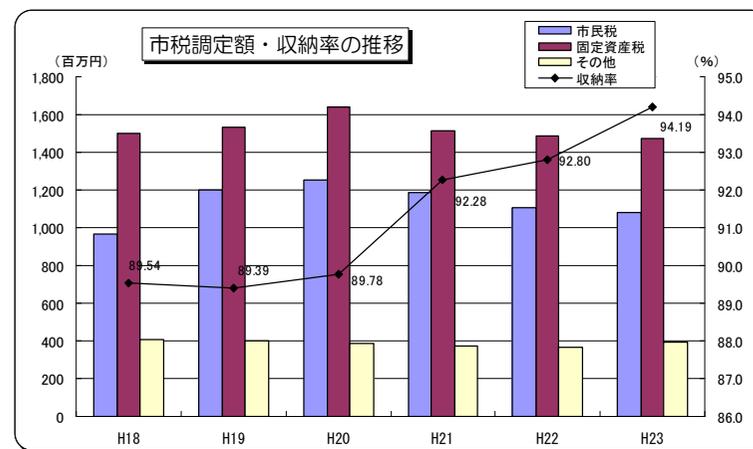
特に平成 20 年度から実施している「搜索」等により滞納者の生活実態を把握し、納税相談を行う中で多重債務等の解消についても指導を行うなど、納税者の生活再建にも寄与するとともに、税に対する納税意識の高揚にも繋がっている。このような取り組みの結果、過払い金の還付による自主納付の増加や差押えによる公売会の実施などの効果があり、滞納繰越分の収納率が飛躍的に増加し、県下でもトップとなった。

しかしながら、過払い金の請求等については効果が限定的なこともあり、今後も研修等による滞納整理担当職員の資質向上に努めるとともに、引き続き「長崎県地方税回収機構」と連携し、搜索や合同公売会を実施するなど、さらなる徴収事務の推進に努めていきたい。

調定額、収入額及び収納率の推移 (単位：千円、%)

年度 税目	平成 22 年度			平成 23 年度		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
市 民 税	1,103,384	1,052,756	95.4	1,082,145	1,046,922	96.7
固定資産税	1,485,243	1,335,915	89.9	1,471,166	1,345,074	91.4
軽自動車税	95,205	89,275	93.8	94,138	89,538	95.1
市たばこ税	186,122	186,122	100.0	211,994	211,994	100.0
入 湯 税	26,249	24,955	95.1	27,973	27,973	100.0
都市計画税	60,637	54,783	90.3	60,311	55,002	91.2
計	2,956,840	2,743,806	92.8	2,947,727	2,776,503	94.2
うち滞納繰越	215,907	60,058	27.8	190,990	79,744	41.8

※滞納繰越分を含む。



3 選 挙 費

次の選挙を執行した。

長崎県議会議員一般選挙

(投票日：平成 23 年 4 月 10 日)

長崎県北部海区漁業調整委員会委員補欠選挙

(投票日：平成 23 年 4 月 18 日)

平戸市農業委員会委員一般選挙

(投票日：平成 24 年 2 月 19 日)

いずれの選挙においても無投票となった。

4 統計調査費

平成 23 年度において、統計法に基づく以下の統計調査を実施した。

- ① 経済センサス

事業名	事業内容	事業費
市民表彰制度事業 (総務課) 【事項別明細書 88 頁】	本市の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与した者や市民の模範と認められる行為があった者など 51 人に市民表彰を授与した。 平戸市市民表彰式 期日 平成 24 年 2 月 21 日 場所 平戸文化センター 表彰 特別 体育 2 人 個人 地方自治 9 人 社会福祉 15 人 保健 2 人 産業 1 人 交通安全 1 人 寄附 1 人 消防防災 10 人 人命救助 2 人 体育 6 人 教育 2 人	164

財 源 内 訳				事業の成果
国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
			164	市政功労者・功績者等の表彰を行うことにより、事績を広く紹介し、市勢の振興と経済、社会、文化等の発展に対する市民の意識の高揚を図ることができた。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
東日本大震災被災地支援事業 (総務課) 【事項別明細書 90 頁】	平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被災地支援として、保健師などの職員派遣を行った。 ・保健師派遣（健康管理ほか） 5 月 26 日～8 月 25 日 12 人 ・長崎県被災者支援チーム派遣（罹災証明ほか） 5 月 13 日～3 月 6 日 36 人 ・石巻市漁港施設災害復旧に係る技師派遣（測量設計ほか） 11 月 22 日～2 月 24 日 2 人	13, 293
本庁舎耐震化等計画策定事業 (総務課) 【事項別明細書 90 頁】	本庁舎耐震補強の工法等の検討を行い、「平戸市本庁舎耐震化計画」を策定した。併せて、新庁舎建設に係る建築工事費の試算を行った。	630
自治会掲示板設置事業 (政策推進課) 【事項別明細書 90 頁】	地域における住民相互の連絡や行政機関等の情報を視覚的に周知するため、掲示板が設置されていない地区等において、設置にかかる費用を助成した。 ・助成対象地区 田平地区全域 ・設置箇所数 26 箇所 ・設置場所 各地区公民館	2, 500
消費者相談室等整備事業 (総務課) 【事項別明細書 94 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈住民生活に光をそそぐ交付金事業〉 消費者相談等に係る相談者のプライバシー保護のための相談室整備を行った。併せて、福祉相談室の空調設備整備を行った。	1, 671
移動市長室開催事業 (政策推進課) 【事項別明細書 94 頁】 【事項別明細書 96 頁】	地域の実情や課題を把握し、市民の声を市政に反映させるため、市長自ら各地域に赴き、地域住民との意見交換を行った。 (開催状況) 移動市長室 6 箇所 19 人 市政懇談会 7 箇所 407 人	47
平戸市振興公社公益法人移行事業 (企画課) 【事項別明細書 98 頁】	公益法人制度改革に伴い、(財)平戸市振興公社が旧法から新法に基づく法人へ移行する際に必要となる手続き等を専門家へ委託する経費に対し、助成を行った。 全体事業費 3, 360 千円(H23 1, 680 千円 H24 1, 680 千円)	1, 680

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		5, 307	7, 986	東日本大震災により、未曾有の災害を被った被災地に対して、業務支援のための職員を派遣することにより、被災地の復興に貢献した。
			630	多数の耐震補強工法から本庁舎に最適な工法の検討を行うとともに建替えに係る建築工事費の試算を行ったことにより、本庁舎の耐震化工法の判断に関する指針となった。
		2, 500		地域住民の目に触れやすい場所に掲示板を設置することができ、住民に対し地域の活動や行政情報等を視覚的に周知することができるようになった。
1, 540			131	相談室として事務所と隔離することにより、相談者のプライバシー保護と安心感の向上に寄与した。
			47	各地域や市民一人ひとりが抱える問題・課題について、生の声を直接耳にすることで、実態把握ができ、今後のまちづくりに活かすための課題を整理することができた。
			1, 680	本事業により、新法に適合するための財務状況の把握や寄附行為の整備などの手続きが円滑に進められている。

事業名	事業内容	事業費
無線システム普及支援事業 (政策推進課) 【事項別明細書 100 頁】	平成 23 年 7 月 24 日の地上デジタル放送移行に伴う難視聴対策として、共聴施設の整備に対する補助を行った。 実施地域 1 件 19 世帯(山野地区)	28,837
高齢者交通安全対策事業 (市民課) 【事項別明細書 108 頁】	全国的に交通死亡事故は減少の傾向にあるが、交通死亡事故の当事者となる高齢者の比率は高くなっていることから、高齢者に対する体験型の運転講習会を行った。	189
地域間交流推進事業 (政策推進課) 【事項別明細書 110 頁】 【事項別明細書 112 頁】	【枝幸町・平戸市いきいき交流事業】 8 月 3 日～7 日 平成14年度から始まった北海道枝幸町(旧歌登町)との交流事業は、今年度、枝幸町より中学生 6 名が本市を訪問し、ホームステイや漁師体験等を通して、市内の中学生や地域住民と親睦を図った。 【善通寺市市民号訪問】 11 月 2 日～4 日 昭和60年に弘法大師が取り持つ縁で姉妹都市締結を行っている香川県善通寺市とは、隔年ごとに相互訪問を実施。今年度は、本市より善通寺市市民号訪問団 25 名が友好親善として交流を図った。	858
地域総合整備資金貸付事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】	地域振興に資する民間事業者の支援を目的とした融資制度について、平戸市森林組合が行う檜木生産センター増築工事に対し貸付を行った。 貸付対象事業費 328,587 千円 財源内訳(国費 164,293 千円 市費 52,574 千円 森林組合負担額 111,720 千円) 貸付金 27,000 千円(森林組合負担額×25%) 新規雇用者 5 名予定	27,000
地域めぐりあい創出事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】	農林、水産、商工関係団体及び市で組織する協議会において、独身男女のめぐりあいの場を提供するイベントを開催した。 ○イベント開催数 7 回 参加者 男性 46 人 女性 40 人	772

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,700	20,580	557	この事業を行ったことで、地上デジタル放送移行に伴って、新たな難視聴地域となった世帯の良好な受信環境を保つことができた。
			189	講習会を受講したことにより、自身の運動能力、判断力等の低下を自覚することができ、日常生活において、さらに安全意識を向上させることにつながった。 【参加人数】 1 日目：18 人(平戸地区) 2 日目：18 人(生月・田平・大島地区)
			858	この事業を行ったことで、姉妹都市及び交流都市と市民レベルでの親睦と交流を深めるとともに、「平戸くんち城下秋まつり」にも特産品が出品されるなど、今後も人的交流とともに物産交流などが期待される。
	27,000			長期かつ無利子の貸付により事業者の負担軽減が図れたとともに、本市の産業振興・雇用促進に寄与した。
99		499	174	協議会主催でのイベントということもあり、安心感をもった参加につながっている。また、今年度は協議会の傘下団体が主体となったイベントを実施するなどの団体育成も図った。

事業名	事業内容	事業費
平戸オランダ商館活用まちづくり推進事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】	平戸オランダ商館を活用したまちづくりを実施するため、平戸北部の中心市街地の市民を中心に平成 22 年度から、プロジェクトチーム及びワーキンググループを組織しアクションプランを検討・策定。23 年度は引き続き、地域資源を総合的に活かす商品開発などのソフト事業やハード事業、及び産業と雇用の創出により企業や団体、NPO などが進出可能な中・長期のアクションプランを策定した。 ・平戸オランダ商館活用まちづくりのための会議の開催 プロジェクトチーム会議 3 回 ワーキングチーム会議 9 回 中長期アクションプランの提案 3 月 23 日	762
平戸オランダ商館活用まちづくり提案事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】	平戸オランダ商館を活用したまちづくりを実施するため、22 年度に短期アクションプランとして策定した 4 つの事業を実施した。 ・平戸オランダ商館 CI 事業 1,150 千円 ・食べて知るオランダ 460 千円 ・オランダ商館花開くプロジェクト 922 千円 ・平戸ゾンダーク 850 千円	3,382
協働によるまちづくり推進事業 (企画課) 【事項別明細書 112 頁】 【事項別明細書 114 頁】	本市が目指す協働は、市民が「自ら考え」「自らの力で」実行することを基本におき、市民と行政がお互いを理解し、尊重しながら、それぞれの役割を担い、ともに地域を支えあうことを目的に、まちづくりを進めた。 平成 23 年度では、引き続き支援制度に基づき、市税の 1% 相当額を各地域に配分して事業を行う「地域コミュニティ活動推進事業補助金」をはじめとし、市民活動の支援体制を継続し、地域の市民団体等の活動の推進を図った。 ・やらんば市民活動モデル事業 1 件 委託料 110 千円 ・平戸地域コミュニティ活動推進事業補助金 合計：19 件 5,888 千円 ① 平戸地区 4 件 補助額 1,443 千円 ② 生月地区 2 件 補助額 205 千円 ③ 田平地区 10 件 補助額 3,591 千円 ④ 大島地区 3 件 補助額 649 千円 ・市民力アップ支援事業補助金 1 件 補助額 7,144 千円 ・まちづくり活性化交付金 合計：11 件 13,946 千円 ① 生月地区 4 件 交付額 6,375 千円 ② 田平地区 5 件 交付額 4,103 千円 ③ 大島地区 3 件 交付額 3,468 千円 ・その他(旅費など事務費) 386 千円	27,474

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			762	この事業を行ったことで、市民と行政の垣根を越えたまちづくりが推進され、市民が主体となる「参画と連携による協働のまちづくり」の仕組みづくりに寄与できた。
			3,382	平戸オランダ商館のオープンに合わせて、平戸オランダ商館を広く全国にアピールすることができ、かつ、市民としての意識醸成を図ることができた。
	19,900	5,715	1,859	この事業を行うことで、新たな地域コミュニティ形成や市民活動に対する意識の高揚が図られ、民間団体等の育成に寄与した。 さらに、まちづくり活性化交付金を生月・田平・大島に交付することで、地域の特性を活かしたまちづくり推進に寄与した。

事業名	事業内容	事業費								
定住促進対策事業 (企画課) 【事項別明細書 114 頁】	ホームページ等による定住関連情報の提供を行うとともに、都市圏において開催された「ながさき田舎暮らしキャラバン」等に参加し、本市への定住希望者への相談対応を行った。 また、平戸ならではの生活を体験してもらうための「田舎暮らし体験ツアー」を開催した。 ○ながさき田舎暮らしキャラバン及びふるさと回帰フェア <table border="1"> <thead> <tr> <th>会場名</th> <th>本市相談者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京会場</td> <td>12組 17名</td> </tr> <tr> <td>大阪会場</td> <td>8組 8名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20組 25名</td> </tr> </tbody> </table> ○平戸市田舎暮らし体験ツアー 参加者 1回目1組2名 2回目7組11名	会場名	本市相談者	東京会場	12組 17名	大阪会場	8組 8名	合計	20組 25名	1,971
会場名	本市相談者									
東京会場	12組 17名									
大阪会場	8組 8名									
合計	20組 25名									
「やらんば！平戸」応援基金プロジェクト事業 (企画課) 【事項別明細書 114 頁】	ふるさと納税制度を受けて創設した「やらんば！平戸」応援基金について、平戸市総合計画の「やらんば燦燦プロジェクト」を達成するための事業への活用を行った。 ・観光情報端末(1台) 1,087千円 ・総合百科事典ポブラディア(3か所) 309千円 ・緊急出産搬送用保育器(1台) 1,113千円 ・貸出用ベビーベッド(10台) 300千円 ・リクライニング式車椅子(1台) 47千円	2,856								
田平港シーサイドエリア活性化事業 (政策推進課) 【事項別明細書 116 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 ◎活性化施設 363,893 千円 名称 平戸市田平港シーサイドエリア活性化施設 構造 鉄筋コンクリート造 2階建 面積 1202.45㎡ 施設内容 1階部分 710.52㎡ 農水産物直売所、観光案内、管理事務所、トイレ、その他 2階部分 491.93㎡ レストラン、展望デッキ、その他 ◎荷捌施設 211,715 千円 名称 平戸市田平港シーサイドエリア荷捌施設 構造 鉄骨造平屋建 面積 2,170㎡ 施設内容 セリ場、活魚ストック、仲買立替場、作業場	575,608								

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,274	697	キャラバンやホームページ等による情報発信により 98 件の相談を受け、6 世帯 13 名の U I ターン者の定住につながった。 ○U I ターン者数 平成 21 年度 4 世帯 13 名 平成 22 年度 6 世帯 13 名 平成 23 年度 6 世帯 13 名
		2,856		本事業により、観光プロモーションの強化、医療提供体制の充実などが図られた。今後ともふるさと応援寄付金の推進を図るとともに、寄附者の意向を反映した効果的な基金の運用を行っていく。 ○「やらんば！平戸」応援基金残高 2,491 千円(H23 末)
		485,353	90,255	観光地平戸の玄関口としての情報発信機能や直売所、産直レストランを備えた施設を整備するとともに、他の類似施設との差別化を図るため、隣接する既存魚市場の整備を行い、田平港の特異性でもある景勝を活かした魅力ある物流・情報発信の拠点施設として整備することができた。

事業名	事業内容	事業費																										
国際交流員招致事業 (政策推進課) 【事項別明細書 116 頁】 【事項別明細書 118 頁】	青少年日蘭交流事業などの国際交流事業を円滑に実施するため、国際交流員 1 名（オランダ人）を雇用し、通訳業務を行うとともに、学校訪問や各種イベント等において、異文化の理解を深める交流を行った。	4,671																										
南安市友好訪問団派遣事業 (政策推進課) 【事項別明細書 118 頁】	鄭成功との歴史的な繋がり、本市と友好都市を締結している中国福建省南安市との友好親善を深めるため、友好訪問団の派遣を行った。 友好訪問団 13 名 実施期間 平成 24 年 2 月 20 日（月）～24 日（金）	1,091																										
青少年日蘭交流事業 (政策推進課) 【事項別明細書 118 頁】	オランダ・ノールトワイケルハウト市よりサッカークラブチーム VVSB の選抜選手 14 名を含む 20 名を招聘し、市内中学生との親善試合やホームステイ等による文化交流を通しての国際交流を行った。 実施期間 平成 23 年 8 月 4 日（木）～10 日（水）	4,953																										
ノールトワイケルハウト市姉妹都市締結事業 (政策推進課) 【事項別明細書 118 頁】	西暦 2000 年のながさき阿蘭陀年を契機に、オランダ王国ノールトワイケルハウト市との交流を行ってきたが、1639 年築造倉庫平戸オランダ商館の復元を記念し、姉妹都市の締結を行った。 姉妹都市締結日 平成 23 年 9 月 18 日（日）	187																										
国土調査事業 (建設課) 【事項別明細書 118 頁】 【事項別明細書 120 頁】	本事業は、土地の保全及びその利活用の高度化に資するとともに、併せて地籍の明確化を図り土地行政の円滑化を図り、土地に関する紛争の未然防止や早期解決、土地取引や公共工事の円滑化のために、岩の上第 2-2-1、第 3-1 地区及び大久保第 2 地区の地籍調査を実施した。 ①岩の上地区地籍調査業務委託 ②大久保地区地籍調査業務委託 ③地籍調査数値情報化業務委託	68,765																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>工程</th> <th>面積</th> <th>筆数</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①</td> <td>D・E・F</td> <td>0.93 k m²</td> <td>1,307 筆</td> <td rowspan="2">44,755</td> </tr> <tr> <td>G・H</td> <td>0.80 k m²</td> <td>1,221 筆</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td>D・E・F</td> <td>0.30 k m²</td> <td>291 筆</td> <td rowspan="2">13,650</td> </tr> <tr> <td>G・H</td> <td>0.30 k m²</td> <td>601 筆</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>H4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>651</td> </tr> </tbody> </table>	事業	工程	面積	筆数	事業費 (千円)	①	D・E・F	0.93 k m ²	1,307 筆	44,755	G・H	0.80 k m ²	1,221 筆	②	D・E・F	0.30 k m ²	291 筆	13,650	G・H	0.30 k m ²	601 筆	③	H4	—	—	651	
事業	工程	面積	筆数	事業費 (千円)																								
①	D・E・F	0.93 k m ²	1,307 筆	44,755																								
	G・H	0.80 k m ²	1,221 筆																									
②	D・E・F	0.30 k m ²	291 筆	13,650																								
	G・H	0.30 k m ²	601 筆																									
③	H4	—	—	651																								

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,900	22	749	この事業を行ったことで、オランダなどの交流事業の際に、円滑に事業運営ができた。また、学校訪問や各種イベント等を通じて異文化への理解に貢献するとともに、市民レベルでの国際交流を推進することができた。
			1,091	友好訪問団を派遣することにより、友好親善を深めることができた。
		3,748	1,205	この事業を行ったことで、サッカーの技術向上はもとより、ホームステイ等の異文化を通して国際理解を深めるとともに、平戸とオランダの歴史を再認識する機会を提供することができ、次代を担う少年たちに夢と希望を与えることができた。
			187	10 年間に及ぶ青少年サッカー交流を通しての両市民の相互訪問や 12 X オランダ等の多彩な文化交流を通じて友好を深め、市民と行政が一体となった交流が実を結び、オランダ大使並びに総領事臨席のもと、両市のよきパートナーとして共に発展し、一層の友好関係を促進する新たな旅立ちの証として、姉妹都市の締結を行うことができた。
45,750		28	22,987	平成 23 年度は、岩の上第 2-2-1、第 3-1 地区及び大久保第 2 地区の地籍調査を実施し、次年度の地積測定、地積図及び地積簿の作成のための準備を完了することができた。 平成 21 年度に実施した度島第 4 地区及び岩の上第 1 地区の調査の成果を法務局へ送付することができた。 また、度島第 4 地区、岩の上第 1 地区の成果について、数値情報化による土地情報管理システムのための基礎データを作成することにより、国土調査の成果の管理と利活用が図られた。

事業名	事業内容	事業費														
地籍調査情報電子化事業(建設課) 【事項別明細書 120 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 過年度地籍調査成果の維持管理及び土地利用の利活用を図るため、地籍調査の成果である地籍図、地籍簿等に付随する調査票を電子化し土地情報管理システムと連携させる準備を行った。	1,675														
離島航路対策事業(企画課) 【事項別明細書 120 頁】 【事項別明細書 122 頁】	度島地区住民の生活航路を維持するため、平戸一度島航路の運航事業者に対し運航補助を行った。また、大島・度島航路の悪天候時の薄香港寄港の際における臨時バスの運行委託を行った。 ○航路：平戸一度島(本村、飯盛)1日4便1,444回運行 旅客人員81,288人、自動車台数9,966台 ○臨時バス：78回運行、利用者1,625人	22,248														
高島地区航路対策事業(企画課) 【事項別明細書 122 頁】	高島地区住民の生活航路を確保するため、宮の浦－高島航路の運航委託を行った。 ○宮の浦－高島：343回運行、利用者614人	1,351														
路線バス維持対策事業(企画課) 【事項別明細書 122 頁】	地方バス路線の確保を図り、地域住民の福祉の向上に資するため、不採算路線を運行するバス事業者に対し運行補助・委託を行った。 ○市内生活路線維持費補助 39,340千円 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td></td> <td>平戸北部</td> <td>生月</td> <td>大島</td> </tr> <tr> <td>路線系統数</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table> ○広域生活路線維持費補助 2,649千円 路線系統数 1路線 平戸～松浦線 ○ふれあいバス運行业務委託 16,920千円 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td></td> <td>平戸中部</td> <td>平戸南部</td> </tr> <tr> <td>路線系統数</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> </table>		平戸北部	生月	大島	路線系統数	3	1	7		平戸中部	平戸南部	路線系統数	7	3	58,958
	平戸北部	生月	大島													
路線系統数	3	1	7													
	平戸中部	平戸南部														
路線系統数	7	3														
松浦鉄道施設整備事業(企画課) 【事項別明細書 122 頁】	鉄道交通の安全性を確保するため、松浦鉄道(株)が新経営改善計画(平成16年度～25年度)に基づき行う老朽化施設の整備に対し、長崎県・佐賀県及び沿線自治体で支援を行った。 事業費：380,984千円 事業内容：車両更新(2両)、レール重量化、分岐器重量化など	12,634														

財源内訳				事業の成果																																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																	
1,668		7		地籍調査の成果である地籍図、地籍簿等に付随する調査票の電子化を行い土地情報管理システムと連携させるための基礎データを作成することができた。併せて、緊急雇用により雇用の創出につながった。 新規雇用失業者数 2名																																
			22,248	離島航路を維持するとともに、航路利用者の利便性の向上が図られた。 ○旅客人員等の推移 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>区分</td> <td>21年度</td> <td>22年度</td> <td>23年度</td> </tr> <tr> <td>運航回数(回)</td> <td>1,458</td> <td>1,452</td> <td>1,444</td> </tr> <tr> <td>旅客人員(人)</td> <td>80,018</td> <td>80,122</td> <td>81,288</td> </tr> <tr> <td>自動車台数(台)</td> <td>9,091</td> <td>8,687</td> <td>9,966</td> </tr> </table>	区分	21年度	22年度	23年度	運航回数(回)	1,458	1,452	1,444	旅客人員(人)	80,018	80,122	81,288	自動車台数(台)	9,091	8,687	9,966																
区分	21年度	22年度	23年度																																	
運航回数(回)	1,458	1,452	1,444																																	
旅客人員(人)	80,018	80,122	81,288																																	
自動車台数(台)	9,091	8,687	9,966																																	
			1,351	高島地区住民の交通手段の確保に寄与した。 ○利用者数の推移(単位：人) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>区分</td> <td>21年度</td> <td>22年度</td> <td>23年度</td> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>636</td> <td>639</td> <td>614</td> </tr> </table>	区分	21年度	22年度	23年度	利用者	636	639	614																								
区分	21年度	22年度	23年度																																	
利用者	636	639	614																																	
		2,381	56,577	ふれあいバスの運行により、交通空白地帯の解消、通勤・通学・通院などの生活路線の確保に寄与した。 ○利用者数の推移(単位：人) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>区分</td> <td>21年度</td> <td>22年度</td> <td>23年度</td> </tr> <tr> <td>北部地区</td> <td>89,804</td> <td>86,523</td> <td>83,812</td> </tr> <tr> <td>中部地区</td> <td>17,488</td> <td>17,353</td> <td>16,223</td> </tr> <tr> <td>南部地区</td> <td>10,304</td> <td>9,799</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td>生月地区</td> <td>7,633</td> <td>5,532</td> <td>5,621</td> </tr> <tr> <td>大島地区</td> <td>14,007</td> <td>11,485</td> <td>9,883</td> </tr> <tr> <td>平戸・松浦線</td> <td>38,533</td> <td>37,274</td> <td>37,361</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>177,769</td> <td>167,966</td> <td>163,900</td> </tr> </table>	区分	21年度	22年度	23年度	北部地区	89,804	86,523	83,812	中部地区	17,488	17,353	16,223	南部地区	10,304	9,799	11,000	生月地区	7,633	5,532	5,621	大島地区	14,007	11,485	9,883	平戸・松浦線	38,533	37,274	37,361	合計	177,769	167,966	163,900
区分	21年度	22年度	23年度																																	
北部地区	89,804	86,523	83,812																																	
中部地区	17,488	17,353	16,223																																	
南部地区	10,304	9,799	11,000																																	
生月地区	7,633	5,532	5,621																																	
大島地区	14,007	11,485	9,883																																	
平戸・松浦線	38,533	37,274	37,361																																	
合計	177,769	167,966	163,900																																	
	12,000		634	本整備により、鉄道交通の安全性の確保と利用者の利便性の向上に寄与した。 ○松浦鉄道(株) 営業路線：有田駅～佐世保駅 93.8km <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>区分</td> <td>21年度</td> <td>22年度</td> <td>23年度</td> </tr> <tr> <td>駅数</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>車両数</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">乗客数(千人)</td> <td>普通</td> <td>1,098</td> <td>1,038</td> <td>1,062</td> </tr> <tr> <td>定期</td> <td>1,809</td> <td>1,859</td> <td>1,841</td> </tr> </table>	区分	21年度	22年度	23年度	駅数	57	57	57	車両数	26	26	23	乗客数(千人)	普通	1,098	1,038	1,062	定期	1,809	1,859	1,841											
区分	21年度	22年度	23年度																																	
駅数	57	57	57																																	
車両数	26	26	23																																	
乗客数(千人)	普通	1,098	1,038	1,062																																
	定期	1,809	1,859	1,841																																

事業名	事業内容	事業費
鉄道駅周辺緊急環境整備支援事業 (企画課) 【事項別明細書 122 頁】	本市の鉄道の玄関口であるたびら平戸駅のトイレについて、老朽化に伴い、松浦鉄道(株)が行う建替え整備に対する補助を行った。 事業費 26,644 千円 財源内訳 県費 20,489 千円 市費 6,155 千円 構造 鉄筋コンクリート造平屋 面積 22.45 m ²	6,155
市民総合相談開催事業 (市民課) 【事項別明細書 124 頁】	市内 6 か所で相談所を開催し、市民が気軽に相談できる機会を設け、市民の悩みの解決を図った。 開設日及び相談件数 大島地区 5月16日 3件 生月地区 7月15日 3件 田平地区 8月25日 3件 平戸北部地区 10月18日 0件 (度島地区) 平戸南部地区 11月16日 1件 平戸中部地区 2月15日 1件 市民課(常設) 68件 合計 79件	89
市民総合相談室設置事業 (市民課) 【事項別明細書 126 頁】	長崎県消費者行政活性化基金事業を活用し、消費者相談員の配置及び啓発活動を実施した。 また、市民総合相談室を常設し、市民が相談しやすい環境を整えた。 ・相談件数 77 件	2,890
eLTAX システム導入事業 (税務課) 【事項別明細書 126 頁】	平成 23 年 12 月からインターネットを利用して給与支払報告書、法人市民税、償却資産の申告ができるシステムを導入した。(電子申告)	2,552

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,800		355	本整備により、利用者の利便性の向上に寄与するとともに、栗林慧氏の作品の壁面ラッピングを施すことにより、日本最西端の駅として更なるイメージアップに繋がった。
			89	行政相談委員や人権擁護委員などの各分野での専門的な相談委員の協力を得て開催し、近年の増加する相談依頼や、複雑な相談内容などの最善策を模索し、市民がかかえる問題の解決に寄与した。
2,777		11	102	消費者相談員及び啓発活動の充実を図ることによって、地域住民の財産を守るとともに、専門員の配置による関係機関との連携強化によって、迅速な解決に繋げることができた。 ・解決件数 77 件
			2,552	電子データでの受け渡しをすることにより、迅速な事務処理ができ、また、事務の軽減化・経費削減につながった。 [時間外手当の時間数] 平成 22 年度 609 時間 (7 人) 平成 23 年度 565 時間 (6 人) [電子申告の件数] 給与支払報告書 17,246 件の内 324 件 法人市民税 758 件の内 32 件 償却資産 1,247 件の内 14 件

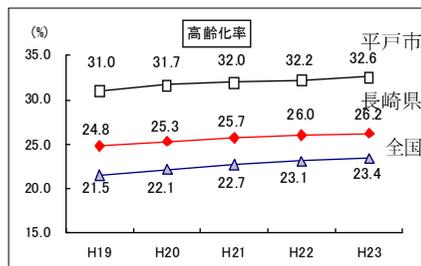
事業名	事業内容	事業費																																																								
収納対策推進事業 (税務課) 【事項別明細書 130 頁】	<p>「長崎県地方税回収機構」と連携し、搜索や搜索等による差押物件の合同公売会を実施するなど、滞納対策を積極的に行った。</p> <p>また、本年度から国保事業と連携したFP（ファイナンシャルプランナー）による納税相談の実施や国税OBによる指導を受けるなど収納対策の強化を図った。</p> <p>○滞納処分件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付要求</td> <td>33</td> <td>30</td> <td>43</td> <td>45</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">差</td> <td>債権</td> <td>201</td> <td>637</td> <td>796</td> <td>1,257</td> <td>1,180</td> </tr> <tr> <td>動産</td> <td>0</td> <td>37</td> <td>101</td> <td>121</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">押</td> <td>不動産</td> <td>10</td> <td>28</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>自動車等</td> <td>1</td> <td>44</td> <td>38</td> <td>26</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>245</td> <td>776</td> <td>987</td> <td>1,460</td> <td>1,337</td> </tr> </tbody> </table> <p>○搜索件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搜索</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>70</td> <td>95</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	交付要求	33	30	43	45	24	差	債権	201	637	796	1,257	1,180	動産	0	37	101	121	89	押	不動産	10	28	9	11	29	自動車等	1	44	38	26	15	合計	245	776	987	1,460	1,337		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	搜索	0	19	70	95	61	580
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度																																																					
交付要求	33	30	43	45	24																																																					
差	債権	201	637	796	1,257	1,180																																																				
	動産	0	37	101	121	89																																																				
押	不動産	10	28	9	11	29																																																				
	自動車等	1	44	38	26	15																																																				
合計	245	776	987	1,460	1,337																																																					
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度																																																					
搜索	0	19	70	95	61																																																					
長崎県議会議員一般選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 134 頁】	<p>任期満了に伴う長崎県議会議員一般選挙が平成23年4月1日告示、同月10日投票の日程で執行された。</p> <p>選挙すべき議員の数 1人 告示日：平成23年4月1日(金) 投・開票日：平成23年4月10日(日)</p>	1,328																																																								
長崎県北部海区漁業調整委員会委員補欠選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 136 頁】	<p>欠員に伴う、長崎県北部海区漁業調整委員会委員補欠選挙を執行した。</p> <p>選挙すべき委員の数 1人 告示日：平成23年4月9日(土) 投票日：平成23年4月18日(月)</p>	62																																																								
平戸市農業委員会委員一般選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 134 頁】	<p>任期満了に伴う、平戸市農業委員会委員一般選挙を執行した。</p> <p>選挙すべき委員の数 26人 告示日：平成24年2月12日(日) 投票日：平成24年2月19日(日)</p>	317																																																								

財源内訳				事業の成果																																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		328	252	<p>○滞納処分にかかる税充当の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>税充当金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得税還付金</td> <td>33件</td> <td>1,274千円</td> </tr> <tr> <td>預貯金</td> <td>714件</td> <td>26,161千円</td> </tr> <tr> <td>動産</td> <td>89件</td> <td>1,754千円</td> </tr> <tr> <td>給与</td> <td>169件</td> <td>15,000千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>332件</td> <td>16,926千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,337件</td> <td>61,115千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○公売の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>税充当金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インターネット公売</td> <td>8回</td> <td>1,244千円</td> </tr> <tr> <td>合同公売会</td> <td>5回</td> <td>1,129千円</td> </tr> <tr> <td>期間入札公売</td> <td>12回</td> <td>96千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25回</td> <td>2,469千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※件数、税充当金額については国保税等にかかる分を含む。</p>		件数	税充当金額	所得税還付金	33件	1,274千円	預貯金	714件	26,161千円	動産	89件	1,754千円	給与	169件	15,000千円	その他	332件	16,926千円	合計	1,337件	61,115千円		回数	税充当金額	インターネット公売	8回	1,244千円	合同公売会	5回	1,129千円	期間入札公売	12回	96千円	合計	25回	2,469千円
	件数	税充当金額																																						
所得税還付金	33件	1,274千円																																						
預貯金	714件	26,161千円																																						
動産	89件	1,754千円																																						
給与	169件	15,000千円																																						
その他	332件	16,926千円																																						
合計	1,337件	61,115千円																																						
	回数	税充当金額																																						
インターネット公売	8回	1,244千円																																						
合同公売会	5回	1,129千円																																						
期間入札公売	12回	96千円																																						
合計	25回	2,469千円																																						
1,328				<p>選挙の結果は、下記のとおり。 定数内の立候補のため無投票 当日有権者 (男)13,701人 (女)16,093人 (計)29,794人</p>																																				
62				<p>選挙の結果は、下記のとおり。 定数内の立候補のため無投票</p>																																				
			317	<p>選挙の結果は、下記のとおり。 定数内の立候補のため無投票</p>																																				

【 3款 民生費 】

1 社会福祉費

本市の高齢化率は、県下の中でも高く、これと相まって少子化現象もさらに進行するなど、福祉を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。このため、社会全体で支える介護保険制度の円滑な運営とともに、高齢者が健康で暮らしやすいまちづくりを目指して、在宅福祉のサービスの充実を努めた。また、障害者対策については、地域の中で自立し、生活するための社会参加型の福祉サービスを実施した。



(1) 社会福祉対策

高齢社会における地域福祉の向上を目的として、民生委員児童委員及び社会福祉協議会との連携により、積極的に市民のニーズに応じた相談、各種サービス等を提供した。

(2) 障害者福祉対策

障害者の高齢化や核家族化など、様々な状況の変化により、行政に求められるニーズも多種・多様化している現状である。また、平成18年に障害者自立支援法が施行され、措置から利用者事業所との契約による利用へと移行した。これに伴い、申請手続きにおいて利用者個々のサービス量や支援制度を窓口相談で対応した。また、障害者が病院や施設でなく地域で自立できる環境整備の支援を行った。

(3) 高齢者福祉対策

ひとり暮らしの高齢者や介護保険の対象外となった在宅の高齢者に対し、関係機関と連携をとりながら、介護予防・生活支援事業等に積極的に取り組み、安心、安全な生活が送れるよう福祉施策を実施した。

また、高齢者の生活を豊かなものにするための環境づくりとして、老人クラブの活動を支援することにより、教養の向上、地域社会との交流など、高齢者の生きがいと健康づくりに努めた。

高齢者生活福祉センターにおいては、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、自立的生活の助長と社会的孤立感の解消を図った。また、居住部門においては、高齢のため独立して生活することに不安のある者に対して居住施設を提供することにより、安心して生活できる環境づくりに努めた。

(4) 後期高齢者医療対策

後期高齢者医療制度に基づく、療養給付費の市負担金及び事務処理を行うための人件費負担のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基盤安定負担金の繰り出しや長崎県後期高齢者医療広域連合事務費負担金等の繰り出しを行い、制度の円滑な運営に努めた。

(5) 国民健康保険

国民健康保険法に基づく、事務処理を行うための人件費負担のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基盤安定負担金の繰り出しや財政安定化支援事業に基づく、財政支援のための繰り出し等を行い、国保財政の健全化及び税負担の平準化に努めた。

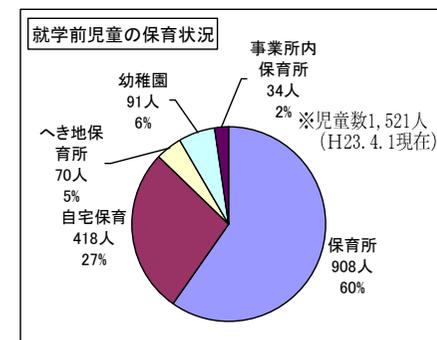
(6) 介護保険

介護保険事業を円滑に運営するため、介護保険財政基盤の安定化を推進し、介護保険法に基づく保険給付費、地域支援事業費や事務処理を行うための事務費及び職員給与等の繰り出し等を行った。また、低所得者に対する利用負担の軽減・支援措置等を行い、公平、公正な介護サービスの提供を図った。

2 児童福祉費

(1) 児童福祉対策

次世代育成支援対策推進法に基づき策定した「平戸市次世代育成支援行動計画(後期計画)」に沿って、利用者の多様な需要に対応した保育サービスを実施する保育所に対し助成を行った。放課後対策として、保護者が就労等で家庭にいない小学校低学年の児童に対して適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図る放課後児童クラブへの活動経費及び施設整備の助成を行った。また、家庭相談員による各種相談・指導・助言により、家庭における児童養育の向上に努めた。さらに、要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見及び適切な保護並びに関係機関との連携、協力を図った。子育て家庭に対して、育児不安や育児ストレスによる虐待防止のための「親育ち講座」を開催し、子育て親の支援を行った。離島地域における妊婦に対しては、定期健診時や出産時における交通費の助成を行い、安全安心な出産のための支援を行った。また、保育所の改修や保育環境を整えるための施設整備、子育てガイドブックの作成や託児ボランティアの派遣、乳児の健やかな成長と保護者の経済的負担を軽減するため育児用品の無料貸出し等を行い、子育て家庭が安全安心で子育てしやすい環境づくりを行った。

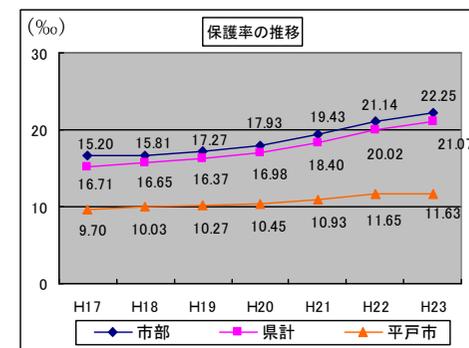


(2) 母子福祉対策

ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を目的とした児童扶養手当の認定及び支給を行った。この他、福祉資金の貸付相談、母子家庭自立支援給付事業による必要な指導助言及び家庭支援員を派遣し育児支援や家事支援を行うなど母子家庭等の福祉の増進に努めた。

3 生活保護費

本市の保護率(人口1,000人に対する保護人員割合)は、新市発足時(平成17年度)は9.70%であった。以降、ほぼ横ばい傾向で推移していたが、平成20年10月以降の国内経済の低迷と雇用環境の悪化に伴い、失業者は急激に増加し、本市における生活保護受給者もこの社会情勢を背景に増加傾向が一層高まり、平成23年3月31日時点では被保護者数は324世帯408人と新市発足以降、最高の受給者数となった。平成23年度は初めて減少傾向となり平成24年3月31日現在では被保護者数は309世帯385人と前年より15世帯23人の減となった。しかし、全国及び県内の保護世帯数は増加傾向にあり、本市においても相談件数は増加していることから今後は微増すると推測される。



制度の実施については、保護相談時における失業保険や老齢年金及び障害年金受給、住宅手当、生活福祉資金の利用など他法他施策の活用による最低生活維持の可能性を検討し助言を行った。また、保護者に対しては、公的扶助を受ける権利を有するとともに、扶助費の計画的な利用や早期就労による自立、収入届出等の報告義務について被保護者が進んでこれを果たすよう指導を行った。

4 災害救助費

現に居住の用に供している建物が、災害救助法の適用基準に達しない災害により被害を受けた市民に対し、小災害見舞金の支給を行った。また、交通車両等の不慮の事故により死亡した者の遺族に対し、弔意の意を表し自立更生を助長するため弔慰金を支給した。

災害時要援護者避難支援システム導入については、一人暮らしの高齢者や要介護状態の高齢者、障害者等、日常の見守りや災害時・緊急時に支援を必要とする市民を地域で支え合う体制を構築するため、要援護者の実態や地域の支援情報、また、それらを地図上に表示できるシステムを導入し、情報を共有することで、要援護者の把握と平常時・緊急時における地域の様々な支え合いの体制を整えた。

事業名	事業内容	事業費
社会福祉協議会 支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 138 頁】	多様化する福祉ニーズに応えるため、社会福祉の向上を目的とする民間組織団体である社会福祉協議会に対して、地域福祉の増進、広報活動、共同募金運動など福祉ニーズに応えるべく活動する非営利部門に対して助成した。 社会福祉協議会運営補助金 54,732 千円 社会福祉センター運営補助金 3,878 千円	58,610
福祉健康まつり 開催事業 (福祉課) 【事項別明細書 138 頁】	高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会あるいは家庭において、温かく、ふれあいがあり、安心して生活できる環境づくりを推進するとともに、一般市民の理解と関心の高揚を図るため開催する福祉健康まつりに対して助成した。 実施団体 平戸市福祉健康まつり実行委員会 参加協力団体 63 団体 来場者数 約 5,300 人	1,000

(単位：千円)

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			58,610	この事業を行ったことで、社会福祉協議会の運営基盤の強化、施設の維持補修等が行われ、多様化する福祉ニーズに応えるなど、地域福祉の増進が図られた。
			1,000	この事業を行ったことで、高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会に活動情報等を発信し、参加者の生きがいがづくりや市民の福祉健康に対する理解と関心の高揚を図ることができた。

事業名	事業内容	事業費									
民生委員児童委員設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 138 頁】	<p>社会奉仕の精神を持って自主的に地域住民の福祉の増進に努めるため、社会福祉政策への協力など、広範囲にわたる活動を職務とする民生委員児童委員で構成される民生委員児童委員協議会連合会に対し、活動費等の助成を行った。また、民生委員推薦会を開催し、次期一斉改選に向けた地区割・定数の見直しについて協議を行った。</p> <p>①民生委員児童委員協議会連合会補助金 12,490 千円 ②民生委員推薦会 41 千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>開催数・委員数</th> <th>実施団体等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>125 名</td> <td>民生委員児童委員協議会連合会</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>1 回</td> <td>民生委員推薦会</td> </tr> </tbody> </table>	事業	開催数・委員数	実施団体等	①	125 名	民生委員児童委員協議会連合会	②	1 回	民生委員推薦会	12,531
事業	開催数・委員数	実施団体等									
①	125 名	民生委員児童委員協議会連合会									
②	1 回	民生委員推薦会									
戦没者追悼事業 (福祉課) 【事項別明細書 140 頁】	<p>先の大戦で亡くなられた方々の御霊を奉慰顕彰するとともに、未来を担う世代に継承するため、各地区遺族会などの関係団体の参加を得て設立した「平戸市戦没者慰霊奉賛会」に対し助成を行った。また、各地にある慰霊碑等維持管理に対しても助成を行った。</p> <p>①平戸市戦没者追悼式補助金 725 千円 ②戦没者慰霊碑等維持管理補助金 440 千円 ③長崎県追悼式参加経費等 170 千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>参列者数</th> <th>実施団体等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>約 400 人</td> <td>平戸市戦没者慰霊奉賛会</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>—</td> <td>平戸地区遺族会他 10 団体</td> </tr> </tbody> </table>	事業	参列者数	実施団体等	①	約 400 人	平戸市戦没者慰霊奉賛会	②	—	平戸地区遺族会他 10 団体	1,335
事業	参列者数	実施団体等									
①	約 400 人	平戸市戦没者慰霊奉賛会									
②	—	平戸地区遺族会他 10 団体									

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			12,531	民生委員児童委員活動を支援することにより、地域住民が安心して暮らせる環境づくりに寄与した。
200			1,135	この事業を行ったことで、大戦で亡くなられた方々の御霊を追悼するとともに、平和の大切さを確認することができた。 また、追悼式の開催経費や慰霊碑維持管理費の助成をすることにより、高齢化に伴い、弱体化が懸念される遺族会活動を支援することができた。

事業名	事業内容	事業費
地域生活支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 142 頁】	<p>障害者が、自立した日常生活や社会生活を送ることができるように特性に応じた支援を行った。</p> <p>○移動支援事業 2,916 千円 屋外での移動が困難な在宅の障害者に対し、ヘルパーによる移動支援を行った。 6 施設 利用人数 17 人 (延 126 人)</p> <p>○身体障害者訪問入浴サービス事業 664 千円 在宅の肢体不自由身体障害者 1、2 級で自ら入浴が困難な者に対し、訪問入浴サービスを行った。 1 施設 利用人数 2 人 (延利用回数 59 回)</p> <p>○日中一時支援事業 2,732 千円 障害者 (児) の介護を行う者が疾病その他の理由により、当該障害者が在宅において介護を受けることが一時的に困難となった場合に施設に短期入所させ、日常訓練等を行った。 3 施設 利用人数 9 人 (延 569 人)</p> <p>○生活サポート事業 32 千円 障害程度区分非該当者に対し、ホームヘルパーを派遣し日常生活の支援を行った。 1 施設 利用人数 1 人 (延利用回数 24 回)</p> <p>○社会参加促進事業 2,958 千円 障害者が地域生活を継続できるよう障害者やボランティア等の交流事業を行い、地域社会で生きがいを持って過ごせるよう支援を行った。 市内 6 箇所 24 回 参加人数 53 人 (延 243 人)</p> <p>○地域活動支援センター事業 5,611 千円 障害者の社会復帰を目的とした平戸市障害者地域活動支援センター「ホープドリーム」及び「はーとオアシス (松浦市)」へ助成を行った。</p> <p>○日常生活用具給付事業 8,410 千円 日常生活を容易にするため、在宅の重度障害者に対し、その利用に適した日常生活用具の給付を行った。 排泄管理支援用具等 680 件</p> <p>○自動車改造助成事業 100 千円 社会参加を促進するため、自動車改造費用の一部助成を行った。 助成件数 1 件</p> <p>○身体障害者補助犬飼育管理助成事業 287 千円 補助犬を利用する障害者に対し、福祉の向上を図り、社会参加を支援するために、飼育のために必要な経費の助成を行った。 盲導犬利用者 3 人</p> <p>○手話奉仕員派遣事業 6 千円</p>	23,716

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,033		14	13,669	この事業を行ったことで、障害者の行動範囲の拡大などによる日常生活向上や地域での自立が支援され、社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
心身障害者福祉タクシー助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 142 頁】	社会活動の範囲を広め福祉向上を図るため、在宅の心身障害者で、車椅子常用者、知的障害者、視覚障害者に対し、市内のタクシー業者を利用する場合、基本料金の9割助成を行った。 車椅子常用者 29人(延 706件) 252千円 知的障害者 4人(延 115件) 52千円 視覚障害者 11人(延 258件) 117千円	421
身体障害者交通船旅客運賃助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 142 頁】	第2種身体障害者手帳所持者に対し、社会参加とその軽減を図るため交通船旅客運賃の4割助成を行った。 大島～平戸 24人(延 964件) 243千円 度島～平戸 4人(延 277件) 69千円	312
福祉医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 142 頁】 【事項別明細書 156 頁】	福祉の増進及び負担軽減のため、心身障害者、乳幼児、母子家庭等における母と子及び寡婦等に対して、医療費の助成を行った。 ○扶助費 150,693千円 乳幼児 <27,536千円> 母子家庭等 <11,289千円> 障害1・2級 <40,116千円> 療育A1・2 <8,092千円> 老人 <35,840千円> 障害3級 <9,886千円> 療育B1 <2,316千円> 単独(障害4級・療育B2・老人3・4級B1) <15,618千円> ○事務費 4,246千円	154,939
ひらどふれあい福祉事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】	地域福祉向上のため、ひらどふれあい福祉基金を活用し、社会福祉活動団体に対して助成した。 在宅重度障害者と学生ボランティアとのふれあい研修事業 119千円 実施団体：田平町身体障害者福祉協会 障害者等の健康・生きがいづくり推進事業 207千円 実施団体：精神障害者家族会「くろしお会」 暮らしにひそむ「障害」を克服するための事業 105千円 実施団体：ヒューマン・ネットワーク「絆」の会	431

財 源 内 訳				事業の成果																																								
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																									
			421	この事業を行ったことで、障害者の社会活動の範囲が広がり、障害者の福祉向上に寄与することができた。																																								
			312	この事業を行ったことで、障害者の社会参加が促進された。																																								
69,284		6	85,649	この事業を行ったことで、心身機能の障害で日常生活に支障がある者、乳幼児、母子家庭等の経済的負担の軽減ができた。 ○支給件数の推移 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳 幼 児</td> <td>13,427</td> <td>13,653</td> <td>23,688</td> </tr> <tr> <td>母子家庭等</td> <td>3,572</td> <td>3,441</td> <td>4,261</td> </tr> <tr> <td>障害1・2</td> <td>6,019</td> <td>6,459</td> <td>6,701</td> </tr> <tr> <td>療育A1・2</td> <td>1,980</td> <td>2,116</td> <td>2,068</td> </tr> <tr> <td>老 人</td> <td>6,471</td> <td>6,844</td> <td>6,706</td> </tr> <tr> <td>障 害 3</td> <td>1,739</td> <td>1,893</td> <td>2,248</td> </tr> <tr> <td>療 育 B 1</td> <td>780</td> <td>924</td> <td>875</td> </tr> <tr> <td>単 独</td> <td>5,791</td> <td>5,621</td> <td>5,540</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>39,779</td> <td>40,951</td> <td>52,087</td> </tr> </tbody> </table>		21年度	22年度	23年度	乳 幼 児	13,427	13,653	23,688	母子家庭等	3,572	3,441	4,261	障害1・2	6,019	6,459	6,701	療育A1・2	1,980	2,116	2,068	老 人	6,471	6,844	6,706	障 害 3	1,739	1,893	2,248	療 育 B 1	780	924	875	単 独	5,791	5,621	5,540	合 計	39,779	40,951	52,087
	21年度	22年度	23年度																																									
乳 幼 児	13,427	13,653	23,688																																									
母子家庭等	3,572	3,441	4,261																																									
障害1・2	6,019	6,459	6,701																																									
療育A1・2	1,980	2,116	2,068																																									
老 人	6,471	6,844	6,706																																									
障 害 3	1,739	1,893	2,248																																									
療 育 B 1	780	924	875																																									
単 独	5,791	5,621	5,540																																									
合 計	39,779	40,951	52,087																																									
		431		この事業を行ったことで、日頃外出する機会が少ない障害者が福祉施設等の視察研修や交流を通じて、仲間や生きがいづくりなど、社会参加を促進することができた。																																								

事業名	事業内容	事業費
障害者自立支援給付費等事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】	<p>障害者自立支援法に基づき、障害者の自立を支援するため、特性に応じた障害福祉サービスを行った。</p> <p>○補装具給付事業 8,306千円 身体機能を補うために、車いすや補聴器等の補装具の交付、修理の費用を給付した。 交付 90件 修理 37件</p> <p>○居宅支援サービス事業 155,700千円 在宅の障害者に対して、家事や身体的支援のため、ホームヘルパーの派遣や、介護者の事情等により一時的に施設で預かる短期入所事業、通所による創作的活動等を行う生活介護事業等の給付を行った。 居宅介護事業 115人(延 783人) 34,362千円 短期入所事業 7人(延 64人) 3,883千円 生活介護事業 81人(延 801人) 117,455千円</p> <p>○児童デイサービス事業 6,479千円 発達段階において言葉の障害及び身体機能等の障害がある幼児・児童に対し、発達支援や遊び、運動などを行うことで日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応訓練を行った。 44人(延1,004回) 6,479千円</p> <p>○施設入所等サービス事業 435,121千円 自立を図るため、生活訓練等を必要とする者や、家庭において必要な介護を受けられない障害者に対し、施設入所や通所サービス等の給付を行った。 身体障害者施設 6施設 25人(延 158人) 38,432千円 入所支援施設 16施設 59人(延 539人) 48,472千円 知的障害者施設 29施設 158人(延 1,325人) 280,200千円 ケアホーム 23施設 46人(延 527人) 68,017千円</p> <p>○訓練等給付サービス事業 156,412千円 自立を図るため、身体機能等の向上のための自立訓練や、一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練給付を行った。グループホームでは、地域の中で生活を望むものに対し、共同生活を営みながら生活支援の給付を行った。 自立訓練 (15施設) 24人(延 249人) 21,946千円 就労継続支援 (23施設) 107人(延 784人) 97,087千円 就労移行支援 (11施設) 13人(延 84人) 12,733千円 グループホーム (18施設) 34人(延 362人) 24,646千円</p> <p>○サービス利用計画作成事業 138千円 障害者福祉サービスを効果的に利用するため、個別の利用計画作成の支援を行った。 延12人</p>	762,156

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
563,704			198,452	<p>障害者の身体機能の回復や生活能力の向上等が図られ、障害者の自立や集団生活への適応、就労に向けた支援等に寄与することができた。また、介護者の身体的、精神的な援助等も図られた。</p>

事業名	事業内容	事業費
通所サービス利用促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】	通所施設が行う利用者の送迎に対し、助成を行った。 通所施設 26 施設 (122 人) 11,899 千円 短期入所施設 1 施設 (4 人) 394 千円	12,293
更生医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】	身体の機能障害を軽減するために行う医療費について助成を行った。 人工透析 173 人 (延 1,965 件) 52,275 千円 心臓 36 人 (延 49 件) 6,555 千円 身体障害 5 人 (延 8 件) 482 千円 免疫障害 2 人 (延 17 件) 1,407 千円	60,719
特別障害者手当等給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	重度の障害による特別な負担の軽減を図るため、在宅の重度身体障害者(児)に対し、手当の支給を行った。 特別障害者手当 85 人 (延 961 人) 25,330 千円 経過的福祉手当 3 人 (延 36 人) 516 千円 障害児福祉手当 13 人 (延 155 人) 2,222 千円	28,068
療育支援センター管理運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	障害者自立支援法に規定する児童デイサービスを行う療育支援センターの管理運営について、指定管理による適正管理に努めた。 施設名 平戸市療育支援センター「あったかさん21」 指定管理者 社会福祉法人親愛会 指定管理料 6,500 千円	6,500
敬老行事開催支援事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	老人の日、老人週間の取組みの一環として、各地区において開催される敬老会に高齢者の人数に応じて交付金の支給を行った。 対象者 75 歳以上 5,673 人	5,683
敬老祝金給付事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	長寿を祝福し、敬老の意を表するため、平戸市内に居住する高齢者に対し、祝金の支給を行った。 敬老祝金 (満 77 歳) 510 人 (満 88 歳) 225 人 長寿祝金 (100 歳) 15 人	7,223

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,188			3,105	この事業を行ったことで、施設利用を促進し、利用者がサービスを利用しやすくとともに、送迎サービスの利用に係る利用者負担の軽減が図られた。
45,538			15,181	この事業を行ったことで、機能障害を軽減するとともに、障害者の負担軽減が図られた。
21,051			7,017	この事業を行ったことで、重度障害による経済的負担の軽減を図ることができた。
			6,500	民間事業者の能力を活用し、利用者のニーズにあったサービスの提供が図られた。
			5,683	身近な地域の人達による敬老会の開催を支援することにより、敬老精神の高揚が図られ、また、高齢者の生きがいづくりに寄与することができた。
			7,223	この事業を行ったことで、高齢者の福祉の向上と敬老思想の高揚が図られた。

事業名	事業内容	事業費
老人クラブ活動等 支援事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	地域における高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、活動を推進するための運営費の一部を助成した。 単位老人クラブ (63 クラブ) 3,626 千円 平戸市老人クラブ連合会 2,703 千円 〃 世代間交流事業 240 千円	6,569
高齢者生きがい活 動支援事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防するため、在宅の高齢者に対し各地区公民館等において日常動作訓練や趣味活動等を実施した。 委託先 社会福祉協議会 8 地区(生月地区) 参加者数 延べ2,586 人	1,980
緊急通報装置貸与 事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	緊急時の適切な対応を図るため、ひとり暮らしの高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与した。 貸与台数 385 台 (平成 24 年 3 月末現在) (内訳) 平戸 216 台 生月 41 台 田平 89 台 大島 39 台	5,368
高齢者デイサービ ス事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図るため、在宅のひとり暮らしの高齢者等に対し、通所による生活指導、機能訓練及び給食サービス等を実施した。 登録者数 41 人 延べ利用回数 1,463 回	3,137
在宅寝たきり高齢 者等介護見舞金支 給事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 148 頁】	介護の労をねぎらうため、寝たきり高齢者等を常時介護している者に対し、介護見舞金の支給を行った。 支給人数 49 人 (内訳) 平戸 36 人 生月 3 人 田平 3 人 大島 7 人	1,225
高齢者・障害者住 宅改造成事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 150 頁】	高齢者(要介護者及び要支援者)または重度障害者の日常生活を容易にし、介護者の負担を軽減するため、高齢者等の住宅改造成を行った。 高齢者 8 件 762 千円 障害者 1 件 220 千円	982

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,419			3,150	この事業を行ったことで、高齢者の教養の向上、健康の増進、地域社会における世代間の交流など、高齢者福祉の増進が図られた。
			1,980	この事業を行ったことで、高齢者の社会的孤立感の解消を図るとともに、認知症や要介護状態になることを予防できた。 平成 24 年度から介護保険特別会計の高齢者地域ふれあい事業(いきいきサロン)へ移行した。
			5,368	緊急時の迅速な対応や安否確認、また、普段の生活の心配事、悩み事の相談に応じるなど、日常生活を支援することにより、対象者が安心して在宅生活を送ることができた。
	3,000		137	自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図ることにより、介護予防ができた。
		1,225		この事業を行ったことで、介護者の労をねぎらうことができ、また、寝たきり高齢者等の福祉の増進が図られた。
491			491	高齢者及び障害者の日常生活を容易にし、介護者や家族の負担を軽減するとともに、安心して快適に自立した生活を送ることができる環境整備ができた。

事業名	事業内容	事業費																				
老人保護措置事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】	概ね 65 歳以上の老人であって、環境上及び経済的理由のため、在宅生活が困難な者を対象に、養護老人ホームに入所させ養護した。 ○入所者の状況（平成 24 年 3 月末現在） <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>入所人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>光の園</td> <td>50 名</td> </tr> <tr> <td>しかまち</td> <td>26 名</td> </tr> <tr> <td>グリーンホーム</td> <td>6 名</td> </tr> <tr> <td>ソレイユ</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>聖マルコ園</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>恵の丘</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>光明荘</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>湧泉荘</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>88 名</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	入所人員	光の園	50 名	しかまち	26 名	グリーンホーム	6 名	ソレイユ	1 名	聖マルコ園	1 名	恵の丘	2 名	光明荘	1 名	湧泉荘	1 名	合計	88 名	193, 854
施設名	入所人員																					
光の園	50 名																					
しかまち	26 名																					
グリーンホーム	6 名																					
ソレイユ	1 名																					
聖マルコ園	1 名																					
恵の丘	2 名																					
光明荘	1 名																					
湧泉荘	1 名																					
合計	88 名																					
後期高齢者医療 療養給付事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 152 頁】	被保険者の医療給付費の市負担分を長崎県後期高齢者医療広域連合に対し負担した。	500, 628																				
家庭児童相談員設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】 【事項別明細書 156 頁】	家庭相談員を設置し、家庭生活及び家庭における子どもの養育についての各種相談・指導・助言を行い、相談指導業務の充実強化を図った。 家庭相談員 1 名 相談件数 433 件 ケース検討会 20 回	1, 681																				
ひらどふれあい福祉事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	地域福祉向上のため、ひらどふれあい福祉基金を活用し、社会福祉活動団体に対して助成した。 ○伝えよういのちのつながりエッセイ募集事業 340 千円 実施団体：平戸モラロジー事務所	340																				

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		27, 696	166, 158	この事業を行ったことで、入所者本人や家族の不安解消と生活安定を支援することができた。
			500, 628	後期高齢者医療被保険者の医療給付費の市負担分を負担し、後期高齢者医療制度の安定した運営に寄与した。
		9	1, 672	この事業を行ったことで、家庭における人間関係の健全化及び子どもの養育の適正化等家庭児童福祉の向上を図ることができた。
		340		この事業を行ったことで、子どもたちが命の大切さや尊さを考え、感謝の心を育み、健やかな子どもを育てるための環境づくりに寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
放課後児童クラブ運営支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	<p>保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童の放課後対策のため、放課後児童クラブへの活動経費及び新設の放課後児童クラブに対して施設整備費の助成を行った。また、放課後児童クラブに入所している母子家庭等の児童に対し、保育料の負担軽減を行った。</p> <p>○放課後児童クラブ事業補助金 3 箇所 (平戸 2 生月 1) 11,503 千円</p> <p>登録児童数 134 人 利用人数 延 16,785 人</p> <p>○放課後子ども環境整備事業補助金 1 箇所 (平戸 1) 1,305 千円</p> <p>○放課後対策母子家庭等児童助成事業補助金 1,664 千円 対象児童数 28 人 利用人数 延 362 人</p>	14,472
離島地域安心出産支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	<p>産婦人科がない離島地域に在住する妊婦に対して、妊娠・出産にかかる交通費等の助成を行い、経済的な負担を軽減し、安全安心な出産の支援を図った。</p> <p>受給者数 15 人</p>	711
ノーパディーズパーフェクトプログラム事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】 【事項別明細書 158 頁】	<p>育児不安や育児ストレスによる虐待を防ぐことを目的に、子育て中の親を支援するためのプログラム事業(親育ち講座)を実施した。</p> <p>3 箇所 (平戸 1 生月 1 田平 1) 参加者 29 人</p>	275
地域子育て創生事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	<p>子育てガイドブックの作成や講演会等へ託児ボランティアの派遣等を実施することにより、子育て家庭が安全・安心で子育てしやすい環境づくりに努めた。</p> <p>○子育てガイドブック作成事業 1,000 千円 ガイドブック 2,000 部</p> <p>○子育て親社会参加促進事業 531 千円 講演会 27 回 ボランティア数 延 191 人 児童数 延 220 人</p> <p>○放課後児童クラブ等安全安心拠点化事業 183 千円 AED (自動体外式除細動器) 1 箇所 (生月)</p> <p>○地域子育て支援拠点職員研修事業 13 千円 1 箇所 (生月)</p> <p>○放課後児童クラブ設置促進事業 360 千円 1 箇所 (生月)</p>	2,087

財源内訳				事業の成果															
国県支出金	地方債	その他	一般財源																
9,370			5,102	<p>保護者が昼間家庭にいない児童に授業終了後または休暇期に、適切な遊び場及び生活の場を与えることで、放課後における児童の健全育成、安全対策や新設クラブの設置促進を図ることができた。また、母子家庭等における保育料の負担軽減を行うことで、円滑な制度適用ができた。</p> <p>○登録児童数の推移 (各年度3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童数</td> <td>73人</td> <td>58人</td> <td>100人</td> <td>134人</td> </tr> <tr> <td>クラブ数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		20年度	21年度	22年度	23年度	児童数	73人	58人	100人	134人	クラブ数	1	1	2	3
	20年度	21年度	22年度	23年度															
児童数	73人	58人	100人	134人															
クラブ数	1	1	2	3															
355			356	<p>妊娠・出産にかかわる費用の一部を助成することで、経済的な負担の軽減を図り、母子ともに健全な出産を確保した。</p>															
		55	220	<p>この事業を行ったことで、親の不安感をとり除き、子育てに自信をつけてもらうことができ、虐待等の防止につながった。</p>															
2,086			1	<p>この事業を行ったことで、安心して子育てができる環境を整備するとともに、子育て支援団体の活性化を図る等子育て支援の充実及び推進を図ることができた。</p>															

事業名	事業内容	事業費
保育対策等促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応するため、各種保育事業に対する助成を行った。 ○休日保育事業 1,405 千円 実施箇所数 1 園 (平戸 1) ○病児・病後児保育事業 12,930 千円 実施箇所数 3 園 (平戸 2、田平 1) ○延長保育事業 57,815 千円 実施箇所数 14 園 (平戸 11、田平 3)	72,150
電力需給対策休日保育事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	夏期の電力需給に伴う企業の就業時間等の変更に対応した休日保育事業に対する助成を行った。 ○電力需給対策休日保育事業 291 千円 実施箇所 1 園 (田平 1)	291
次世代育成支援対策事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	小学校低学年児童の放課後の居場所づくりや、子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができるよう環境整備事業に対する助成を行った。 ○地域子育て支援拠点事業 4,299 千円 実施箇所数 1 園 (平戸 1) ○小学校低学年児童受入事業 2,400 千円 実施箇所数 6 園 (平戸 5、田平 1)	6,699
障害児保育事業 (福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	障害児の保育促進のため、保育に欠ける障害児の受け入れを行う保育所に対して助成を行った。 実施箇所数 4 園 (平戸 2、田平 1、生月 1)	7,474
子ども手当給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	児童の福祉の増進を図るため、0歳から15歳までの子どもを養育する者に対し、子ども手当を支給した。 子どもが0～3歳未満の被用者 延支給人数 4,329 人 子どもが0～3歳未満の非被用者 延支給人数 3,023 人 子どもが3歳以上～小学校終了前の児童の被用者 延支給人数 17,448 人 子どもが3歳以上～小学校終了前の児童の非被用者 延支給人数 10,431 人 子どもが小学校終了後～中学校終了前 延支給人数 12,013 人	590,589

財源内訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
48,099			24,051	この事業を行ったことで、核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応し、保護者が安心して就労や子育てができる環境づくりに寄与することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日保育</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	21 年度	22 年度	23 年度	休日保育	1	1	1	病児・病後児保育	3	3	3	延長保育	14	14	14
区 分	21 年度	22 年度	23 年度																	
休日保育	1	1	1																	
病児・病後児保育	3	3	3																	
延長保育	14	14	14																	
218			73	この事業を行ったことで、夏期における企業の就業時間等の変更に伴い、休日に保育が必要となった児童の保育を実施することができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力需給対策休日保育</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	21 年度	22 年度	23 年度	電力需給対策休日保育	0	0	1								
区 分	21 年度	22 年度	23 年度																	
電力需給対策休日保育	0	0	1																	
3,395			3,304	この事業を行ったことで、仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を容易にするとともに、子育ての負担感を緩和することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域子育て支援事業</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小学校低学年受入</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	21 年度	22 年度	23 年度	地域子育て支援事業	1	1	1	小学校低学年受入	8	5	6				
区 分	21 年度	22 年度	23 年度																	
地域子育て支援事業	1	1	1																	
小学校低学年受入	8	5	6																	
			7,474	この事業を行ったことで、保育に欠ける障害児の保護者の子育ての負担感を緩和することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害児保育</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	21 年度	22 年度	23 年度	障害児保育	2	4	4								
区 分	21 年度	22 年度	23 年度																	
障害児保育	2	4	4																	
511,959			78,630	この事業を行ったことで、次世代の社会を担う児童の健全な育成に寄与することができた。 ○受給者数 (平成 24 年 2 月末現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもが0～3歳未満の被用者</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td>子どもが0～3歳未満の非被用者</td> <td>218</td> </tr> <tr> <td>子どもが3歳以上～小学校終了前の被用者</td> <td>896</td> </tr> <tr> <td>子どもが3歳以上～小学校終了前の非被用者</td> <td>537</td> </tr> <tr> <td>子どもが小学校終了後～中学校終了前</td> <td>866</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,821</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	23 年度	子どもが0～3歳未満の被用者	304	子どもが0～3歳未満の非被用者	218	子どもが3歳以上～小学校終了前の被用者	896	子どもが3歳以上～小学校終了前の非被用者	537	子どもが小学校終了後～中学校終了前	866	合 計	2,821		
区 分	23 年度																			
子どもが0～3歳未満の被用者	304																			
子どもが0～3歳未満の非被用者	218																			
子どもが3歳以上～小学校終了前の被用者	896																			
子どもが3歳以上～小学校終了前の非被用者	537																			
子どもが小学校終了後～中学校終了前	866																			
合 計	2,821																			

事業名	事業内容	事業費
保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	保育に欠ける児童を保育する市内の民間保育所及び市外の保育所に対し、運営費を助成した。 民間保育所 31 箇所 (市内 16 箇所、市外 15 箇所) 延在籍児童数 10,703 人	924,930
母子自立支援員 設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	母子自立支援員を設置し、ひとり親家庭等に対し、自立支援に必要な相談指導、求職活動に関する支援を行った。 母子自立支援員 1 名 相談件数 704 件	1,656
母子家庭自立支 援給付金事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	母子家庭の就業支援対策のため、母子家庭の母に対して、ホームヘルパー等の専門的な資格取得に係る経費及び専門的な資格(看護師、社会福祉士等)の取得を推進するため当該資格に係る養成訓練の受講期間の全期間の給付金の支給を行った。 母子家庭自立支援教育訓練給付金 1 人 高等技能訓練促進費 3 人 (看護師 1 人、社会福祉士 2 人)	5,089
児童扶養手当給 付事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	父母の離別等により、父または母と生計を同じくしない児童を養育しているひとり親家庭等の生活安定と児童の福祉増進を図るため、児童扶養手当を支給した。 受給者数 内訳 全部支給者 延支給人数 2,362 人 (うち父子 250 人) 一部支給者 延支給人数 1,866 人 (うち父子 341 人) 第 2 子加算 延支給人数 1,897 人 (うち父子 293 人) 第 3 子加算 延支給人数 653 人 (うち父子 139 人)	167,833
ひとり親家庭等 日常生活支援事 業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	修学等自立の促進や社会的な事由等により、日常生活を営むのに支障を生じているひとり親家庭等に対して、生活支援員を派遣し、家事支援、子育て支援を行った。 生活支援 利用回数 20 回 利用人数 3 人	342

財 源 内 訳				事業の成果																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
505,081		215,159	204,690	この事業を行ったことで、児童の心身の健全な発達と家庭における仕事と子育ての両立に寄与することができた。																				
491		9	1,156	この事業を行ったことで、ひとり親家庭等の生活の安定と向上を図ることができた。																				
3,816			1,273	この事業を行ったことで、母子家庭の母が、自主的に就業能力を習得することにより、就職や経済的な自立への促進につながった。 ○利用者数の推移 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育訓練給付金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高等技能訓練促進費</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	21 年度	22 年度	23 年度	教育訓練給付金	1	1	1	高等技能訓練促進費	1	0	3								
区 分	21 年度	22 年度	23 年度																					
教育訓練給付金	1	1	1																					
高等技能訓練促進費	1	0	3																					
55,840			111,993	この事業を行ったことで、母子家庭等における家庭生活の安定と経済的な自立への促進につながった。 ○受給者数の推移 (各年度 12 月末現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全部支給者</td> <td>175</td> <td>197(20)</td> <td>195(18)</td> </tr> <tr> <td>一部支給者</td> <td>133</td> <td>160(30)</td> <td>160(30)</td> </tr> <tr> <td>全部停止者</td> <td>27</td> <td>30(6)</td> <td>30(8)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>335</td> <td>387(56)</td> <td>385(56)</td> </tr> </tbody> </table> () は父子家庭数	区 分	21 年度	22 年度	23 年度	全部支給者	175	197(20)	195(18)	一部支給者	133	160(30)	160(30)	全部停止者	27	30(6)	30(8)	合 計	335	387(56)	385(56)
区 分	21 年度	22 年度	23 年度																					
全部支給者	175	197(20)	195(18)																					
一部支給者	133	160(30)	160(30)																					
全部停止者	27	30(6)	30(8)																					
合 計	335	387(56)	385(56)																					
256			86	この事業を行ったことで、ひとり親家庭等の福祉の増進に資することができた。																				

事業名	事業内容	事業費																																
へき地保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	<p>保育に欠ける児童のため、へき地における保育を要する児童に対し、平戸市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、必要な保育を実施した。</p> <p>(平成 24 年 3 月 1 日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>定員</th> <th>入所児童数</th> <th>延利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>50 人</td> <td>20 人</td> <td>234 人</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>35 人</td> <td>15 人</td> <td>184 人</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>40 人</td> <td>5 人</td> <td>60 人</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>20 人</td> <td>5 人</td> <td>55 人</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>30 人</td> <td>12 人</td> <td>162 人</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>30 人</td> <td>15 人</td> <td>175 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>205 人</td> <td>72 人</td> <td>870 人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	定員	入所児童数	延利用人数	度島町へき地保育所	50 人	20 人	234 人	根獅子町へき地保育所	35 人	15 人	184 人	木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	5 人	60 人	早福町へき地保育所	20 人	5 人	55 人	志々伎町へき地保育所	30 人	12 人	162 人	野子町へき地保育所	30 人	15 人	175 人	合 計	205 人	72 人	870 人	53,164
区 分	定員	入所児童数	延利用人数																															
度島町へき地保育所	50 人	20 人	234 人																															
根獅子町へき地保育所	35 人	15 人	184 人																															
木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	5 人	60 人																															
早福町へき地保育所	20 人	5 人	55 人																															
志々伎町へき地保育所	30 人	12 人	162 人																															
野子町へき地保育所	30 人	15 人	175 人																															
合 計	205 人	72 人	870 人																															
保育所緊急整備事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	<p>トイレ水洗化や廊下のバリアフリー化など入所児童の安全・安心な保育環境の整備に対して助成を行った。</p> <p>実施箇所数 1 園 (平戸 1)</p>	8,443																																
生活保護事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	<p>生活保護法に基づき、被保護者に対し、最低生活を保障するとともに、その自立を支援した。</p> <p>被保護世帯数 309 世帯 被保護人員 385 人 (平成 24 年 3 月末現在)</p> <p>生活扶助 163,867 千円 住宅扶助 15,218 千円 教育扶助 916 千円 医療扶助 428,089 千円 介護扶助 13,666 千円 生業扶助 1,081 千円 葬祭扶助 319 千円 施設事務費 2,449 千円</p>	625,605																																
災害時要援護者避難支援システム導入事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	<p>システムを導入し、要援護者の氏名、住所、連絡先、特徴、支援者等を記載した要援護者台帳と地図上に要援護者、支援者、危険箇所、避難箇所等を表示したハザードマップを作成し、システム上で管理を行う。</p> <p>システム設置箇所 総務課、福祉課、長寿保険課、消防本部</p>	5,073																																

財 源 内 訳				事業の成果																																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																	
8,325	34,500		10,339	<p>交通条件及び自然的諸条件に恵まれない山間地、離島等において、へき地保育所を運営することにより、へき地における児童福祉の向上に寄与した。</p> <p>○入所児童数の推移 (各年度 3 月 1 日現在) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>30</td> <td>24</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>83</td> <td>73</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	21 年度	22 年度	23 年度	度島町へき地保育所	30	24	20	根獅子町へき地保育所	15	16	15	木ヶ津町恵へき地保育所	5	5	5	早福町へき地保育所	5	2	5	志々伎町へき地保育所	10	8	12	野子町へき地保育所	18	18	15	合 計	83	73	72
区 分	21 年度	22 年度	23 年度																																	
度島町へき地保育所	30	24	20																																	
根獅子町へき地保育所	15	16	15																																	
木ヶ津町恵へき地保育所	5	5	5																																	
早福町へき地保育所	5	2	5																																	
志々伎町へき地保育所	10	8	12																																	
野子町へき地保育所	18	18	15																																	
合 計	83	73	72																																	
5,117			3,326	<p>入所児童の安全・安心な保育環境の確保及び児童の健全育成に寄与することができた。</p>																																
472,632		10,050	142,923	<p>生活困窮者に対し、必要な保護を実施することにより、自立助長を促すことができた。</p>																																
5,000			73	<p>ひとり暮らしの高齢者や要介護状態の高齢者、障害者等、日常の見守りや災害時・緊急時に支援を必要とする市民を地域で支え合う体制を構築するため、システムを導入し、情報を共有することで、要援護者の把握と平常時・緊急時における地域の様々な支え合いの体制づくりができる。</p>																																

【 4 款 衛生費 】

1 保健衛生費

少子化、核家族化に伴い、子育てに不安を持つ親への支援、乳幼児の健康診査への受診勧奨や指導を行った。また、昨今の高齢化社会において、「自分の健康は、自分でつくるもの」を目標に、健康保持増進のための各種健康診査、健康教室、感染症予防対策等の事業を行った。

(1) 保健衛生総務費

核家族化が進行し、身近に助言者がいないなど、育児不安をもつ親が増えている中、安心して笑顔で子育てができるまちづくりを目指し、育児について様々な相談ができる場を提供するとともに、異常の早期発見のための健康診査の実施、保健指導、医療への受診勧奨等の措置を講じた。

また、休日等における救急医療対策として、平戸市医師会へ委託し、在宅当番医制による初期救急医療体制の確保を行うとともに、休日・夜間等の重症救急患者の医療確保のため、3市1町（佐世保市、松浦市、平戸市、佐々町）で構成する佐世保・県北医療圏における病院群輪番制病院運営事業により、二次救急医療体制の確保を行った。

(2) 予防費

感染症の発症及びまん延予防を目的に、市民への衛生思想の啓発活動、予防接種法に基づいた定期予防接種及び子どものインフルエンザの予防接種を実施した。また、子宮頸がんの発症や髄膜炎の重症化予防を目的とした任意の予防接種である子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用について助成を行った。

(3) 健康増進費

本市の高齢化率は、全国平均より高い率となっている。市民の健康寿命の延伸や介護予防を目的とし、健康増進法に基づいた健康教育、健康相談、健康診査、各種健(検)診、訪問指導を実施した。

(4) 環境衛生費

ごみの散乱防止のためのパトロールや回収を行い、環境保全に努めた。花とみどりのふるさとづくり推進のため、フラワー街道やプランター植栽による緑化事業を行った。また、花いっぱい運動の推進のため、公共施設等に花苗の配布を行った。

(5) 公害対策費

公害防止の観点から公共用水域の水質測定を行い、水質汚濁防止に努めた。

(6) 飲料水供給施設管理費

高島地区における海水淡水化装置及び水道施設の維持管理を行い、安全な飲料水の安定供給を図った。

2 清掃費

(1) 清掃総務費

一般廃棄物の中間処理について、北松北部クリーンセンターにおいて適正な処理を行い、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。また、平戸市総合衛生センター最終処分場について、監視委員会の活動を踏まえた適切な管理により、地域住民の安心と信頼を維持できた。

(2) 塵芥処理費

一般廃棄物処理計画に基づき、ごみ・し尿の収集運搬を行った。また、ごみ減量化対策として再資源物の回収に対する助成を行い、循環型社会形成に努めた。

既に廃止している廃棄物処理施設について解体撤去を行い、ダイオキシン類曝露防止による環境の保全が図られた。

(3) し尿処理費

公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全のため、浄化槽設置整備事業に取り組んでおり、個人住宅の改築に限り20万円の上乗せ補助を実施することで普及促進に努めた。

田平地区コミュニティ・プラントによる汚水処理や大島地区のし尿処理について、適正な処理の実施により、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。

事業名	事業内容	事業費
妊産婦健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 168 頁】 【事項別明細書 170 頁】	<p>妊娠中からの健康管理を目的に、すべての妊婦を対象に妊婦健康診査 14 回を各医療機関へ委託し実施した。</p> <p>聴覚異常を早期に発見することを目的に、県内の医療機関で出生した新生児を対象に新生児聴覚検査を実施した。</p> <p>母子健康手帳交付者数：243 人 妊婦健診受診者数：延べ 2,808 人 パパママ教室 実施回数：2 回 参加者数：11 人 新生児聴覚検査受診者数：218 人(受診率 87.6%)</p>	21,826
次世代育成支援事業 (保健センター) 【事項別明細書 170 頁】	<p>生後 4 か月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、「こんにちは赤ちゃん事業(生後 4 か月までの全戸訪問事業)」を実施し、妊産婦の健康管理と育児不安の軽減、新生児の成長発達確認・環境整備確認などの指導、助言を実施した。その後、継続的な支援が必要な家庭を対象に「養育支援家庭訪問事業」を実施した。</p> <p>母子保健推進員(23 人)による妊産婦への相談、健診勧奨などの地域支援活動や、育児支援事業としてお遊び教室を実施した。</p> <p>また、母子保健推進員を対象に、研修会を開催し、推進員同士での交流、知識の伝達に努めた。</p> <p>児童虐待ゼロプロジェクト事業として、妊娠中からの精神的安定を図る目的で医療機関において、妊婦にアンケート調査をし、支援が必要な対象者については妊婦自身の了解を得て、情報提供書が送付されることになり、この情報を元に訪問活動を充実させた。</p> <p>こんにちは赤ちゃん事業 対象者数：239 人 訪問数：209 人 養育支援家庭訪問事業 訪問件数(実)：36 名(延べ)：48 件 母子保健推進員研修会 実施回数：1 回 参加者数：19 人 お遊び教室 実施回数：6 回 参加者数：24 人 児童虐待ゼロプロジェクト事業 医療機関からの情報提供数：50 人 このうち訪問が必要と連絡のあった数：17 人</p> <p>障害等の早期発見、適切な援助、成長発達の評価、育児支援等、乳児の健康の保持増進を図るため、乳児相談・健診時の絵本の読み聞かせや離乳食教室(指導)を実施した。</p> <p>乳児健診 実施回数：30 回 対象者数：249 人 受診児数：延べ 632 人 受診率：95.6% 母子健康相談 実施回数：40 回、延べ 316 人</p>	3,052

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,069	12,900		1,857	<p>妊婦健康診査の費用を助成したことにより、妊婦の経済的負担を軽減するとともに、妊娠週数に応じた健康管理ができた。</p> <p>また、パパママ教室(両親学級)を開催し、妊婦とその配偶者へ沐浴指導をはじめとした健康教室を実施した。</p> <p>他に、新生児の聴覚検査費用を助成することで異常の早期発見が図られた。</p>
1,318			1,734	<p>家庭を訪問することで、妊産婦の健康管理や育児に対する不安の軽減を図ることができた。</p> <p>また、乳幼児健診を受診した際に育児支援・発達支援が必要な親子を対象に、「お遊び教室」を開催した。普段の暮らしの中で子どもへの声のかけ方や、遊びの促し方について学べる場になった。</p> <p>今年度から、妊娠初期から産後まで産科医療機関と情報を共有し、連携により支援を行うことで、子育て不安の軽減を図り、児童虐待の未然防止に努め、母親の精神的安定に繋がった。</p>

事業名	事業内容	事業費																												
幼児健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 170頁】	健康・発達の評価、障害・疾病等の早期発見、個々に応じた指導助言を行った。 ○1歳6か月児健康診査 実施回数：18回 対象者数：270人 受診者数：256人(受診率：94.8%) ○3歳児健康診査 実施回数：18回 対象者数：252人 受診者数：235人(受診率：93.3%) ○フッ素塗布事業 むし歯予防のため、フッ素塗布事業を行った。 23年度は、第2回目から第4回目までは、個人が都合のいい時に歯科医院を受診してフッ素を塗ることができるように内容を変更した。 フッ素塗布事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数(人)</th> <th>フッ素塗布者数(人)</th> <th>塗布率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>263</td> <td>222</td> <td>84.4</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>267</td> <td>91</td> <td>34.1</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>261</td> <td>67</td> <td>25.7</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>244</td> <td>52</td> <td>21.3</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>246</td> <td>183</td> <td>74.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,281</td> <td>615</td> <td>48.0</td> </tr> </tbody> </table>		対象者数(人)	フッ素塗布者数(人)	塗布率(%)	1回目	263	222	84.4	2回目	267	91	34.1	3回目	261	67	25.7	4回目	244	52	21.3	5回目	246	183	74.4	計	1,281	615	48.0	1,603
	対象者数(人)	フッ素塗布者数(人)	塗布率(%)																											
1回目	263	222	84.4																											
2回目	267	91	34.1																											
3回目	261	67	25.7																											
4回目	244	52	21.3																											
5回目	246	183	74.4																											
計	1,281	615	48.0																											
地域医療人材育成事業 (保健センター) 【事項別明細書 170頁】	平戸市民病院を教育の拠点とし、長崎大学に委託して地域医療や患者本位の全人的医療を実現できる医師養成を図った。また、市民を対象とした地域医療に関する講演会の開催及びへき地医療体験合宿等を通じて、過疎、へき地の医療を担う人材を育成した。 ・研修医受入数：21人	20,005																												
地域医療再生事業 (保健センター) 【事項別明細書 170頁】 【事項別明細書 172頁】	「平戸市地域医療連携会議」と連携し、救急医療にかかる市民への普及啓発を目的として、救急医療講演会の開催や、小児救急に関する「こども救急ハンドブック」3,000部を作成し、未就学児がいる世帯等へ配布した。	1,000																												
地域子育て創生事業 (保健センター) 【事項別明細書 172頁】	安心して子どもを産み・育てる環境を整えるために妊婦の相談、妊婦同士の交流の場として平戸市内助産師有志の会“平戸さんぽの会”へ委託し“Sun・MaMaひろば”を開催した。 Sun・MaMaひろばの開催 回数：12回 参加者：妊婦11人 産婦6人	565																												

財源内訳				事業の成果																								
国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
		83	1,520	健康診査は、受診率100%を目指して受診勧奨を実施しており、高い受診率を維持することができ、幼児の健康管理に寄与した。 ○1歳6か月児健診 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診数(人)</td> <td>239</td> <td>247</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>95.2</td> <td>97.6</td> <td>94.8</td> </tr> </tbody> </table> ○3歳児健診 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診数(人)</td> <td>270</td> <td>229</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>90.0</td> <td>91.2</td> <td>93.3</td> </tr> </tbody> </table> 本市の幼児健診における「むし歯有病率」は国・県の平均値より高率であり、「1人あたりのむし歯本数」も多い。幼児期における口腔環境は成長発達に影響を与える一因であり、むし歯予防は重要である。そのため、むし歯予防効果が実証されている「フッ素塗布事業」を平成20年度から開始し今後も継続していくことで、むし歯予防に寄与すると期待される。	区分	21年度	22年度	23年度	受診数(人)	239	247	256	受診率(%)	95.2	97.6	94.8	区分	21年度	22年度	23年度	受診数(人)	270	229	235	受診率(%)	90.0	91.2	93.3
区分	21年度	22年度	23年度																									
受診数(人)	239	247	256																									
受診率(%)	95.2	97.6	94.8																									
区分	21年度	22年度	23年度																									
受診数(人)	270	229	235																									
受診率(%)	90.0	91.2	93.3																									
1,000	19,000		5	長崎大学への委託により、地域医療の人材育成を図り、平戸市民病院における医師を確保することができた。																								
1,000				この事業を行ったことで、市民に対し、救急医療の現状を伝え、医療機関の適正受診、救急受診のルールとマナーの啓発・意識の向上を図ることができた。																								
565				妊婦を対象とした助産師による相談の場、妊婦同士の交流の場として“Sun・MaMaひろば”を開設し、妊婦の不安の軽減が図られた。																								

事業名	事業内容	事業費
予防接種事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】	定期予防接種に加え、1歳から就学前までの子どもを対象に、インフルエンザ予防接種を実施した。また、麻疹排除計画に沿って、麻疹風しん予防接種3期・4期の追加接種を実施した。 当該年度で終了できなかった場合については、引き続き接種勧奨するなどの働きかけを行った。	50,424
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】	予防接種法に基づかない任意の予防接種で、子宮頸がんの発生を予防するワクチン、乳幼児が細菌性髄膜炎などの病気になることを予防するヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種を実施した。 また、接種費用の全額を助成し、負担軽減を図った。	43,956
健康ウォーキングガイドブック作成事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】	市内12カ所のコースを選定し、各所旧跡を盛り込んだコースマップとウォーキングについての基礎知識を掲載したガイドブックを作成した。	420

財源内訳				事業の成果																								
国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
			50,424	<p>インフルエンザ予防接種以外については、未接種児(者)の把握を行い、積極的な勧奨を行ったことにより、高い接種率で予防が図られた。</p> <p>○予防接種接種率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリオ</td> <td>93.4</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td>104.2</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ(高齢者)</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ(子ども)</td> <td>56.8</td> </tr> <tr> <td>ジフテリア・破傷風混合</td> <td>95.3</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td>99.2</td> </tr> <tr> <td>麻疹風しん混合(1期)</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>〃(2期)</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>〃(3期)</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td>〃(4期)</td> <td>92.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※これまで、接種率については、全国的に統一された算定方法は無かったが、23年度途中にポリオについてのみ、厚生労働省より算定方法が示されたため、この算定方法により計上した。また、これに合わせ、他の種類についても、算定方法を統一した。 ※日本脳炎については、年度途中に対象者の年齢が拡大されたこともあり、接種率は計上していない。</p>		23年度(%)	ポリオ	93.4	三種混合	104.2	日本脳炎	—	インフルエンザ(高齢者)	58.0	インフルエンザ(子ども)	56.8	ジフテリア・破傷風混合	95.3	BCG	99.2	麻疹風しん混合(1期)	90.0	〃(2期)	94.4	〃(3期)	89.0	〃(4期)	92.0
	23年度(%)																											
ポリオ	93.4																											
三種混合	104.2																											
日本脳炎	—																											
インフルエンザ(高齢者)	58.0																											
インフルエンザ(子ども)	56.8																											
ジフテリア・破傷風混合	95.3																											
BCG	99.2																											
麻疹風しん混合(1期)	90.0																											
〃(2期)	94.4																											
〃(3期)	89.0																											
〃(4期)	92.0																											
21,790			22,166	<p>ワクチンを接種することにより、病気の発症予防及び重症化を防ぐことができた。</p> <p>○ワクチン接種率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ワクチン名</th> <th>接種者数(延人)</th> <th>接種率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>1,956</td> <td>70.5</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td>793</td> <td>43.7</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td>889</td> <td>43.1</td> </tr> </tbody> </table>	ワクチン名	接種者数(延人)	接種率(%)	子宮頸がん	1,956	70.5	ヒブ	793	43.7	小児用肺炎球菌	889	43.1												
ワクチン名	接種者数(延人)	接種率(%)																										
子宮頸がん	1,956	70.5																										
ヒブ	793	43.7																										
小児用肺炎球菌	889	43.1																										
		40	380	<p>ウォーキングコースを紹介することで健康づくり、生活習慣病予防を効果的に進めることができた。</p>																								

事業名	事業内容	事業費
健康教育事業 (保健センター) 【事項別明細書 174 頁】 【事項別明細書 176 頁】	健康づくりの中でも、生活習慣病予防に重点を置き、市民1人ひとりが自分自身の生活習慣を見直す機会として、個人や各種団体などに対し、集団健康教育を行い、健診受診率向上に努めた。 実施回数：132回 延べ参加者数：4,258人	757
健康相談事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	健康教育実施時や健診時等に併せて、健康相談を実施した。 実施回数：116回 延べ参加者数：3,905人	256
健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	健康増進法により、生活保護者の健康診査、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診を実施した。	1,928
訪問指導事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	特定健診・がん健診の要精密者等に訪問し、相談や指導を行った。 延べ訪問者数：170人	53
後期高齢者健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	長崎県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施した。	5,970

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
504			253	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に対する関心を高めるとともに、生活習慣病予防についての認識を深めることができた。												
170			86	疾病の早期発見・早期治療の重要性を説明することで、健診事業の啓発や生活習慣改善の普及が図られた。												
1,285			643	各種健（検）診を実施することで、疾病予防及び重症化を防ぐことができた。 <table border="1" data-bbox="1675 643 2130 762"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>受診者数(人)</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝炎ウイルス</td> <td>85</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>骨粗鬆症</td> <td>393</td> <td>23.0</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患</td> <td>84</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	受診者数(人)	受診率(%)	肝炎ウイルス	85	—	骨粗鬆症	393	23.0	歯周疾患	84	4.2
種 類	受診者数(人)	受診率(%)														
肝炎ウイルス	85	—														
骨粗鬆症	393	23.0														
歯周疾患	84	4.2														
34			19	生活習慣改善の支援のため戸別訪問を行い、生活習慣病の予防を図ることができた。また、がん検診要精密者に対し早期受診の必要性を説明することで、生活習慣病を早期に発見し、重症化予防に寄与することができた。												
		5,970		後期高齢者医療の被保険者に対しての健診を実施することで、生活習慣病を早期に発見し、重症化予防に寄与することができた。 <table border="1" data-bbox="1675 1145 2130 1235"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数(人)</td> <td>788</td> <td>778</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>11.8</td> <td>11.4</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成22年度	平成23年度	受診者数(人)	788	778	受診率(%)	11.8	11.4			
区 分	平成22年度	平成23年度														
受診者数(人)	788	778														
受診率(%)	11.8	11.4														

事業名	事業内容	事業費
食育推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】 【事項別明細書 178 頁】	市民 1 人ひとりが、命の源である「食」について認識を高め、生涯にわたって健やかで心豊かな生活を送るため、本市の特性を活かした「食育」を家庭や学校・保育所・生産者等の「食」に関わる多様な関係者が地域において一層の連携を深めながら、市民運動として推進した。 ・食育講演会 1 回開催 参加者： 110 人 ・食育推進リーダー学習会 32 回開催 参加者：延 453 人 ・地域普及活動 139 回実施 参加者：延 4,651 人	1,310
がん検診事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	がん対策基本法により、大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を行った。また、特定健診受診者を対象に前立腺がん検診を行った。	21,977
女性特有のがん検診推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 178 頁】	一定の節目年齢の女性に対し、子宮がん及び乳がんに関する検診手帳と検診費用が無料になるがん検診無料クーポン券を送付し、受診の促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及啓発に努めた。	2,086
働く世代への大腸がん検診推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 178 頁】	一定の節目年齢の人に対し、大腸がんに関する検診手帳と検診費用が無料になるがん検診無料クーポン券を送付した。また、検査キットを希望者に事前に送付し、大腸がん検診を受けやすくすることにより、受診率向上及びがんの早期発見と正しい健康知識の普及啓発に努めた。	1,984
花とみどりのふるさとづくり事業 (市民課) 【事項別明細書 180 頁】	市民の環境美化意識の向上のため、市街地を中心とした大型プランターに四季の花苗、国道 383 号線沿い一部区間に、菜の花を植栽した。 ・フラワー街道事業 ・プランター植栽事業 ・花いっぱい運動用苗配布事業	3,257

財 源 内 訳				事業の成果																																																																						
国庫支出金	地方債	その他	一般財源																																																																							
654			656	教育・農林水産・保健衛生・地域関係者等の「食育」に関わる分野が情報の共有化を図り一層連携できるような食育推進会議及び部会を開催し、食育に取り組む団体等のネットワークの構築を図ることができた。																																																																						
			21,977	あらゆる機会（場）において、早期発見・早期治療の重要性を説明し、受診勧奨を行った。各種がん検診における受診率向上を目指し、特定健診も含めて受診できるように総合健(検)診の日数を増やすなど、受診しやすい検診体制づくりに努めた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">大腸がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>2,040</td> <td>1,903</td> <td>2,087</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>14.1</td> <td>12.9</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胃がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>1,475</td> <td>1,383</td> <td>1,408</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>10.2</td> <td>9.4</td> <td>9.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">肺がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>2,670</td> <td>2,431</td> <td>2,422</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>18.5</td> <td>16.5</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">乳がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>1,326</td> <td>1,289</td> <td>1,215</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>—</td> <td>221</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>32.6</td> <td>28.4</td> <td>27.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">子宮がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>1,145</td> <td>1,160</td> <td>1,097</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>—</td> <td>91</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>24.2</td> <td>24.4</td> <td>24.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">前立腺がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>246</td> <td>322</td> <td>421</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>4.3</td> <td>3.7</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前立腺がん検診は、特定健診及び健康診査受診者の内数。 ※乳がん及び子宮がん検診については、女性特有のがん検診推進事業での受診者を含む。 ※大腸がん検診については、働く世代への大腸がん検診推進事業での受診者を含む。</p>	種 類	21年度	22年度	23年度	大腸がん	受診者数(人)	2,040	1,903	2,087	うちクーポン	—	—	293	受診率(%)	14.1	12.9	14.4	胃がん	受診者数(人)	1,475	1,383	1,408	受診率(%)	10.2	9.4	9.7	肺がん	受診者数(人)	2,670	2,431	2,422	受診率(%)	18.5	16.5	16.7	乳がん	受診者数(人)	1,326	1,289	1,215	うちクーポン	—	221	236	受診率(%)	32.6	28.4	27.1	子宮がん	受診者数(人)	1,145	1,160	1,097	うちクーポン	—	91	75	受診率(%)	24.2	24.4	24.4	前立腺がん	受診者数(人)	246	322	421	受診率(%)	4.3	3.7	3.9
種 類	21年度	22年度	23年度																																																																							
大腸がん	受診者数(人)	2,040	1,903	2,087																																																																						
	うちクーポン	—	—	293																																																																						
	受診率(%)	14.1	12.9	14.4																																																																						
胃がん	受診者数(人)	1,475	1,383	1,408																																																																						
	受診率(%)	10.2	9.4	9.7																																																																						
肺がん	受診者数(人)	2,670	2,431	2,422																																																																						
	受診率(%)	18.5	16.5	16.7																																																																						
乳がん	受診者数(人)	1,326	1,289	1,215																																																																						
	うちクーポン	—	221	236																																																																						
	受診率(%)	32.6	28.4	27.1																																																																						
子宮がん	受診者数(人)	1,145	1,160	1,097																																																																						
	うちクーポン	—	91	75																																																																						
	受診率(%)	24.2	24.4	24.4																																																																						
前立腺がん	受診者数(人)	246	322	421																																																																						
	受診率(%)	4.3	3.7	3.9																																																																						
686			1,400																																																																							
840			1,144																																																																							
			3,257	「花いっぱい運動」の一環として実施したプランター植栽事業等により、市民の緑化思想の普及ができた。公共施設や街路等に花木の植栽が行われ、市民をはじめ観光客に対しても環境美化意識の向上が図られた。																																																																						

事業名	事業内容	事業費
海岸漂着物地域対策推進事業 (市民課) 【事項別明細書 188 頁】	漁業被害や観光地の景観を損ねている外国からの漂流・漂着ごみ等を適正に処理し、海岸環境の保全を図った。海岸線域 23 カ所において、漂着ポリ容器等の回収を実施した。	4,519
不法投棄ごみ調査撤去事業 (市民課) 【事項別明細書 188 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 国の緊急雇用対策創出事業により臨時職員 4 名を 9 月～11 月の 3 カ月間雇用し、市内の不法投棄箇所の調査・撤去作業を行った。 また、再発防止を図るため立て看板を設置した。	2,191
ごみ減量化推進事業 (市民課) 【事項別明細書 188 頁】	ごみの減量化を図るため、各種団体による資源物の集団回収に対し交付金を交付した。また、生ごみ処理機設置者に対し補助を実施した。 再資源化推進登録団体数 205 団体	6,708
ごみ処理施設解体事業 (市民課) 【事項別明細書 190 頁】	平成 16 年 4 月から、ごみ処理広域化による北松北部クリーンセンターの稼動に伴い、既に廃止している焼却施設について、老朽化による環境保全上の支障が懸念されることから、市内 3 施設の解体工事を年次計画により順次着手した。解体跡地については、循環型社会形成推進施設としてストックヤード施設整備を図ることから、解体工事及び解体予定施設の基本設計等を実施した。 【解体工事】平戸市総合衛生センター 24t/日 (12t/8h×2 炉) 平戸市総合衛生センター解体工事(ごみ処理施設) 地下 1 階地上 3 階 902.521 m ² 煙突 35m 【基本設計】生月町志保良塵芥焼却場 10t/日 (10t/8h×1 炉) 【基本設計】田平町ごみ処理施設 6t/日 (6t/8h×1 炉)	131,450

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,500			19	漂流漂着ごみを回収し、適正処分することにより、海岸環境の保全が図られた。 回収ポリ容器 415 個 焼却処理施設搬入量 22,670kg 発泡スチロール等 92.1 m ³
2,177		8	6	不法投棄されたごみを回収することにより、環境保全に努めることができ、環境の美化が図られた。 新規雇用失業者数 4 名 撤去箇所 : 12 箇所 一般廃棄物 : 5,880 kg 廃タイヤ・廃家電・瓦礫等 : 67.61 m ³
			6,708	各団体において活動規模に差はあるものの、新規団体の登録、資源物回収量の増加等、市民の分別リサイクル意識の啓発に伴うごみの減量化が図られた。 ごみ減量化機器設置事業補助 電気式生ごみ処理機 10 基 再資源化推進交付金 平成 23 年度 古紙類 766,588kg リターナブルビン 182,637 本 平成 22 年度 古紙類 657,766kg リターナブルビン 211,757 本
43,472	66,500		21,478	ダイオキシン類暴露防止対策等により周辺環境へ影響も無く施設解体撤去が実施でき、ストックヤード建設予定地の確保が図られた。また、解体予定施設については、基本設計等の実施により次年度事業の進捗が図られた。

事業名	事業内容	事業費																														
浄化槽設置整備事業 (市民課) 【事項別明細書 192 頁】	生活雑排水の適正な処理を目的に、浄化槽設置者への補助を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>本土</th> <th>離島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人槽</td> <td>28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6～7人槽</td> <td>39</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>8～10人槽</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11～20人槽</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21～30人槽</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31～50人槽</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>76</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>新築(再掲)</td> <td>41</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改築(再掲)</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	種類	本土	離島	5人槽	28		6～7人槽	39	4	8～10人槽	4		11～20人槽	1		21～30人槽	3		31～50人槽	1		計	76	4	新築(再掲)	41		改築(再掲)	35	4	41,785
種類	本土	離島																														
5人槽	28																															
6～7人槽	39	4																														
8～10人槽	4																															
11～20人槽	1																															
21～30人槽	3																															
31～50人槽	1																															
計	76	4																														
新築(再掲)	41																															
改築(再掲)	35	4																														
し尿処理施設解体事業 (市民課) 【事項別明細書 192 頁】	平成 17 年 4 月から、ごみ処理広域化に伴うし尿処理の広域処理を北松北部クリーンセンターにて行っており、これにより既に廃止しているし尿処理施設については、ごみ処理施設と複合した施設となっていることから、ごみ処理施設解体と併せて解体工事を実施した。 平戸市総合衛生センター 40k1/日 平戸市総合衛生センター解体工事(し尿処理施設) 地下1階地上2階 867.08 m ²	31,219																														

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,156			29,629	浄化槽設置により、水質汚濁の主因とされる生活雑排水の公共用水域への流入を減少させ、水環境保全に貢献した。
	29,700		1,519	平戸市総合衛生センターはごみ、し尿の複合処理施設であり、一括して解体工事を実施し、地域の環境保全における景観の向上が図られた。

【 5 款 労働費 】

シルバー人材センターは、高齢社会において、地域に密着した就労の場の確保と、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を目的に設置されており、当センターに対し助成を行った。

◇平戸市シルバー人材センター事業実績の推移

	会員数 (人)	男性 (人)	女性 (人)	受注件数 (件)	就業延べ 人員 (人)	契約金額 (千円)	公共民間割合 (%)	
							公 共	民 間
平成 18 年度	321	163	158	2,394	22,321	112,572	37.4	62.6
平成 19 年度	311	169	142	2,457	22,890	114,893	45.8	54.2
平成 20 年度	305	165	140	2,341	22,642	114,560	46.3	53.7
平成 21 年度	293	155	138	2,244	23,285	120,487	55.1	44.9
平成 22 年度	276	150	126	2,266	23,041	118,006	53.2	46.8
平成 23 年度	260	148	112	2,096	20,838	107,022	52.7	47.3

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
シルバー人材センター支援事業 (長寿保険課) 【事項別明細書 194 頁】	高齢者に生きがいのある就業活動の場を提供するため、社団法人平戸市シルバー人材センターに対し、運営補助を行った。	8,850

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			8,850	社団法人平戸市シルバー人材センターの円滑な運営が図られ、シルバーワークプラザを拠点とした地域に根ざした高齢者の就業活動の展開が図られ、高齢者の健康維持及び生きがいづくりに寄与した。

【 6 款 農林水産業費 】

1 農業費

農家の経営安定と農村の活性化を目標に、農林業の担い手確保、後継者の育成、経営規模拡大、農業生産基盤の整備等を図りつつ、農業所得の向上のため生産性の高い施設野菜や露地野菜の推進、畜産業振興と集落営農組織の推進及び経営の合理化などを積極的に推進した。

(1) 農業委員会

農業・農村を取り巻く環境は、輸入産物の増大による国際化の進展、農業の担い手不足と高齢化、農地の荒廃・遊休化など多くの課題を抱え、厳しい状況に直面している。農業委員会としては、新しい「食料・農業・農村基本計画」において、農地の有効利用を促進するため、農地の利用状況調査を実施し、農業経営基盤強化促進法に基づき、認定農業者や担い手への農地の利用集積をはじめ、耕作放棄地の発生防止・解消のための指導強化等、積極的な土地利用の推進と農業後継者結婚対策に取り組んだ。

(2) 農業振興対策

地域農業活性化のため、営農基盤の整備促進や農用地の有効利用及び担い手対策として認定農業者を対象とした農援隊設置事業をはじめ、各種事業を積極的に推進した。

地域振興品目の振興普及対策では、アスパラガスの環境負担軽減を目的とした UV カットフィルムの導入を行い、管理作業労力の省力化と化学農薬低減技術の導入を図った。

有害鳥獣対策については、特にイノシシによる農作物への被害防止のため、「捕獲」「防護」「棲み分け」の観点から、地元猟友会との連携及び特区チームによる駆除を行った。また、箱罟の整備による捕獲体制の強化、防護柵の整備による農地への侵入防止に努めた。

中山間地域等直接支払制度においては、事業実施により活発な集落の共同活動や多面的機能の増進、耕作放棄地の防止が図られた。

(3) 担い手育成対策

平戸市担い手育成総合支援協議会を中心として、認定農業者の確保や育成などを図るため各種研修会の開催や県が開催する研修会等への参加など関係機関と連携を図りながら積極的な取り組みを行った。

(4) 農業者戸別所得補償制度の推進

農業者戸別所得補償制度においては、平戸市地域水田農業推進協議会を中心として、食料自給率向上や水田農業経営の改善を目的に、米の計画的生産と飼料作物や野菜等の増産に向けた施策を推進した。

(5) 近代化施設整備

本市の振興品目であるアスパラガスについて、新規就農者 2 名に対し、施設（アスパラガスハウス）の導入補助を行った。また、第 6 次産業化に向けた支援策として、農事組合法人が導入する施設（いちごの長期保存用冷凍庫及び倉庫）に対して補助を行った。

(6) 畜産業振興対策

肉用牛の振興において、飼養頭数は、ほぼ横這いで推移しているものの、担い手不足や高齢化等による少頭数飼いの農家が減少傾向にある。

そうしたことから、産地確立の中核となる繁殖農家の経営支援を推進するため、優良繁殖雌牛の導入及び牛舎等の整備に対する補助を行うとともに、放牧地整備による低コスト化の支援と併せて、ながさき西海農協が建設したキャトルセンター及び付随する設備・機械に対して支援を行った。

平成 24 年度に開催される第 10 回全国和牛能力共進会長崎県大会については、和牛オリンピック対策奨励事業として、第 2 区「若雌の 1」、第 3 区「若雌の 2」及び第 7 区「総合評価群」の導入に対する補助を行い、出品候補牛の選定を行うとともに、本市からの出品及び上位入賞を目指し、各地区和牛部会及び農協等の関係団体と一体となった出品指導などの取り組みを推進した。

(7) 農業基盤整備

農業生産の近代化及び農業生産力の増強と経営基盤の強化整備拡充を図るため、未舗装農道や老朽化した用排水路、頭首工、ため池などの整備に対して、市単独農業農村整備事業による補助を行い、農業環境の整備に努めた。また、耕作放棄地の解消を図るため、耕作放棄地解消総合対策事業を実施し、農地の再生を行った。

2 林業費

(1) 森林造成・保全

植栽から保育事業まで一貫した造林事業を実施することにより、優良材の生産及び健全な森林の育成を図ることができ、また、森林の持つ多面的な機能を発揮し、CO₂（二酸化炭素）の吸収による低炭素社会の実現、水源かん養機能や国土保全等、美しい自然環境の保全に貢献している。

更に、健全な森林を育成するために、市有林において、国庫補助事業により間伐等の適切な整備を実施した。森林整備地域活動支援交付金事業により、地域森林所有者の林業経営に対する意欲向上及び森林施業の推進に取り組んだ。

(2) 林道等施設整備

国の交付金等を活用し、林道の法面の整備を行うなど、林道利用者の安全を確保し、林業振興及び市民生活の利便性の向上に寄与した。

(3) 特用林産物活用施設整備

特用林産物の振興と雇用の確保を図るため、平戸市森林組合が整備する菌床しいたけのホダ木生産施設に対し、補助を行った。

3 水産業費

資源水準や魚価の低迷、漁場環境の変化、担い手の減少と高齢化、燃油や漁業資材の高騰などにより厳しさを増す水産業界だが、中長期的には「漁場環境及び生産管理（資源管理）の強化」による漁業生産の効率化と安定化（持続的利用）を目指し、短期的課題として「流通・販売体制の改善と漁村加工の育成（高付加価値化）による収益力の強化」「漁協経営の基盤強化」「都市住民らとの交流と地域連携による開かれた漁村の創造」によって、経営の安定化を図り先進的な水産業の中核地域づくりの推進を行った。

また、漁業の担い手をはじめとする漁村の住民にとって安全で快適な生活環境や効率的な生産環境づくりを図るため、基幹的な漁港施設や漁村環境の施設整備の取り組みを行った。

(1) 水産業振興対策

水産資源の再生産にとって極めて重要な位置を占める藻場の回復を図るため「環境・生態系保全活動支援交付金事業」を実施すると同時に、人工魚礁漁場を整備し、生産基盤の維持安定を推進するとともに、離島地区における漁業生産力の向上を図るため、「離島漁業再生支援交付金事業」を実施し、地域の実情に応じた沿岸漁業の振興策を図った。

また、広域的な栽培漁業と資源管理型漁業の積極的な推進により、水産資源の維持・安定を図っている。さらに、「放流用アワビの中間育成試験」に取り組み、栽培漁業の効率化や地域資源を活かした漁村加工及び販売促進に取り組んできた。

なお、集・出荷体制の改善と漁村加工を推進し、収益安定を図るとともに経営母体の体質強化並びに人材育成を推進するため、現場実態に則した普及・指導を強化した。

新規事業としては、漁業後継者確保対策として「漁業担い手確保支援交付金事業」に取り組み、沿岸漁家の後継者確保を推進した。

【 6款 農林水産業費 】

(2) 漁港建設

水産活動の拠点として重要な役割を果たしている漁港の整備については、漁港整備長期計画に基づき今日まで整備を行った結果、一定の漁港形態は整ってきたが、未だ必要な施設が整っていない漁港も存在していることから計画的に漁港、漁村の整備を進めている。併せて、平成 22 年度から既存施設の長寿命化を図るため、従来の漁港建設事業に加えて「水産物供給基盤機能保全事業」を実施しており、平成 23 年度においては、従来の機能保全工事を行うための前提となる機能保全調査と併せて機能保全工事を実施し、漁港施設の延命措置を講じた。

事業名	事業内容	事業費
農地制度実施 円滑化事業 (農業委員会) 【事項別明細書 194 頁】	農地の利用関係調整（農地等の利用関係紛争についての和解の仲介や権利移動の許可取得等による農地の斡旋等）や農地の利用状況調査、農地基本台帳の整備等を行った。	3,979
耕作放棄地解消 サポート事業 (農業委員会) 【事項別明細書 194 頁】 【事項別明細書 196 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 「耕作放棄地解消コーディネーター」として臨時職員を雇用し、担い手と地権者のマッチングのための相談・調整を支援することにより、耕作放棄地の解消を図った。	3,561
農業後継者結婚 対策事業 (農業委員会) 【事項別明細書 196 頁】	結婚相談員（32 人）と協力員（19 人）を中心に農業後継者結婚相談推進会議を開催し、農業後継者の結婚に向けた相談活動等を行った。 地区別会議（平戸 3 地区、生月、田平、大島）計 6 回	146
中山間地域等直接 支払交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 198 頁】 【事項別明細書 200 頁】	中山間地域における耕作放棄地の防止と多面的機能を確保する観点から、活動を行う協定締結集落等へ交付金を交付した。 推進事業費 1,416 千円 交付金 184,057 千円 協定締結数 102 協定（集落 101 個人 1） 交付面積 1,006.25ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	185,473

(単位：千円)

財源内訳				事業の成果										
国県支出金	地方債	その他	一般財源											
3,970		8	1	農地の利用状況調査の実施により、農地基本台帳の整備が図られ、農地利用集積等の基礎資料として活用が可能になった。										
3,546		15		農地の利用状況調査を活用し、耕作放棄地の全体を把握し、その中から農振地域内の農地を重点的に利用促進を図り、耕作放棄地の解消を行った。 耕作放棄地解消 278 筆、18ha 新規雇用失業者数 4 名										
			146	結婚相談員の親身になった活動と努力が後継者の結婚成立に結びついた。 ○結婚成立件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20 年度</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結婚成立件数</td> <td>1 件</td> <td>0 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	結婚成立件数	1 件	0 件	1 件	1 件
年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度										
結婚成立件数	1 件	0 件	1 件	1 件										
139,446		4	46,023	この事業を行ったことで、集落の活発な営農活動が生まれ、農地・道路・水路などの保全はもとより、水源のかん養機能や良好な景観の形成機能が増進され、また耕作放棄地の防止を図ることができた。 協定締結数 22 年度 91 協定（集落 90 個人 1） 23 年度 102 協定（集落 101、個人 1） 交付面積 22 年度 877.65ha 23 年度 1,006.25ha										

事業名	事業内容	事業費
耕作放棄地解消総合対策事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	平戸市担い手育成総合支援協議会が実施する耕作放棄地解消総合対策事業に対し、補助を行った。 事業内容 区画整理、農道・水路の改修、暗渠排水路等の整備 事業量 102a 3 箇所 (平戸地区 1 箇所、田平地区 2 箇所) 事業費 7,293 千円 (補助対象事業費) 負担割合 国 (※) : 50%、県 : 30%、市 : 15%、受益者 : 5% ※国費は、直接交付。	3,281
農援隊設置事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 事業内容 ながさき西海農協に委託し、労働力不足のため規模拡大や新規品目導入に踏み切れない認定農業者へ農援隊を派遣し、労力の支援を行った。 事業量 農援隊 (8 名) の派遣 事業費 15,990 千円	15,990
構造改善加速化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	【就農定着促進支援補助金】 事業内容 平戸南部アスパラガス生産組合 (2 戸) が導入する施設 (アスパラガスハウス) への補助を行った。 事業量 アスパラガスハウス (単棟型) 10 棟 3,075 m ² 事業費 17,535 千円 (補助対象事業費) 負担割合 県 50%、市 16%、受益者 34% 【高付加価値創出支援補助金】 事業内容 農事組合法人ひらど新鮮市場が導入する施設 (いちごの長期保存用冷凍庫及び倉庫) への補助を行った。 事業量 冷凍庫 1 基 (7.3 m ²) 及び倉庫 1 棟 15.8 m ² 事業費 2,740 千円 (補助対象事業費) 負担割合 県 : 50%、市 : 14%、受益者 : 36%	13,325
ながさき農山村活性化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	津吉地域活性化協議会 (各種 15 団体の代表者など 23 名で構成) が実施する地域活性化活動に対する補助を行った。 事業内容 活性化計画の策定 (各種会議の開催等)、環境保全活動 (耕作放棄地の情報把握)、産業振興活動 (新規就農者の営農定着支援、先進地視察、加工新商品開発の準備など) 事業費 500 千円 (補助対象事業費) 負担割合 県 : 100%	500
輝くながさき園芸産地振興計画推進事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	ながさき西海農協松浦地区アスパラガス部会が導入する環境負担軽減対策資材 (UV カットフィルム) に対し、補助を行った。 事業内容 UV カットフィルム導入 A=139.0a (平戸市 : 5 戸 : 81.0a、松浦市 : 7 戸 : 58.0a) 事業費 全体事業費 1,937 千円 (平戸市 1,144 千円、松浦市 793 千円) 負担割合 県 : 33.3%、市 : 18.7% (補助残の 28%)、受益者 : 48%	858

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,186			1,095	この事業を行ったことで、当該箇所における農地の区画整理、農道・水路の改修、暗渠排水路等が整備され、102a の耕作放棄地を解消することができた。 また、解消後の農地においては、地域振興品目を中心に作付けを行い、園芸産地の拡大に向け推進がなされた。
15,990				この事業を行ったことで、認定農業者の労働力不足が一定解消し、農業環境の改善と規模拡大につながった。また、9 名の雇用創出ができた。 新規雇用失業者数 9 名
10,137			3,188	アスパラガスハウスへの導入補助を行ったことで、新規就農者 2 名の就農定着化促進と経済面での支援ができ、将来的な後継者育成と産地拡大につながった。 また、いちごの長期保存用冷凍庫及び倉庫への補助を行ったことで、いちご栽培農家の所得向上及び第 6 次産業化の振興が図られた。
500				この事業を行ったことで、多くの活性化団体の代表者が一同に会し、意見交換や活性化計画を策定する中で、環境保全活動 (耕作放棄地の情報把握)、産業振興活動 (新規就農者の営農定着支援、先進地視察、加工新商品開発の準備など) が推進され、津吉地域の活性化に寄与することができた。
645			213	アスパラガス産地である田平地区の生産農家が、施設内への害虫進入の防止や活動抑制に効果がある被覆資材 (紫外線カットフィルム) を導入したことによって、大幅に薬剤散布回数が減り、安全で安心な農産物の提供と、環境保全型農業の推進が図られた。また、防除労力の削減と所得向上につながった。

事業名	事業内容	事業費
農地・水・環境保全向上対策事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	本市と協定を締結した活動組織が、地域で共同して行う農地、水路等の日常の管理や農村環境の向上に資する活動を支援した。 事業主体 県北地域農地・水・環境保全向上対策協議会 事業費 交付金 4,786 千円、推進事業費 480 千円 交付団体 16 団体(平戸 9、生月 1、田平 6) 交付面積 田 397.44ha、畑 41.77ha、草地 21.77ha 計 460.98ha	5,266
有害鳥獣被害防止対策事業 (農林課) 【事業別明細書 202 項】	有害鳥獣(イノシシ等)による被害防止のため、有害鳥獣駆除員に対する捕獲報償金及び平戸・田平猟友会への駆除業務委託並びに捕獲罠の整備を行った。 捕獲報償金(4,086頭) 20,430千円 捕獲罠(箱罠133基) 8,037千円 駆除業務委託(平戸・田平猟友会) 6,000千円 その他 773千円	35,240
鳥獣被害防止総合対策事業 (農林課) 【事業別明細書 202 項】	有害鳥獣(イノシシ等)による農作物の被害防止のため、ワイヤーメッシュ柵及び電気柵の整備に対して補助を行った。 防護柵整備(ワイヤーメッシュ柵) 103,426千円 防護柵整備(電気柵) 9,766千円	113,192
新規就農者実践農場推進事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	県北各地域の優良農業者をインストラクターとして認定し、地域の振興品目であるいちご・アスパラガス・繁殖牛などによる農業経営を目指す新規就農希望者を対象に、1年目(前期)の実地研修と2年目(後期)の就農以降のフォローアップを実施する事業であり、平成23年度においては、2年目の研修者に対し補助を行った。 補助金 600千円(1人×50千円×12月) 研修作物 アスパラガス	600
豊かな農山村づくり事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	○担い手対策支援事業 農業大学校就学者5名への補助 600千円 ○高付加価値型農林業の振興対策事業 玉ねぎ乾燥施設建設(1棟)への補助 200千円 ○その他活性化に資する事業 露地園芸作物苗代補助(4部会) 1,101千円 活性化団体(1団体)への研修費補助 200千円	2,101

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
480			4,786	この事業を行ったことで、農業施設の管理や農用地・農道等の草刈、水路の土砂上げ活動等が円滑に実施され、農業施設の長寿命化や地域環境の保全向上が図られた。 また、地域住民が参加し活動することによって、さらなる集落環境の向上と住民間の交流が生まれ、農業の持続的な発展に寄与した。												
13,429			21,811	この事業を行ったことで、地元猟友会及び特区チームによる有害鳥獣(イノシシ等)の捕獲体制の強化が図られ、農作物の被害を抑えることができた。 ○捕獲頭数(イノシシ) (単位：頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>捕獲頭数</td> <td>2,322</td> <td>4,799</td> <td>4,086</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>94%</td> <td>207%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H21	H22	H23	捕獲頭数	2,322	4,799	4,086	前年度比	94%	207%	85%
年度	H21	H22	H23													
捕獲頭数	2,322	4,799	4,086													
前年度比	94%	207%	85%													
113,192				この事業を行ったことで、有害鳥獣(イノシシ等)の農地侵入を防止し、農作物の被害を抑えることができた。 ○防護柵整備状況 (単位：m) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WM柵</td> <td>10,559</td> <td>46,080</td> <td>148,880</td> </tr> <tr> <td>電気柵</td> <td>37,570</td> <td>19,140</td> <td>48,241</td> </tr> </tbody> </table> ※WM柵=ワイヤーメッシュ柵	年度	H21	H22	H23	WM柵	10,559	46,080	148,880	電気柵	37,570	19,140	48,241
年度	H21	H22	H23													
WM柵	10,559	46,080	148,880													
電気柵	37,570	19,140	48,241													
300			300	この事業を行ったことで、研修者は、インストラクターやJA生産組織より営農に対する基礎的な技術の習得をすることができ、意欲ある新規就農者の確保・育成に寄与することができた。												
			2,101	この事業を行ったことで、農業大学校の学生や団体等への研修費を補助することにより、農業に対する意欲の向上と担い手の確保が図られた。 また 玉ねぎ乾燥施設建設及び露地園芸作物苗代への補助を行ったことにより、農業者の負担軽減が図られ、同時に産地の規模拡大と地域農業の活性化につながった。												

事業名	事業内容	事業費
担い手コーディネーター設置事業 (農林課) 【事項別明細書 204 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 事業内容 平戸市担い手育成総合支援協議会が、担い手コーディネーターを雇用して、「担い手農家の巡回による農家の各種意向掘り起こし活動」、「多様な担い手育成のための意向調査」及び「有害鳥獣被害防止にかかる事業啓蒙、指導」を行った。 委託先 平戸市担い手育成総合支援協議会 事業量 担い手コーディネーター2名雇用 (延べ人数)	2,057
家畜導入事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	長崎県家畜導入事業を活用して、ながさき西海農協が実施する繁殖雌牛の貸付に対して1頭当たり138千円の補助を行った。 ひらどモー！モー！増頭支援事業補助金 県：92千円×50頭=4,600千円 市：46千円×40頭=1,840千円 合計 6,440千円	6,440
和牛オリンピック対策奨励事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	平成24年度に開催される第10回全国和牛能力共進会長崎県大会に向けた候補牛導入及び出品対策に対する補助を行った。 ・全国和牛能力共進会長崎県大会負担金 360千円 ・和牛オリンピック対策奨励事業補助金 4,000千円 350千円×16頭×1/2=2,800千円 400千円×6頭×1/2=1,200千円 ・長崎全共平戸市対策推進協議会運営補助金 200千円 400千円×1/2=200千円 ・事務経費 80千円	4,640
構造改善加速化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	【地域活性化支援補助金】 事業内容 ながさき西海農協が建設したキャトルセンターに導入する設備・機械への補助を行った。 事業量 子牛運搬車1台、堆肥運搬車1台、ホイールローダ1台 飼料運搬車1台など 事業費 17,156千円(補助対象事業費) 負担割合 県：33.3%、市：10%、受益者：56.7%	6,501

財源内訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
2,057				この事業を行ったことで、平戸市や平戸市担い手育成総合支援協議会との連絡及び調整が円滑になされ、認定農業者などへ幅広く活動支援をすることができた。併せて、緊急雇用により雇用の創出につながった。 新規雇用失業者数 2名																
4,600			1,840	ながさき西海農協を通じて優良繁殖雌牛の導入の支援を行ったことで、高齢化による飼養戸数及び飼養頭数の減少はあるものの中核畜産農家の規模拡大につながった。 (戸、頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼養戸数</td> <td>560</td> <td>518</td> <td>489</td> </tr> <tr> <td>飼養頭数</td> <td>3,447</td> <td>3,280</td> <td>3,202</td> </tr> <tr> <td>1戸あたり</td> <td>6.1</td> <td>6.3</td> <td>6.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H21	H22	H23	飼養戸数	560	518	489	飼養頭数	3,447	3,280	3,202	1戸あたり	6.1	6.3	6.5
年度	H21	H22	H23																	
飼養戸数	560	518	489																	
飼養頭数	3,447	3,280	3,202																	
1戸あたり	6.1	6.3	6.5																	
			4,640	この事業を行ったことで、優良繁殖雌牛群の整備が図られ、平成24年度(第10回)全国和牛能力共進会長崎県大会に向けた出品対策の推進と和牛部会及び農協、関係機関一体となった産地力の向上につながった。																
5,718			783	この事業を行ったことで、キャトルセンターにおける施設の充実が図られ、作業効率及び衛生面の向上と利用する畜産農家の負担軽減につながった。																

事業名	事業内容	事業費
21世紀平戸牛産地強化対策事業 (農林課) 【事項別明細書 206頁】	肉用牛経営の規模拡大に意欲を持つ畜産農家に対して、国県補助事業の採択要件に合わない施設整備に対して補助を行った。 21世紀平戸牛産地強化対策事業補助金 別飼施設 1棟 28㎡ 500千円 増改築 3棟 149㎡ 604千円 堆肥舎 1棟 32㎡ 250千円	1,354
子牛共同育成施設整備事業 (農林課) 【事項別明細書 208頁】	【平成22年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 事業内容 ながさき西海農協が建設したキャトルセンターに対し補助を行った。 事業量 子牛共同育成牛舎 2,606㎡、堆肥舎 395.2㎡、管理棟 48㎡、受入検査棟 105㎡など 事業費 142,173千円(補助対象事業費) 負担割合 国：49.38%、県：20%、市：20%(うち平戸市 45.63%)、受益者 10.62%	101,540
農村災害対策整備事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池等の改修のための調査測量・設計及び計画書作成にかかる県工事負担金。 生月地区(ため池、土砂崩壊防止施設) 負担金 39,396千円×16%=6,303千円 負担割合 国：55%、県：29%、市：14%、受益者：2% 大島地区(ため池) 負担金 1,200千円×25%=300千円 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	6,603
農業農村整備事業 (農林課) 【事項別明細書 210頁】	農道整備事業 事業費 4,978千円 施工後、相当年数が経過し、老朽化により支障を来していた農道の補修を行うため、農業者団体が実施する路面舗装等の施設整備に対して補助を行った。 農道舗装 22路線、L=1,720m 平戸地区 2,700千円 14路線 生月地区 459千円 2路線 田平地区 722千円 3路線 大島地区 1,097千円 3路線 小規模かんがい恒久対策事業 事業費 5,013千円 農産物の生産向上と労働力軽減を図るため、農業者団体が実施する老朽化した農業用かんがい施設や未整備地域の施設整備に対して補助を行った。 水路 13箇所、ため池 4箇所、頭首工 1箇所 平戸地区 3,040千円 12箇所 生月地区 1,095千円 4箇所 田平地区 878千円 2箇所	9,991

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,354	この事業を行ったことで、低コストの牛舎・堆肥舎の整備による経営規模の拡大及び低コスト経営が図られた。 また、堆肥舎の整備により、家畜ふん尿の適正管理につながった。
98,643			2,897	この事業を行ったことで、農家の労力軽減が図られるとともに、市場における均一性のある子牛の生産が可能となり、子牛の販売価格の引き上げが期待できることから、今後の増頭対策につなげることができた。
	5,400	580	623	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来していたが、この事業を実施したことにより、将来的に堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給が期待できる。
			9,991	道路への落石や路面の損傷など、農道の維持管理に相当の経費と労力を要していたが、道路が整備されたことにより、農産物や機械搬入の省力化、荷傷み防止等、交通安全の確保が図られた。 近年、特にイノシシによる水路の被害が多く発生し、水路の管理に多大な影響が出ていたが、この制度を活用したことにより、施設が充実し、農産物の生産向上と労働力の軽減が図られた。

事業名	事業内容	事業費
地域ため池総合整備事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 210 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池の改修にかかる県工事負担金。 大島地区 (柳ノ元・白岩ため池) 事業費 40,113 千円 負担金 40,113 千円×9%≒3,610 千円 負担割合 国：60%、県：31%、市：8%、受益者：1%	3,610
【事項別明細書 212 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 大島地区 (柳ノ元・白岩ため池) 事業費 25,000 千円 負担金 25,000 千円×9%=2,250 千円 負担割合 国：60%、県：31%、市：8%、受益者：1%	2,250
豊かな海につながる平戸市民の森林づくり事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	海を見わたせる植樹会場において、森林と海とのつながりについて学習した後、市民ボランティアの手により、ヤブツバキの植樹及び間伐材を使った木工教室を行った。 名称：ながさき森林環境保全事業 (大島)・第 4 回平戸市育樹祭 植樹年月日：平成 23 年 10 月 29 日 (土) 植樹場所：大島村 (大島支所周辺、船越) 植栽木：ヤブツバキ (1,000 本) 参加人数：112 名	863
流域育成林整備事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	植栽から保育まで一貫した造林事業を集团的、計画的、組織的に実施し、森林の総合的整備を行った。 事業量 下刈 4.64ha (平戸地区 3.0ha、田平地区 1.64ha) 造林 0.2ha (平戸地区 0.2ha) 間伐・枝打 0.85ha (平戸地区 0.85ha) 事業費 1,376 千円	1,376
しいたけ新商品開発モデル事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	くふるさと雇用再生特別基金事業> 規格外の菌床しいたけを活用した新商品を開発するため、委託を行った。 ・受託団体 平戸市森林組合 ・新商品開発 乾燥しいたけ ・事業費 7,567 千円	7,567
自然災害防止事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	豪雨により、崩壊した民家裏林地 (3 箇所) について、県の補助事業を活用し、復旧工事を実施した。 京塚地区 (山中町) L=6.0m 崎方地区 (崎方町) L=4.0m 蟹田ノ辻地区 (中野大久保町) L=20.0m	2,772

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,000	401	209	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来していたが、この事業を実施したことにより、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給が可能となった。
	1,900	250	100	
857			6	4 回目を迎えた平戸市育樹祭を、初めて大島村で開催し、大島村はもとより市内各地から、次代を担う小・中学生や保護者など 112 名の参加があった。 その中で、森林と海とのつながりについて学習し、また木工教室及び植樹を通して、森林の持つ公益的機能などについて幅広く情報提供する中で、参加者の森林に対する認識が深まったと同時に環境保全にも寄与することができた。
876			500	この事業を行ったことで、植栽から保育事業までの一貫した造林事業の実施ができ、優良材の生産及び健全な森林の育成が図られた。 また、森林の持つ多面的機能の発揮を促進し、水源かん養機能やCO ₂ (二酸化炭素) 削減に寄与できた。
7,567				これまで商品価値が低かった規格外のしいたけについて、乾燥加工を施したことにより、付加価値が付き、商品価値が高まった。この乾燥しいたけは、平成 22 年度から商品化され、市内外において販売を行い、収益増につながった。 また、雇用の創出につなげることができた。 新規雇用失業者数 2 名
1,384		694	694	この事業を行ったことで、林地の現況復旧と再崩壊を防止し、市民生活の安全を確保することができた。

事業名	事業内容	事業費
森林病虫害対策事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】 【事項別明細書 220 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害(松くい虫)から守るため、防除を実施した。 ・地上散布 7.82ha(平戸地区3.22ha、大島地区4.60ha) ・空中散布 82.0ha(大島82.0ha) ・伐倒駆除 180.0m ³ (平戸地区12.0m ³ 、生月地区66.0m ³ 、大島102.0m ³) ・樹幹注入 128本(平戸128本)	9,237
森林整備地域活動支援交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 220 頁】	施業集約化に不可欠な作業路網の改良箇所の洗い出しのための点検及び崩壊箇所・崩壊の原因となっている箇所について、丈夫で簡易な作業路網へ転換を図る改良活動に対して支援を行った。 事業内容 作業路網の改良活動 1,100ha (平戸地区940ha、田平地区160ha) 事業主体 県林業公社、平戸市森林組合、北松森林組合	6,000
特用林産物活用施設整備事業 (農林課) 【事項別明細書 220 頁】	平戸市森林組合が整備する菌床しいたけのホダ木生産施設に対し、補助を行った。 事業量 ホダ木生産施設増設工事 A=1,133.58 m ² 事業費 328,587千円(補助対象事業費) 負担割合 県：50%(直接補助)、市：16%、受益者34%	52,573
森林整備加速化・林業再生事業 (農林課) 【事項別明細書 220 頁】	【平成22年度繰越明許費】 林業機械及び車両の搬入、間伐促進を目的に、県の補助事業を活用し、中核作業路の整備を図った。 路線名 中核作業道阿瀬見線 事業量 L=990.0m、W=3.0m 事業費 46,640千円	46,640
離島漁業再生支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】 【事項別明細書 224 頁】	漁業生産や販売の面で本土地区に比べ不利な条件が強いられる離島地区の中で、漁業組合員自ら策定した活動計画(集落協定)に基づき、沿岸漁業の振興に取り組む漁業集落に対して一定額の交付金を交付した。 対象地区 度島 46世帯 6,256千円 高島 4世帯 544千円 的山 28世帯 3,808千円 大根坂 21世帯 2,856千円 推進事務費 200千円	13,664

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,253			984	この事業を行ったことで、防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害(松くい虫)から守ることができ、地域住民生活及び環境・景観保全を図ることができた。
4,625			1,375	この事業を行ったことで、森林整備が計画的に進み、公益的機能が発揮され、森林所有者の林業経営意欲の向上に寄与した。
	52,573			この事業を行ったことで、ホダ木にかかる生産コストの低減が可能となり、事業者の所得向上と経営の安定化及び林産物の振興と雇用の確保が図られる。
46,640				この事業を行ったことで、中核作業路が整備され、車両等の搬入が可能となり、間伐等の森林整備が図られ、森林所有者の林業経営意欲の向上に寄与した。
10,252			3,412	各漁業集落の地域特性を考慮した「漁場の生産力の向上に関する取り組み」並びに「集落の創意工夫を活かした新たな取り組み」を展開し、産卵場の整備、磯焼け対策、加工品の開発、直売所の整備運営を行った。

事業名	事業内容	事業費
漁村再生交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	魚礁設置及び緑地整備 設置場所 魚礁：早福・生月地先 緑地：早福 ・総事業費 82,264 千円 うち年度内支出 53,986 千円 事業内容 早福地区漁村再生交付金魚礁設置工事 トラスリーフ TR-30 5 基 生月地区漁村再生交付金魚礁設置工事 ハニカム 10 基 FP 魚礁 3.25 型 38 個 早福地区緑地整備工事 東屋工事 土間芝生工事 ・事務費 325 千円	54,311
環境・生態系保全活動支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	漁業者が取り組むモデル的な磯焼け対策に対して交付金を支給した。 度島地区 志々伎地区 計画づくり 400 千円 計画づくり 400 千円 計画モニタリング 500 千円 計画モニタリング 500 千円 保全活動 1,500 千円 保全活動 2,300 千円 合計 度島 2,400 千円 + 志々伎 3,200 千円 =5,600 千円 負担区分 国 (1/2) 県 (1/4) 市 (1/4) 市支出内訳 負担金 5,600 千円×1/4=1,400 千円 補助事務費 250 千円 単独事務費 1 千円	1,651
豊かな海づくり事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	市内の漁民、漁協及び団体が取り組む水産業振興策を支援するため、市単独の補助金を交付した。 ①真空包装機導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 473 千円 大島村漁業協同組合女性加工部 ②いけす仕切り網導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 160 千円 志々伎漁業協同組合 ③エビ・カキ祭り〔高付加価値型漁業の振興対策〕 243 千円 平戸市水産振興協議会 ④磯焼け対策〔資源管理型漁業推進事業〕 124 千円 中野漁業協同組合	1,000
密漁取締連携推進事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	密漁対策のため、平戸市管内の漁協で組織された北松海域漁場監視連絡協議会が実施する漁業者による密漁監視のための自警活動に対し、監視活動に使用する船舶の運航経費の一部を補助した。 総事業費 3,390 千円 密漁監視活動実績 226 回 県費 1,130 千円 (1/3；直接補助) 市費 565 千円 (1/6) 負担金 1,695 千円 (1/2；協議会自己負担金)	565

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
43,871	10,000		440	漁港から比較的近い海域に人工的に漁場を造成し、天然礁や既存の人工魚礁と併せて、回遊魚の滞留時間の延長を促すことで、漁獲の増大及び漁業経費の軽減に繋がった。 また、早福地区に緑地整備を行うことで、漁港環境の改善と地域住民の憩いの場ができた。
250			1,401	対象地区において漁業者・漁協をメンバーの中心とする活動組織を設立し、地先の磯焼け対策について協議しながら(計画づくり)、定期的なモニタリングと併せてウニ駆除やウニハードルの設置、母藻の設置など藻場の保全活動を計画的に実施した。
			1,000	①大島近海で採れた新鮮な魚を使い、付加価値を付け、商品の安定供給を図るため、真空包装機による保存を行うことで長期保存と計画的な生産が可能となり漁家経営の安定に繋げることができた。 ②安定的出荷体制維持のため、平成 15 年に数種類の活魚蓄養を目的に大型蓄養施設を設置した。今回その仕切り網を使用することで魚種毎の区分けができ、安定的且つ円滑に出荷することが出来るようになった。 ③冬のイベントとして定着している「エビ・カキ祭り」の宣伝をすることで、多くの客を集めることができ、平戸の旬の食材を積極的に PR することができた。 ④食害生物であるガンガゼ・小型巻貝を駆除することで環境保全と資源保護の意識付けができた。
			565	自警活動に取り組む平戸市内の全漁協により組織された漁場監視連絡協議会に対し、域内に発生する密漁の効率的な排除と密漁情報の共有システムを確立し、漁場監視体制の整備強化を図ることができた。

事業名	事業内容	事業費
農林漁業振興資金 利子補給事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	漁業者の資本装備の高度化を図り、漁業経営の近代化等に資するため、法令等に基づき漁業近代化資金等を融資した金融機関（漁協）に対し、利子補給金を交付した。 農林漁業振興資金利子補給（利子補給率 1.5%以内） 期首融資残高 165 件 527,853 千円 平成 23 年度新規貸付実行状況 8 件 35,000 千円 利子補給額 平戸市漁協 1,259 千円 中野漁協 101 千円 志々伎漁協 2,718 千円 九十九島漁協 40 千円 生月漁協 162 千円 大島村漁協 112 千円	4,392
新生水産県ながさき総合支援事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	浜の生産・流通・経営基盤整備対策 3t型活魚運搬車導入事業 事業実施主体：平戸市漁協 事業費 7,380 千円 県費 3,690 千円 市費 1,230 千円 自己資金 2,460 千円	4,920
水産業普及指導事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】 【事項別明細書 226 頁】	①漁業・資源管理型漁業の推進 4,145千円 ・放流対象種 オニオコゼ、ヒラメ、クロアワビ、アカウニ ・放流箇所及び数量 志々伎地区 オニオコゼ (50mm) 10,000尾 <800千円> ヒラメ (120mm) 10,000尾 <1,365千円> 田平・津吉地区 クロアワビ (20mm) 15,000個 <1,260千円> 平戸・生月・獅子・中津良 アカウニ (10mm) 60,000個 <720千円> ②中間育成試験 551千円 ・中津良地区（海面中間育成） クロアワビ (15mm) 10,000個 <473千円> 餌（塩蔵ワカメ） <78千円> ③貝毒対策 140千円 ・ノロウィルス及び麻痺性貝毒モニタリング検査 <140千円> ④食中毒検査用検体 16千円 ヒラメ <16千円> ⑤船舶借上料 255千円 藻場調査・水産教室・現地打合せ 等 <255千円> ⑥その他事務費他 189千円	5,296
漁業担い手確保支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 226 頁】	漁業担い手確保支援交付金 50,000 円×2 人×6 月（10 月～3 月） 対象者：生月 1 人 大島 1 人	600

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			4,392	借り手である漁業者の金利負担を軽減し、生産性の向上と所得の安定に寄与した。
3,690			1,230	活魚出荷体制の見直しが必要とされる中、活魚車を整備することにより搬送中のへい死を防ぐなど、活魚車の収容密度を抑え運搬方法を改善して輸送回数の節減を行った。また、鮮魚から活魚販売への一部転換により直売所の売上増を図ることができた。
			5,296	①減少傾向にある水産資源を維持安定（持続的利用）させるためには、種苗放流と同時に、“漁獲規制”を導入する資源管理型漁業が不可欠となる。資源管理型漁業への取り組みを推進するため、科学的根拠に基づく操業規制の導入及び県水産試験場等の推奨する最適放流手法の管内への波及を図った。 ②アワビ種苗の放流については魚価の低迷や沿岸域の磯焼けの深刻化により水揚げが減少していく中で、地元漁協でも十分な資金が確保できず放流数量を調整するなどして対応している現状である。市では地元の協力を得ながらアワビ放流種苗よりも安価な中間育成種苗の中間育成試験を実施し、高生残率を維持しながら放流通性サイズまで成長させ放流通期内に放流を実施することができた。 ③管内における養殖マガキについて、ノロウィルス及び麻痺性貝毒のモニタリング検査を実施したことで、風評被害及び食中毒の防止を図ることができた。 ④管内におけるヒラメ養殖について、寄生虫感染の有無についてモニタリング検査を実施し、風評被害対策を図った。
300			300	漁家子弟の後継者に、技術習得期間中の生活費の支援を行うことにより、後継者の確保に繋げることができた。

事業名	事業内容	事業費
漁港管理システム 化事業 (水産課) 【事項別明細書 228 頁】	<p><緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 既存資料の精度の向上及び毎年更新の省力化並びに利用者の利便性の向上を目的とし、漁港管理システム化事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港背後集落調査及びシステム化 33 漁港 ・プレジャーボート泊地調査及びシステム化 25 漁港 	19,530
地域水産物供給 基盤整備事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>季節風等による波浪により、漁船の係留や漁獲物の陸揚げ等に支障をきたしている状況にあるため、当事業の採択要件を満たしている3漁港において、防波堤の改良及び新設を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子漁港 総事業費 88,652 千円 西防波堤(改良)L=15m うち年度内支出 37,000 千円 ・早福漁港 総事業費 28,471 千円 北防波堤(改良)L=3.5m ・釜田漁港 総事業費 57,498 千円 防波堤(B)L=31m ・事務費 3,109 千円 	126,078
【事項別明細書 232 頁】	<p>【平成22年度繰越明許費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子漁港：西防波堤(改良)L=26.0m 54,401 千円 ・早福漁港：北防波堤(改良)L=14.5m 54,001 千円 ・釜田漁港：防波堤(B)L=10m 60,931 千円 ・事務費 169 千円 	169,502
強い水産業づくり 交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>荒天時の強風により係留時の漁船が支障をきたしている状況にあるため、防波堤上に防風フェンスの整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根獅子漁港 総事業費 35,950 千円 西防波堤(改良)L=117.4m うち年度内支出 9,950 千円 	9,951
水産物供給基盤機 能保全事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>漁港施設の機能保全工事を行うための前提となる機能保全調査を実施するとともに、施設整備後、数十年が経過し老朽化が進んでいる施設について機能診断を行い対策工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化調査及び対策工事 総事業費 43,461 千円 うち年度内支出 19,493 千円 <p>老朽化調査：志々伎浦・根獅子・古田・獅子・下中野・船越・福良 対策工事：飯盛漁港(浮桟橋・飯盛山西防波堤・取付護岸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務費 658 千円 	20,151
【事項別明細書 232 頁】	<p>【平成22年度繰越明許費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化調査：早福・堤・獅子 4,975 千円 	4,975

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
19,530				<p>漁港背後集落の調査を行いシステム化することで、毎年水産庁に報告している基礎データの信頼性が向上し、効率的に更新していくことが可能となった。また、プレジャーボートの許可事務をシステム化することにより、漁港ごとの許可状況が早く正確に把握できるなど、事務の効率化及び利用者の利便性の向上に繋がった。併せて、緊急雇用により雇用の創出につながった。</p> <p>新規雇用失業者数 9 名</p>
83,004	39,000	1,997	2,077	<p>当事業を活用して整備を行った結果、漁船の安全係留が可能になるとともに、漁獲物陸揚げ時の漁業者の安全が確保されるなど漁業就労環境の改善が図られた。また、港内水面の活用が可能になり、出荷調整用の蓄養筏が有効に利用できるなど、漁港機能が向上した。</p>
114,298	49,800	2,753	2,651	
6,716		161	3,074	<p>整備を行った結果、漁船が安心して係留できる環境が整えられるとともに、漁港用地内での作業時における漁業者の安全を確保することができた。</p>
12,406	2,500		5,245	<p>市営7漁港の機能保全調査を行い、年次計画にて施設の機能保全工事を行う準備ができた。また、老朽化している既存施設の保全工事を行った結果、将来生じる施設更新コストの削減を図ることができた。</p> <p>既存施設の長寿命化を行うことにより、将来生じる施設更新コストの削減を図るため、老朽化対策が必要な漁港について詳細な調査を行い、年次計画にて施設の延命措置を行う準備ができた。</p>
2,487			2,488	

事業名	事業内容	事業費
漁業集落環境整備事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	漁業集落の環境改善を目的として、早福漁港において漁業集落環境整備事業に取り組んでいる。平成23年度は、道路敷地として必要となる部分の物件調査及び建物補償を行った。 ・早福漁港 総事業費 50,100千円 うち年度内支出 16,190千円 物件調査 11件・建物補償 3棟 ・事務費 287千円	16,477
【事項別明細書 234 頁】	【平成22年度繰越明許費】 ・早福漁港 17,043千円 測量A=1.8ha・物件調査10件・土地鑑定評価2箇所 用地買収4筆・建物補償2棟	17,043
漁港施設機能強化事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	防波堤からの越波により、漁港施設及び漁船への被災を繰り返している状況にあるため、当事業を活用し防災対策工事を実施した。 ・下中野漁港 総事業費 29,400千円 うち年度内支出 13,922千円 測量A=2000㎡・基本及び実施設計1式・北防波堤(改良)堤体工1式 ・事務費 684千円	14,606
漁港施設整備事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 ・事業内容 御崎漁港(御崎浦)地区船揚場補修工事 2,141 千円 釜田漁港浮桟橋設置工事 10,692 千円 宝亀漁港浮桟橋設置工事 7,356 千円 主師漁港主師防波堤維持補修工事 168 千円 飯盛漁港崎瀬岸壁補修工事 1,407 千円 獅子漁港維持補修工事 483 千円 志々伎浦漁港浮桟橋(連絡橋)舗装補修工事 578 千円 猪渡谷漁港物揚場維持補修工事 248 千円 木ヶ津漁港防波堤標識灯取替工事 341 千円 獅子漁港関連道費用対効果算定業務委託 1,571 千円	24,985
漁港単独整備事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 市単独「地域活性化対策事業」による漁港施設補修工事等のインフラ整備費 16,157 千円 ・事業内容 高越漁港西防波堤侵食対策工事 3,307 千円 釜田漁港浮桟橋橋台工整備工事 3,401 千円 船越漁港防風施設整備工事 1,753 千円 宝亀漁港運動公園防球フェンス設置工事 2,048 千円 釜田漁港泊地浚渫工事 5,144 千円 生月漁港単独用地分筆測量業務委託 504 千円	16,157

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,523	5,600		354	地区内に防災、衛生、救急車両が進入できるよう、道路拡幅工事を行うための物件調査及び建物補償を行った。これにより、漁業活動を阻害している地区内の狭隘な道路の整備が可能となり、安心して漁業活動が行える環境を整えるとともに、劣悪な衛生環境の改善を図るための準備ができた。
10,997	5,700		346	
9,397	4,800	226	183	改良断面を決定するために必要な測量設計及び北防波堤の嵩上げを行うための、堤体部分のブロック製作を行った。これにより年次計画での防波堤の嵩上げに向けての準備が整った。
18,185			6,800	地元からの要望が強く整備の必要性も高かったが、国の事業採択要件に該当しないため見送られていた事業について、今回、市単独の地域活性化対策事業を活用し施設整備を行ったことで、これまでの懸案事項が解消され、漁業者が安心して就業できる環境が整った。
			16,157	市単独の「地域活性化対策事業」により施設整備を行ったことで、施設の機能が強化され、漁業者が安心して就業できる環境が整った。

事業名	事業内容	事業費
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書232頁】 【事項別明細書234頁】	【平成22年度繰越明許費】 離島航路の発着場としての機能も持っている飯盛漁港において、老朽化し危険な状況にある既存施設に代わり、新たにフェリー待合所を建設した。 ・飯盛漁港 フェリー待合所 1棟 13,700千円	13,700
漁港整備事業県工事負担金 (水産課) 【事項別明細書232頁】	基幹的な漁港である県営漁港の施設を充実させるため、漁港整備計画に基づき県が実施している建設事業費の一部を負担した。 漁港整備事業県工事負担金 23,444千円 《水産生産基盤整備事業》 ・宮ノ浦漁港 ＜事業費 155,000千円＞ 市負担額 19,375千円 【うち年度内 事業費 122,604千円 市負担額 15,326千円】 護岸 147m・-3m蓄養岸壁 80m・道路(B)372m 浮桟橋(A)測量及び試験費1式・用地(B)10,855㎡ 《海岸保全事業(離島)》 ・度島漁港 ＜事業費 64,000千円＞ 市負担額 3,200千円 護岸(改良)89m・消波工61.8m 《強い水産業づくり交付金事業》 ・前津吉漁港 ＜事業費 79,000千円＞ 市負担額 9,875千円 【うち年度内 事業費 34,823千円 市負担額 4,353千円】 防風フェンス128m・標識灯1基・係船柱1基 《県単修築事業》 ・田助漁港 ＜事業費 2,458千円＞ 市負担額 565千円 用地舗装316㎡	23,444
	【平成22年度繰越明許費】 漁港整備事業県工事負担金 4,628千円 《海岸保全事業(離島)》 ・度島漁港 ＜事業費 61,503千円＞ 市負担額 3,075千円 護岸(改良)106m 《強い水産業づくり交付金事業》 ・度島漁港 ＜事業費 4,700千円＞ 市負担額 588千円 野積場(舗装工)393㎡ ・館浦漁港 ＜事業費 5,809千円＞ 市負担額 726千円 防舷材4基 ・生月漁港 ＜事業費 1,911千円＞ 市負担額 239千円 防舷材1基・係船柱3基	4,628

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,248	4,200		252	フェリー待合所を新築した事により、安全上の問題が解消され、生活航路として日々利用している島民が、安心して待合所を利用できる環境が整えられた。また、島外からの訪問客に安全で快適な環境を提供することができた。
	16,900	1,011	5,533	漁港整備を行ったことにより、漁船の安全性が確保されるなど漁港の機能が向上した。また、交付金事業を活用し施設整備を実施したことにより、漁業者の就労環境が改善された。
	2,900	76	1,652	

【 7 款 商工費 】

東日本大震災及び福島原子力発電所の事故といった大惨事に加え、欧州債務危機や歴史的水準で推移する円高、株安、燃油高などにより経済面でも低迷した年となった。

本市の商工関連産業に関しても人口減少や購買力の低下、事業主の高齢化と後継者不足などにより依然として厳しい経営状況が続いている。

企業誘致対策は、地域経済の活性化や人口流出に歯止めをかけるための重要な施策であるが、本市の地理的要因などにより厳しい状況にある。市としては、これまでの地道な企業訪問実績を基に、長崎県産業振興財団や県とも連携を図りながら、誘致活動を継続している。

物産振興においては、農林水産業と観光及び物産関連分野との連携による地場産品の地域ブランド化に取り組み、主に福岡都市圏をターゲットとした情報発信及び販路開拓などの事業を展開した。

イベントでは、昨年に引き続き「平戸くんち城下秋まつり」を実施し、食とイベントの融合と商店街の活性化を図る取り組みとして、2日間で県内外から2万人を誘客した。また、平戸を代表する特産品である「あご」のブランドを確立するため、「平戸“新あご”祭り」を開催し、1万5千人を誘客するとともに、“平戸のあご”をPRすることができた。

株式会社「ブランド総合研究所」が全国1,000の市区町村及び47都道府県を対象に実施した「地域ブランド調査」の結果が発表されている。これは、各自治体を持つ“観光”“産品”“居住”の3要素を「認知度」「魅力度」「情報」などの視点から全国の消費者約3万人が評価したものである。

本市は全国順位が昨年の220位から131位へ、長崎県内では昨年の5位から長崎市・佐世保市に次ぐ3位とそれぞれ評価が高くなっている。

これらは、各種イベントや地域資源のブランド化、歴史を活かしたまちづくりなど市民が主役となり、様々な取り組みを行っていることが評価されたものと考えられる。

観光面では、平成23年の平戸市全体の観光客数は165万1千人で、前年より約3万人(△1.8%)の減少となった。内訳として、日帰り観光客は130万9千人で、前年より約17千人(△1.3%)減少となり、宿泊客数は22万8千人で、約9千人(△3.5%)の減少となった。観光消費額は、94億2百万円で約2億2百万円(△2.1%)の減少となった。

大きな特徴としては、経済情勢悪化や円高の影響に加え、3月11日に発生した東日本大震災や福島原子力発電所事故の影響による旅行に対する自粛ムードが広がるなど、観光産業を取り巻く環境は厳しいものがあつた。

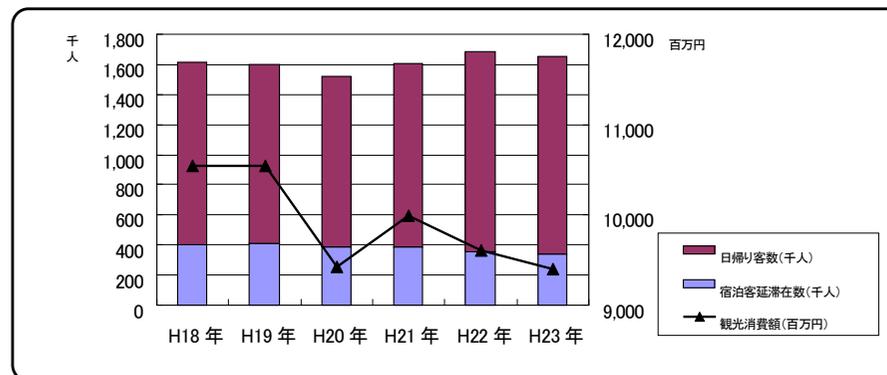
その中で、平戸観光の魅力である歴史、食、自然景観などを活かした様々なイベントを取りまとめた平戸藩のめぐりシリーズとして新たに夏めぐりに取り組むとともに、福岡を中心に情報発信を行った。

また、西九州自動車道佐々インターの供用開始により平戸へのアクセス改善効果も追い風となり、平戸オランダ商館開館後は、宿泊客や主要観光施設の入館者の増加に繋がったが、震災の影響を補うまでには至らなかった。

平戸新八景の認定、たびら昆虫自然園や一六海水浴場の改修による観光地平戸の魅力アップ、平戸検定による観光ガイドの育成やまちかど観光案内所の設置による受入態勢の整備、市長のトップセールスや各種メディアによる情報発信を行い、観光客の誘客に努めた。

	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年
観光客数(千人)	1,614	1,602	1,522	1,608	1,681	1,651
宿泊客延滞在数(千人)	399	408	383	384	355	342
宿泊客数(千人)	268	272	255	256	237	228
日帰り客数(千人)	1,215	1,194	1,139	1,224	1,326	1,309
観光消費額(百万円)	10,539	10,543	9,429	9,993	9,604	9,402

観光客と観光消費額の推移



(1) 中小企業振興対策

商工会議所及び商工会が実施する事業への支援を通じて、中小企業の育成に取り組むとともに、平戸市中小企業振興資金融資制度を活用し、市内中小企業の経営に必要な資金調達の支援を行い、経営の安定化を図った。

また、緊急経済対策の一環として、住宅又は店舗のリフォームをする場合に、工事費に対する一部補助を行った。

(2) 商工業の振興と活性化

長崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により「ひらどキャラクターまちなか賑わい事業」を実施し、観光協会、商工会議所及び商工会をはじめ地域の商店とも連携し、観光客の商店街誘客を図るなど商店街の賑わいの創出に取り組んだ。

また、“まちなか”における商業の振興、にぎわいあふれるまちづくりに向けて、平戸城下旧町地区の関係者による「まちなか活性化基本計画」を策定した。

中小企業者支援策としては、長崎県産業振興財団、商工会議所及び商工会と共催し、「経営戦略セミナー」を開催した。

(3) 企業誘致対策

本市の企業誘致対策は、交通アクセス、通信インフラなどの問題で企業が立地するために必要な条件が十分に整っているとは言えず、非常に厳しい状況にあるものの、継続的な営業訪問を行った。

また、これまでの製造業に限った誘致活動ばかりでなく、大規模太陽光発電事業の誘致にも取り組んだ。

(4) 物産の振興

平戸ブランドの確立による地場産業の活性化を目的として、平戸市地域資源ブランド化推進協議会を中心に進めている「平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業」において、「福岡都市圏の35歳以上の女性」をメインターゲットとし、平戸産品の情報発信や販路拡大を図るため、ホテルや飲食店などでのフェアや物産展を開催するとともに、平戸市単独による商談会の開催や新商品の開発、ギフト商品の企画・販売などを行った。

【 7 款 商工費 】

(5) 外国人観光誘客の推進

平成 22 年に発足した平戸市・嬉野市・武雄市・雲仙市・福岡市の 5 市による「東アジア誘客 3 県都市連携会議」で、11 月に台北国際旅行博 ITP2011 に出展するとともに、台湾国内向けの旅行商品を新たに造成するなどの誘客施策を行った。このほか外国人観光客の受入態勢の改善を図るため、市内宿泊施設の外国語を加えた利用案内板やインターネット環境の整備等を支援した。

また、長崎県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用して、東アジア誘客 3 県都市連携会議を円滑に進めるための事務局員を昨年に引き続き平戸観光協会に配置した。

(6) 観光施設の整備

(財)長崎県産炭地域振興財団産炭地域活性化基金を活用し、一六海水浴場の施設整備を行い、便所・シャワー更衣室を新設し、利便性の向上を図った。また、地域活性化・きめ細かな臨時交付金等を活用し、たびら昆虫自然園や中瀬草原等の観光施設の維持補修などを行った。

事業名	事業内容	事業費
中小企業振興対策事業 (商工物産課) 【事項別明細書236頁】	○商工金融対策 地域経済の安定と活性化を図るため、中小企業者に対する融資制度の利用促進及び負担軽減のための支援を実施した。 ①中小企業振興資金預託金 200,000千円 ②中小企業振興資金保証料差率補填補助金 131千円 ③中小企業緊急対策融資資金助成金 113千円 ④平戸商工会議所運営補助金 2,860千円 ⑤平戸市商工会運営補助金 8,595千円 ⑥街路灯組合補助金(生月地区) 358千円 ⑦その他の事業経費 593千円	212,650

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果																															
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																
		200,000	12,650	県信用保証協会に対して信用保証料の一部を助成することにより、市内中小企業者が経営に必要な資金の融資を円滑に行うことができ、中小企業者の経営の安定化に寄与した。 ①中小企業振興資金預託金融資実績 (単位：千円)																															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">金融機関名</th> <th colspan="2">融 資</th> <th colspan="2">償 還</th> <th colspan="2">残 高</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親和銀行 平戸支店</td> <td>2</td> <td>5,287</td> <td>21,356</td> <td>25</td> <td>25,501</td> </tr> <tr> <td>十八銀行 平戸支店</td> <td>3</td> <td>4,139</td> <td>8,164</td> <td>12</td> <td>17,962</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5</td> <td>9,426</td> <td>29,520</td> <td>37</td> <td>43,463</td> </tr> </tbody> </table>		金融機関名	融 資		償 還		残 高		件数	金額	金額	件数	金額	親和銀行 平戸支店	2	5,287	21,356	25	25,501	十八銀行 平戸支店	3	4,139	8,164	12	17,962	計	5	9,426	29,520	37	43,463
金融機関名	融 資		償 還		残 高																														
	件数	金額	金額	件数	金額																														
親和銀行 平戸支店	2	5,287	21,356	25	25,501																														
十八銀行 平戸支店	3	4,139	8,164	12	17,962																														
計	5	9,426	29,520	37	43,463																														
				②中小企業振興資金保証料差率補填補助金 131千円																															
				③中小企業緊急対策融資資金助成金 113千円																															

事業名	事業内容	事業費
平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 236 頁】	本市の優れた“食”を中心とした地場産品の販路拡大を推進するため、「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」が実施する福岡都市圏を中心とした地場産品のプロモーション事業に対する補助を行った。 ○事業費 20,000 千円 (一般財源 10,000 千円、県補助金 10,000 千円) ・ホームページ及びマスメディアを活用した情報発信 ・モニターツアー、プレスツアーの実施 (3 回) ・新商品開発・パッケージリニューアル (20 品) ・百貨店における物産展開催 (10 回) ・福岡市内ホテルでのフェアの開催、平戸メニュー開発 (平戸会席・平戸御膳) ・平戸産品商談会の開催 (1 回) ・福岡市内飲食店 (8 店舗) での同時フェア開催 ・夏ギフト、冬ギフト及び酒の肴セットの商品開発・販売 ・九州のムラ市場へのアンテナブース出展 (平成 23 年 4 月～平成 24 年 1 月)	10,000
「平戸あご」ブランド確立支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 236 頁】	平戸の重要な特産品である「あご」を市民に再認識してもらうとともに、市内外の消費者に向けて関係者が一体となって PR・販売するため、「平戸あご」のブランド確立に向けて「平戸“新あご”祭り」を開催した。 ○期日：平成 23 年 9 月 24 日 (土)・25 日 (日) ○場所：平戸港交流広場	3,500
平戸くんち城下秋まつり開催支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 236 頁】	平戸城下旧町地区商店街を舞台に「食」「物産」をメインとした“平戸ならではの”の“くんちスタイル”で、趣向を凝らしたおもてなしをコンセプトに、町歩き (散策) 型のイベントを開催した。 ○期日：平成 23 年 10 月 22 日 (土)・23 日 (日) ○場所：平戸城下旧町地区商店街	12,000

財 源 内 訳				事業の成果																		
国県支出金	地方債	その他	一般財源																			
			10,000	<p>福岡市内のホテルや人気有名飲食店8店舗における「平戸フェア」、平戸の生産者が直接向いて福岡市周辺の飲食店や流通業者を対象とした「商談会」を開催し、平戸産品の PR、販路拡大並びに市内業者の意識の高揚につながった。その他、料理人や飲食店関係者の視察を受入れ、福岡地区などとのネットワークづくりにつなげることができた。夏・冬のギフト、酒の肴セットの販売については、昨年よりも売上げ増となり、広く平戸産品を利用していただいた。さらに、各種イベントの開催に併せて、ホームページやテレビ、ラジオなどのメディアを活用した効果的な情報発信を行い、福岡県内を中心とした消費者に平戸産品を知っていただき、「平戸」の認知度アップにつながった。</p> <p>○主な売上げ実績 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州のムラ市場</td> <td>4,030</td> <td>2,537</td> </tr> <tr> <td>平戸会席・平戸御膳</td> <td>—</td> <td>1,511</td> </tr> <tr> <td>平戸フェア (福岡市内飲食店 8 店舗)</td> <td>—</td> <td>1,113</td> </tr> <tr> <td>ギフトセット販売</td> <td>3,740</td> <td>6,527</td> </tr> <tr> <td>百貨店催事</td> <td>4,235</td> <td>6,761</td> </tr> </tbody> </table> <p>・モニターツアー (11 月、12 月) 2 回実施 38 名参加 ・プレスツアー (3 月) 11 名参加 ・平戸産品商談会「平戸じげもんうまかもん市」(3 月) (市内 17 業者、福岡市内関係者 38 業者参加)</p>	内容	H22	H23	九州のムラ市場	4,030	2,537	平戸会席・平戸御膳	—	1,511	平戸フェア (福岡市内飲食店 8 店舗)	—	1,113	ギフトセット販売	3,740	6,527	百貨店催事	4,235	6,761
内容	H22	H23																				
九州のムラ市場	4,030	2,537																				
平戸会席・平戸御膳	—	1,511																				
平戸フェア (福岡市内飲食店 8 店舗)	—	1,113																				
ギフトセット販売	3,740	6,527																				
百貨店催事	4,235	6,761																				
			3,500	<p>「あご」にちなんだ“食”と“加工品”を一堂に集め、「あご」に特化したイベントとすることにより、平戸ブランドとしてのイメージアップを図ることができた。 また、平戸オランダ商館オープン、ツーデーウォークの日程と合わせたこともあり、集客力アップにつながった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>来場者数 (人)</th> <th>売上額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平戸“新あご”祭り</td> <td>15,000</td> <td>5,527</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	来場者数 (人)	売上額 (千円)	平戸“新あご”祭り	15,000	5,527												
名 称	来場者数 (人)	売上額 (千円)																				
平戸“新あご”祭り	15,000	5,527																				
	12,000			<p>市民や本市を訪れる観光客に対して、平戸の「食」「物産」を PR することができ、交流人口の拡大にもつながった。</p> <p>平戸くんち城下秋まつり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>来場者数 (人)</th> <th>売上額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>18,000</td> <td>7,568</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>20,000</td> <td>8,402</td> </tr> </tbody> </table> <p>※売上額については、チケット売上額</p>		来場者数 (人)	売上額 (千円)	H22	18,000	7,568	H23	20,000	8,402									
	来場者数 (人)	売上額 (千円)																				
H22	18,000	7,568																				
H23	20,000	8,402																				

事業名	事業内容	事業費								
物産振興イベント 開催支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	地域の物産振興や特産品の販路拡大につなげるため、生産者や関係団体が主体となり「平戸市産業まつり」として、「平戸海道渡海人祭」を実施した。 ・平戸市春の産業まつり「平戸海道渡海人祭」 2,000 千円 ○期日：平成 23 年 5 月 1 日～31 日 ○場所：平戸大橋公園、市内各漁協、平戸港交流広場ほか ○主なイベント 平戸海道渡海人祭、おさかな祭り（志々伎漁協）、アサリ！どっさり！潮干狩り大会（千里ヶ浜）、平戸農産物まつり	2,000								
「ふるさと平戸」 の地場産品流通ネットワーク構築事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	〈ふるさと雇用再生特別基金事業〉 福岡都市圏における地場産品の流通体制を構築し、ブランド化関連事業の推進を図るため、「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」のスタッフを雇用した。また、直送システムのモデルとして車両を借り上げ、福岡都市圏（ホテル・飲食店など）の定期的な配送や各種物産展へ出展した。	22,812								
シーサイド販売促進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	平成 24 年 2 月 25 日にオープンした「田平港シーサイドエリア活性化施設」について、福岡や県内のメディアなどを活用した事前告知やオープン後の情報発信を行った。 ○広告宣伝 テレビ、ラジオ、情報誌での告知、チラシ、リーフレット作成ほか	10,729								
ひらどキャラクター まちなか賑わい 事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 市内のイベント会社に事業を委託し、本市の歴史にゆかりのあるキャラクターに扮したスタッフを、商店街や観光スポットで接客させることにより、観光客や市民を誘客し、賑わいの創出に取り組んだ。	21,850								
中小企業振興対策 事業 (商工物産課) 【事項別明細書 240 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 緊急経済対策の一環として、市民が住宅又は店舗のリフォームを市内の業者に発注する場合に、工事費に対する一部補助を行った。 ○工事費総額等の実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請件数</th> <th>工事費総額</th> <th>補助対象工事費</th> <th>補助金総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>118 件</td> <td>205,631 千円</td> <td>195,930 千円</td> <td>9,660 千円</td> </tr> </tbody> </table>	申請件数	工事費総額	補助対象工事費	補助金総額	118 件	205,631 千円	195,930 千円	9,660 千円	9,660
申請件数	工事費総額	補助対象工事費	補助金総額							
118 件	205,631 千円	195,930 千円	9,660 千円							

財源内訳				事業の成果									
国県支出金	地方債	その他	一般財源										
			2,000	<p>農林・水産・商工業が連携してイベントを実施し、市民や観光客など消費者に直接販売することで、地場産品の PR につなげた。本年度は、東日本大震災の影響からイベント自粛ムードもあり、来場者数及び売上額ともに減少となった。</p> <p>平戸市春の産業まつり「平戸海道渡海人祭」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>来場者数（人）</th> <th>売上額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>53,697</td> <td>13,761</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>44,128</td> <td>11,590</td> </tr> </tbody> </table>		来場者数（人）	売上額（千円）	H22	53,697	13,761	H23	44,128	11,590
	来場者数（人）	売上額（千円）											
H22	53,697	13,761											
H23	44,128	11,590											
22,812				<p>本事業の実施に当たり、協議会のスタッフを雇用することによって、事務局の機能が強化され、市内事業者に対する支援や福岡地区とのネットワークづくりの充実が図られた。</p> <p>また、新たなルート開発にあたり、福岡地区の飲食店などに対して、車両を活用した産品直送でのアプローチが容易になり、市内事業者の負担軽減と販路開拓につながった。</p> <p>新規雇用失業者 5 名</p>									
			10,729	<p>レストランを併設する農水産物直売所にて、地元の素材を活かした食の魅力を生み出すことで、新たな観光客の掘り起こしにつながった。施設のオープンに併せ、シーサイドウォークやラジオの公開生放送など情報発信することにより、広く施設を PR することができた。</p> <p>○オープン当日来場者数 6,200 人 ○オープン当日直売所レジ通過者数 1,960 人 ○オープン当日レストラン来客者数 321 人</p>									
21,850				<p>観光や商店街の魅力を宣伝することで、商店街への誘導を図り、賑わいの創出につなげるとともに、緊急雇用により雇用の創出につなげることができた。</p> <p>・平戸和蘭物語第 1 章（夏休み企画）参加者：13,185 人 ・平戸和蘭物語第 2 章（冬休み企画）参加者：7,619 人 ・新規雇用失業者 16 人</p>									
7,295			2,365	<p>市民の投資意欲を喚起し着工件数が増加することで、建築関係業者の新たな仕事が確保され、関連業界への一定の経済効果をもたらした。</p>									

事業名	事業内容	事業費																											
まちなか活性化基本計画策定事業 (商工物産課) 【事項別明細書240頁】	まちなか活性化基本計画とは、「長崎県まちなか活性化推進事業実施要綱」に基づき、「まちなか」における商業の振興、居住の推進、公共施設の整備等を総合的に実施し、暮らしやすく活力ある地域づくりを推進するために定める基本計画である。今後は、本基本計画に基づき、平戸城下旧町地区のにぎわいあふれるまちづくりに向け、平成24年度から平成26年度までの3ヵ年計画で、活性化の目標を設定し、これに向けた各種事業を実施していく。	345																											
企業誘致対策事業 (商工物産課) 【事項別明細書240頁】	企業誘致対策として、県(長崎県産業振興財団)と連携した企業への営業訪問や、地場企業支援のため市内企業への訪問を実施した。 また、大規模太陽光発電事業の誘致にも取り組んだ。 ・市外営業訪問 42社	1,092																											
にぎわいづくり支援事業 (観光課) 【事項別明細書240頁】	観光客の誘致と地域の経済効果を創出するため、コンベンションなどを開催する各種団体に対して支援を実施した。 ○にぎわいづくり実績 (単位：千円、延べ人数)	850																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>補助金額</th> <th>宿泊実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタ U-10 大会</td> <td>50</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>県立大村高校女子ソフトテニス部練習合宿</td> <td>25</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>日本学校農業クラブ全国大会長崎大会</td> <td>500</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>とびうお杯小学生新人バレーボール親善大会</td> <td>50</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>長崎県家の光大会・JA長崎県女性協リーダーフォーラム</td> <td>50</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>脇川ホテル平戸サッカーフェスタ U-10 大会</td> <td>25</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>Winter's Football Festival</td> <td>150</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>850</td> <td>1,385</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	補助金額	宿泊実績	鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタ U-10 大会	50	173	県立大村高校女子ソフトテニス部練習合宿	25	51	日本学校農業クラブ全国大会長崎大会	500	504	とびうお杯小学生新人バレーボール親善大会	50	120	長崎県家の光大会・JA長崎県女性協リーダーフォーラム	50	177	脇川ホテル平戸サッカーフェスタ U-10 大会	25	54	Winter's Football Festival	150	306	計	850	1,385	
事業名	補助金額	宿泊実績																											
鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタ U-10 大会	50	173																											
県立大村高校女子ソフトテニス部練習合宿	25	51																											
日本学校農業クラブ全国大会長崎大会	500	504																											
とびうお杯小学生新人バレーボール親善大会	50	120																											
長崎県家の光大会・JA長崎県女性協リーダーフォーラム	50	177																											
脇川ホテル平戸サッカーフェスタ U-10 大会	25	54																											
Winter's Football Festival	150	306																											
計	850	1,385																											
市内周遊型定期観光バス運行事業 (観光課) 【事項別明細書240頁】	来平する観光客に本市の魅力を体感させることを目的に、市内の名所、観光施設等を巡る市内周遊型定期観光バスツアーを運行した。観光客の満足度アップを図った。 ※4月23日～7月31日は土日祝の運行。 ※8月1日～3月31日まで毎日運行。 (但し12月28日～1月3日は運休)。 委託先：(社) 平戸観光協会	6,327																											

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
			345	<p>基本計画を策定するため、中小企業診断士を座長として招き、平戸商工会議所、平戸観光協会及び商店街振興組合等と5回に渡り協議を重ねた。個別事業の実施段階において事業主体となる商店街振興組合等の関係者が、まちなか活性化に向けての協議を行うための有効な“場”となった。</p> <p>○策定会義開催回数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>平成23年7月25日</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>平成23年8月26日</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>平成23年9月26日</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>平成23年11月4日</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>平成24年1月20日</td> </tr> </tbody> </table>	回数	開催日	第1回	平成23年7月25日	第2回	平成23年8月26日	第3回	平成23年9月26日	第4回	平成23年11月4日	第5回	平成24年1月20日
回数	開催日															
第1回	平成23年7月25日															
第2回	平成23年8月26日															
第3回	平成23年9月26日															
第4回	平成23年11月4日															
第5回	平成24年1月20日															
			1,092	<p>本市の立地条件を理解し、立地に関心を示す企業をターゲットに、営業訪問を実施した。しかしながら、歴史的に類を見ないほどの円高や長引く景気のデフレ傾向など経済情勢が見通し難い状況の中、立地には企業による多額の設備投資が必要となるため、製造業など人材雇用型企業の誘致には至っていない。ただし、平戸市への立地に関心を示す企業もあることから今後とも粘り強い交渉を続けたい。</p>												
250		600		<p>地域の賑わいにつながるコンベンションの開催に対して、この事業で支援することにより、地域の活力と魅力を向上させ、観光客の誘致につなげることができた。</p>												
3,045			3,282	<p>観光PRとあわせて、ボランティアガイドによる案内は好評で、平戸オランダ商館開館効果も相まって、利用者の増加につながった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入場者実績</th> <th>生月コース</th> <th>1,614人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>平戸コース</td> <td>2,036人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>3,650人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(幼児含む)</p>	入場者実績	生月コース	1,614人		平戸コース	2,036人	合計		3,650人			
入場者実績	生月コース	1,614人														
	平戸コース	2,036人														
合計		3,650人														

事業名	事業内容	事業費
観光セールス事業 (観光課) 【事項別明細書 240 頁】	観光地平戸のセールスを行うため、観光施設の無料入場券及び宿泊施設の温泉入浴割引券・宿泊割引券の入った名刺を管理職に対し、配布。市外者を対象に、名刺交換を通して、平戸の魅力をPRした。 対 象 市管理職員 36名 5,200 枚作成	161
たびら昆虫自然園 太陽光発電施設整備事業 (観光課) 【事項別明細書 240 頁】 【事項別明細書 242 頁】	施設のキーワードである自然との共生を目指し、太陽光発電システムの導入及びLED照明の整備を行った。 ・太陽光発電モジュール 140 枚 ・LED照明施設 72 箇所	32,157
鄭成功生家再現調査事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	川内町の鄭成功居宅跡に、生家再現を行うための準備を進めた。 基本構想策定 遺跡発掘調査 測量費 一式、不動産鑑定料 一式 鄭成功生家再現設計デザインコンペ 応募総数 20 点 (16 名) 優秀賞 1 点 (平戸市在住) 優秀賞 1 点 (有田町在住) 審査員特別賞 1 点 (松浦市在住)	2,299
「平戸新八景」認定事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	市民の視点から新たな観光地の開発と、観光客等を平戸の中心的観光地以外への誘客を図るため、平戸市行政区を対象に平戸の新たな観光スポットの情報を広く募集し「平戸新八景」を選定した。NPO ひらど遊学ネットに事業委託し実施。市民公募の結果、応募のあった 77 箇所のうち、20 箇所を八景候補地として選定し、平戸観光協会のホームページにて全国のどなたでも投票できる環境にて投票を実施した。	500
平戸港観光導線調査事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	平戸オランダ商館等を訪れる観光客に対応するため、平戸文化センター駐車場と平戸棧橋間の最適な観光導線整備のための基礎資料を得るために調査を実施した。	840
観光ガイド育成事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】 【事項別明細書 244 頁】	平戸学を活用しボランティアガイド数の増加並びにガイドのレベルアップ、観光客の受入体制を図るため、NPO 法人平戸観光ウェルカムガイドに委託し平戸検定を行うとともに、検定試験後にガイド志望者を募りガイド現地研修会を開催した。	667

財 源 内 訳				事業の成果																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
			161	市長をはじめとする管理職が市外での名刺交換を行うことで、平戸市の今の情報を伝え誘客に努めた。 実 績 配布枚数 3,500 枚 宿泊施設利用枚数 21 枚 観光施設利用枚数 139 枚																				
30,000			2,157	太陽光発電システムを導入し園内への電力供給を行うことで、買電量を削減した。また、窓部分や自動ドアのペアガラス化による空調運転時間の短縮、照明のLED照明への変更により消費電力を削減するとともに、環境にやさしい施設となった。																				
			2,299	鄭成功生家再現及び周辺地域の環境整備にあたり、基本構想を策定し、整備の方向性を定めた。 また、生家再現にあたっては、当時の文献等の歴史資料が少ないため、鄭成功生家のデザインを市内外から募集し、鄭成功生家再現のPRを行うと共に、再元する生家の基礎となるデザインを選出することができた。																				
			500	「平戸新八景事業」選定委員会にて「平戸新八景」を選定し、新たな平戸の魅力を発掘した。																				
			840	平戸港周辺に点在する観光スポットの周遊拠点となる平戸港交流広場と文化センター駐車場並びに市役所公用車駐車場の活用に係る現状把握、課題の整理ができた。																				
			342	平成 24 年 1 月 6 日から 2 月 8 日の間、10 回からなる検定講習会を実施し、2 月 12 日に平戸検定試験 (初級、中級、上級) を実施するとともにガイド現地研修会を開催し 2 名のガイドを育成した。 平戸検定結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>うち市外</th> <th>合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初級</td> <td>31 人</td> <td>28 人</td> <td>5 人</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>中級</td> <td>36 人</td> <td>24 人</td> <td>3 人</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>上級</td> <td>28 人</td> <td>11 人</td> <td>0 人</td> <td>39.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	受験者数	合格者数	うち市外	合格率	初級	31 人	28 人	5 人	90.3%	中級	36 人	24 人	3 人	66.7%	上級	28 人	11 人	0 人	39.3%
区分	受験者数	合格者数	うち市外	合格率																				
初級	31 人	28 人	5 人	90.3%																				
中級	36 人	24 人	3 人	66.7%																				
上級	28 人	11 人	0 人	39.3%																				

事業名	事業内容	事業費
わがまち観光地づくり事業 (観光課) 【事項別明細書 244 頁】	官民一体となった観光のまちづくりを推進するために、市内外において観光客が多く立ち寄るコンビニエンスストア等の店内にて無償で観光案内所を設置し、観光情報等を提供した。 市内 23 箇所 市外 6 箇所	537
ほんもの体験型観光推進事業 (観光課) 【事項別明細書 244 頁】	〈ふるさと雇用再生特別基金事業〉 長崎県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、一般社団法人まつうら党へ人的支援を行った。	1,758
交通量調査認識システム設置事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	本市への入込車両台数把握のため、平戸大橋付近に監視カメラを設置し、24 時間体制で通行台数、地域区分、車種を時間単位で計測を行うことができる機器を設置した。 ・交通量調査認識システム設置業務一式 ・データ集計・メンテナンス業務一式	4,433
マスメディアPR 事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	観光客誘客を図るために、旅行誌、情報誌などのマスメディアを活用して本市観光情報の掲載を行いPRを図った。 ふくまる 4 月号 220,000 部 じゃらん 8 月号 154,000 部 関西レク情報 50,000 部 九州レク情報 50,000 部 朝日新聞朝刊 780,000 部 朝日新聞号外 3,000 部	1,911
観光宣伝ツール作成事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	本市の観光情報を発信し、観光客誘客を推進するため、観光パンフレットの増刷を行った。 ・観光ガイドマップ 250,000 枚 ・「歴史とロマンの島平戸 大航海時代の城下町」120,000 部 ・平戸市観光ガイドブック「とっとこ平戸」30,000 部	4,398

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			537	観光客が個人や小グループ化し、いかかして個別にきめ細やかな対応ができるかが課題となる中で、市民の自発的なボランティアによる観光案内や観光地としての「おもてなし」の向上を図ることができた。
1,758				一般社団法人まつうら党において、県外の学校関係者、エージェント等に対し、企画造成及び営業等を行い、対前年度約 1,000 人の増加につながった。 新規雇用失業者 2 人
			4,433	交通量調査認識システムを設置し、24 時間体制で通行台数、ナンバープレートを認識しての地域区分、車種を時間単位で正確に把握することが可能となり、次年度以降の観光統計へ繁栄できるようになった。
			1,911	旅行雑誌のおでかけ情報や体験情報・教育旅行情報を掲載し観光誘客を図った。
			4,398	各種パンフレットを増刷し、観光情報の発信、観光客誘致に努めた。

事業名	事業内容	事業費
地域資源活用旅行商品造成事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	〈ふるさと雇用再生特別基金事業〉 長崎県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、平戸観光協会において、2名の旅行エージェント経験者等を雇用し、本市の豊かな地域資源を活用した旅行商品の造成に取り組んだ。	8,983
平戸観光振興強化事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	従来の観光協会の実施事業について強化を図り、更なる観光客の増加を図るため、平戸観光協会が実施する「観光情報発信強化」「観光地形成・組織形成」「国内・海外旅行誘致強化」事業における経費への補助を行った。 ①観光情報発信強化事業 (マスメディアを活用した情報発信) ・雑誌・新聞等紙媒体を活用した情報発信 雑誌掲載 45 件 (JTB るるぶ、外戸本ほか) 新聞掲載 4 件 (西日本新聞、旅行新聞ほか) ②観光地形成・組織強化事業 ③国内・海外旅行誘致強化事業 ・熊本・長崎・大分県主催合同説明会 (8/8～8/9) 東京都 現地ランド会社 15 社と商談会実施。 ・JATA 旅博 (9/30～10/2) 東京都 パンフレット 4 千部を配布とアンケート調査の実施。 ・福岡コンベンションセールス (9/29) 福岡県 福岡市内企業及び大学等の学会事務局にセールス実施。 ・長崎県観光情報説明会 (6/8～6/12) 広島県 長崎県及び観光連盟主催の観光情報説明会に参加し、現地旅行会社に PR すると共に、アクティブライフイベントにてパンフレット 4 千部配布し本市観光 PR を行った。 ・首都圏観光プロモーション (7 月 20 日～22 日) 東京都 クルーズ船での観光情報説明会にて現地旅行会社 50 名に対し、本市観光 PR を行った。	15,000

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,983				着地型旅行商品の販売を促進するために、「新規商品開発・販売」、「既存商品販売」「情報発信」について事業を展開。新規商品開発・販売は、通年型の着地型旅行商品 (2 商品：実績 40 名) と季節型の商品 (4 商品：実績 363 名) に分けて開発を行った。また、既存商品の販売については、夏休み体験「平戸 DE やらんば」やその他の体験メニュー販売を中心に 1,010 名の販売実績があった。 新規雇用失業者 2 人
			15,000	①観光情報発信強化事業 テレビ、ラジオ、旅行誌等のマスメディアを活用し、年間を通じて平戸の旬の素材が食べられるようなグルメイベントの定着化を図り、誘客につなげた。 (食のイベント開催) 参加人数 (前年対比) ・平戸活イカまつり (7/1～8/31) 313 人 (50.5%) ・平戸和牛フェア (7/1～10/31) 11,411 人 (183.7%) ・平戸あら鍋まつり (10/21～12/30) 951 人 (57.4%) ・平戸ひらめまつり (1/14～4/8) 17,422 人 (171.3%) ②観光地形成・組織強化事業 公益法人制度改革に伴う(社)平戸観光協会の一般社団法人化移行にかかる人件費の補助を行うことにより、平成 25 年 4 月 1 日の法人化移行認可に向けた事務作業に着手することができた。 ③国内・海外旅行誘致強化事業 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の影響により、国内外の観光客が減少する中、国内における旅行会社等に対し誘致セールスを行い、本市への誘客につながった。

事業名	事業内容	事業費
テーマパーク観光 プロモーション事業 (観光課) 【事項別明細書 246頁】 【事項別明細書 248頁】	平戸藩の四季シリーズとして、「平戸藩の夏めぐり」及び「平戸藩の秋めぐり」、「平戸藩の春めぐり」をパッケージ化し、季節感あるイベントを開催しながら、観光客誘客を図った。 「平戸藩の夏めぐり」 11 イベント 期 間：7月9日～8月17日 P R内容：ポスター350枚、チラシ20,000枚 テレビ66本(福岡34本、県内32本) ラジオ20本(福岡) 博多駅コンコース25面(1週間) 「平戸藩の秋めぐり」 9 イベント 期 間：9月17日～11月23日 P R内容：ポスター250枚、パンフレット20,000枚 テレビ80本(福岡34本、県内46本) N B Cラジオ体験会バス2台(長崎・佐世保) ラジオ66本(福岡26本、県内40本) 「平戸藩の春めぐり」 11 イベント 期 間：3月17日～5月27日 P R内容：ポスター250枚、チラシ30,000枚 平戸市福岡情報局 発信！平戸どん 放送期間：9月29日～3月29日 放送局：K B Cラジオ 放送時間：13：40～13：43(3分) FACE SASEBO 発行エリア：佐世保・県北地域 発行部数：30,000部 掲載回数：10カ月	11,011
観光トップセールス事業 (観光課) 【事項別明細書 248頁】	市長自ら、国内外において、観光宣伝をはじめとしたトップセールスを実施し、観光客の誘致活動を行った。 台湾親善訪問(4泊5日) 5市連携台湾PR(3泊4日) 修学旅行誘致(大阪・京都2泊3日) その他(福岡1回・大分1回・長崎1回)	512

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			11,011	各めぐりシリーズ毎に、メディアミックスによる平戸のイメージ戦略を行い、各イベントの集客を図った。 また、福岡を中心に、平戸市の情報番組を開設し、定期的な、観光情報を提供した。 「平戸藩の夏めぐり」 集客実績：40,479人 宿泊関係：27,075人(前年27,220人) 施設入場数：18,863人(前年16,693人) 「平戸藩の秋めぐり」 集客実績：53,224人 宿泊関係：46,759人(前年42,417人) 施設入場数：19,310人(前年16,118人) 「平戸藩の春めぐり」 集客実績：88,179人 宿泊関係：50,278人(前年38,142人) 施設入場数：64,744人(前年28,998人)
			512	外国人観光客の誘致を行うため、台湾においてPRを行うとともに、国内においては修学旅行誘致などトップセールスを行った。

事業名	事業内容	事業費
ハウステンボス周遊観光事業 (観光課) 【事項別明細書248頁】	ハウステンボスへ訪れる観光客を対象に、ハウステンボスだけに留まるだけでなく、周辺地域にも赴いてもらい、魅力を体感してもらうことにより、ハウステンボスと周辺地域における相乗効果をあげるため、ハウステンボスから本市におけるハウステンボス周遊観光バスツアーを運行した。 ※7月1日～3月31日まで毎日運行 委託先：ハウステンボス観光	7,721
外国人観光客誘致事業 (観光課) 【事項別明細書248頁】	外国人観光客の誘客を図るため、台湾(台北市・高雄市・台南市)を中心に、本市の歴史や文化等の観光資源を台湾のマスコミや旅行会社等を訪問し、震災後における九州が安全である旨の説明と観光PRを行った。また、教育旅行誘致を図るため、関係機関を訪問した。	1,116
東アジア誘客3県都市連携事業 (観光課) 【事項別明細書248頁】 【事項別明細書250頁】	平戸市・雲仙市・嬉野市・武雄市・福岡市の行政・観光協会等で組織する「東アジア誘客3県都市連携会議」にて、台湾及び東アジアからの観光客誘客を図るための事業を展開した。 台北国際旅行博 ITF2011 開催期間 11月11日～14日	1,500
東アジア観光誘客推進事業 (観光課) 【事項別明細書250頁】	〈ふるさと雇用再生特別基金事業〉 長崎県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、平戸観光協会に委託を行ない、平戸市・雲仙市・嬉野市・武雄市・福岡市で組織する「東アジア誘客3県都市連携会議」の事業を行うための、職員を雇用した。	7,572
外国人観光客受入施設グレードアップ推進事業 (観光課) 【事項別明細書250頁】	平戸市における外国人観光客の受入強化の取り組みを推進するとともに、平戸市への外国人観光客増加を図ることを目的とし、平戸市内宿泊施設の実環境整備を実施した。	7,924

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,454			5,267	ハウステンボス会員等への周知を図り、徐々に利用者獲得に努めたが、思うように利用者数が伸びなかった。 運行日数 230日(運行予定日数:275日) 乗車人数 1,203人 平均乗車人数 3.7人(乗車人数/運行回数)
			1,116	台湾公式訪問の際に、マスコミ1社、旅行会社2社を訪問し、東日本大震災後の九州が安全である旨の説明を行い、本市の観光PRを行うと共に、台南市では、中華航空及び旅行会社、マスコミなど約20社を集め、記者発表を行った。また、台湾教育部国際文教処を訪問し、教育旅行誘致を図った。
			1,500	本市への観光客誘客を図るため、台湾から旅行会社及びマスコミを招聘しての招聘ツアーを実施し、結果、旅行商品1本(平戸漁師体験ツアー)の造成につながると共に、台北国際旅行博 ITF2011に参加し、観光プロモーションを実施。台湾国内における本市の情報発信を行った。 ・招聘ツアー(6月9日～14日、7月30日～8月4日) 招聘者数：旅行会社 16社、マスコミ 1社 ・台北国際旅行博 ITF2011 来場者数 251,231人
7,572				昨年採用した中国・台湾語等の語学が堪能で、旅行業のノウハウを持つ者を継続雇用し、「東アジア誘客3県都市連携会議」における他市との調整や旅行会社等の連携業務に携わり、東アジアからの誘客に向けた旅行商品を造成した。 新規雇用失業者数 1人
3,962			3,962	平戸市内の7宿泊施設からなる平戸市外国人観光客受入施設整備推進協議会を組織し、宿泊施設の外国語を加えた利用案内やインターネット環境の整備等を支援し、宿泊施設における受入態勢の改善を図った。

事業名	事業内容	事業費
夏のイベント開催 支援事業 (観光課) 【事項別明細書 250 頁】	夏の風物詩として長年市民に親しまれている花火大会及び関係イベントの開催を行い、市民が楽しめるイベントの実施と観光客の誘致を図った。 平戸港夏まつり事業 2,300 千円 平戸海響ナイトクルーズ事業 1,000 千円	3,300
一六海水浴場施設 整備事業 (観光課) 【事項別明細書 256 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 一六海水浴場施設を夏場の利用者以外に体験型修学旅行生の受け入れを推進するために施設のリニューアルを図り、観光客等の集客を図った。	42,381
観光施設整備事業 (観光課) 【事項別明細書 256 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 地域活性化・きめ細かな交付金を活用し、本市の観光施設の整備改修を行い、施設の充実を図った。 ・たびら昆虫自然園外壁改修工事 ・中瀬草原旧管理棟解体工事 ・潮見グランドベンチ設置工事 ・中瀬草原施設整備工事 ・イベントステージ購入 ほか	20,065

財源内訳				事業の成果						
国県支出金	地方債	その他	一般財源							
			3,300	地域が主体的になって開催することにより、地域の振興が図れた。また、イベントを通じ地域の魅力を発信することができ、観光客誘客につなげることができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平戸港夏まつり</td> <td>17,000 人</td> </tr> <tr> <td>平戸海響ナイトクルーズ</td> <td>386 人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	平戸港夏まつり	17,000 人	平戸海響ナイトクルーズ	386 人
事業名	参加人数									
平戸港夏まつり	17,000 人									
平戸海響ナイトクルーズ	386 人									
		31,600	10,781	一六海水浴場の施設整備を行い、便所・シャワー更衣室を新設したことで、海水浴場の利便性の向上が図られた。そのため、海水浴開設中はもちろんのこと、海水浴期間以外においても地引網などの体験観光による活用の機会の増加が期待される。						
20,047			18	老朽化している市内観光施設の改修により利用者の安全・利便性の向上が図られ、観光客等に対し満足できるサービスの提供に寄与することができた。						

【 8 款 土木費 】

地域の産業、経済、文化ならびに観光産業の発展、市民の日常生活の向上を図るうえでも道路交通網の整備は不可欠なものであり、建設行政の役割は多大なものがある。近年の厳しい社会情勢の中で、限られた財源を有効に活かしながら、平戸市総合計画に基づき、「安全・安心なまちづくりの推進」「まちを支えるネットワークの充実」の2本を柱に建設事業を推進した。

また、河川改良、急傾斜地崩壊対策事業などの緊急的な事業の実施により、市民の生命と財産を災害から守る防災施設の整備も行った。

都市計画事業では、自然と調和した機能的で美しく、快適に暮らせる環境を目指し、街なみ環境整備事業、まちづくり総合整備事業や都市公園の整備を行い、安心・安全なまちづくり、個性的で魅力ある街なみづくりの整備に努めた。また、本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定に向けた取り組みに着手した。

住宅事業では、大久保団地の建替事業を行ったことにより、入居者及び地域の居住環境の整備を図るとともに、老朽化した既存住宅の改修を行い、安全で快適な住環境づくりに努めた。

（1）道路新設改良

実施計画に基づき、交付金事業として山中・紐差線外2路線、過疎対策事業として南川原循環線外3路線、辺地対策事業として深月線外4路線の計12路線の改良舗装工事を実施するとともに、県関連事業、単独改良工事等を実施し、豊かで住みよい生活環境づくりに努めた。

（2）河川改良

河川改良工事においては、中津良川外19河川の工事実施により、河川の氾濫及び護岸の崩壊を防止し、住民の安全確保に努めた。

（3）急傾斜地崩壊対策

災害危険箇所指定された地域において、市営事業（県補助）として小川地区（度島町）外1地区の工事を実施し、安全・安心なまちづくりに努めた。

（4）建設海岸自然災害防止対策

建設海岸の災害防止のため、県営事業において船越地区の海岸護岸の整備を行い、安全・安心なまちづくりに努めた。

（5）港湾整備

船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため港湾整備を行った。平戸港においては、歩行者の平戸オランダ商館までの動線確保のために棧橋タイプ遊歩道の整備に着手した。

（6）都市公園整備

市内に設置している都市公園の利便性向上と安全性の確保のため、老朽化した施設を改修し、利用者の憩いの場として整備を行った。

（7）美しいまちづくり推進事業

平成15年度に「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」を基本理念とした平戸港周辺地区景観形成事業基本計画を策定し、街なみ環境整備事業整備方針とした。平成17年度からは平戸城下旧町崎方地区街なみ環境整備事業計画及び平戸城下旧町地区（浦の町・宮の町・木引田町・新町）及び（魚の棚町・職人町）街なみ環境整備事業計画に基づき、修景施設、電線類地中化等の整備を進めている。

大島村神浦地区では街の優れた景観や伝統的な街なみを地域の共有財産として次世代に伝えるため、個性的で魅力ある街なみの整備に向けた取り組みを行っている。

平成23年度は、住宅等修景として崎方地区3棟、平戸城下旧町地区（浦の町・宮の町・木引田町・新町）5棟、地区施設整備として、電線類地中化実施に伴う関係設備、道路美装化等を整備し、加えて消防格納庫の整備を行った。

また、まちづくり景観資産登録・保全制度により、景観資産として登録されている建造物の現状を保存するため改修事業2棟を行うとともに、県内初の景観木として慈眼桜の登録を行った。加えて、平戸城下旧町地区広告景観モデル地区支援制度に基づき、屋外広告物の除却・改修の助成を行った。

また、平成21年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、市街地中心部の活性化を図るため、まちづくり交付金を活用した「まちづくり総合整備事業」を行っている。

平成23年度は、都市計画道路亀岡循環線の改築事業に係る用地取得及び補償を行い、また、平戸観光交流センター（仮称）建設事業については、補償費の算定調査を実施した。

（8）住宅整備

入居者の生活の安全及び住みよい住環境の向上を図るため、里団地2棟10戸の外壁改修・屋上防水工事を行うとともに、地域活性化・きめ細かな臨時交付金等を活用し老朽化した既存住宅の改善を行った。

また、老朽化した大久保団地については、建設最終年度となり、既存住宅2棟10戸の解体及び公営住宅1棟6戸の建設を行い、事業全体として建替9棟50戸及び集会所1棟を建設し、良質な住宅を供給するとともに、入居者及び地域の居住環境の整備に努めた。

事業名	事業内容	事業費
活力創出基盤整備総合交付金事業 (建設課) 【事項別明細書 260 頁】	①山中・紐差線道路整備事業 110,100 千円 (改良) L=720m W=5.5 (9.25) m (舗装) L=755m W=5.5 (9.25) m ②山中・紐差線橋道整備事業(橋梁) 6,000 千円 (測量・設計) L=420m W=5.5 (7.0) m ③神宮坂口線道路整備事業 21,000 千円 (測量・設計) L=870m W=5.5 (9.25) m	137,100
地域活力基盤創造交付金事業 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 ①山中・紐差線道路整備事業 60,680 千円 (改良) L=525m W=5.5 (9.25) m (舗装) L=400m W=5.5 (9.25) m ②下亀釜田線道路整備事業 11,750 千円 (改良) L=535m W=5.5 (9.25) m (舗装) L=546.5m W=5.5 (9.25) m ③堤線道路整備事業 4,250 千円 (改良) L= 0 (118) m W=5.5 (7.0) m ④北部海岸線道路整備事業 32,470 千円 (改良) L=252m W=5.5 (9.25) m (舗装) L=440m W=5.5 (9.25) m 事務費 81 千円	109,231
過疎対策道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 260 頁】 【事項別明細書 262 頁】	①南川原循環線道路整備事業 8,400 千円 (改良) L=274m W=4.0 (6.5) m (舗装) L= 64m W=4.0 (6.5) m ②田崎神鳥線道路整備事業 45,000 千円 (改良) L=100m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=411m W=4.0 (5.0) m ③飯良中通線道路整備事業 500 千円 (改良) L=100m W=4.0 (5.0) m ④後平梅崎線道路整備事業 9,700 千円 (測量) L=440m W=4.0 (5.0) m	63,600

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
85,951	49,045		2,104	市民生活に密着した主要市道の整備を重点的に実施するとともに、その他の生活道路についても単独改良及び安全施設の設置等を実施し、流末排水路の整備、急カーブの改良、老朽箇所を整備により、交通の安全が確保できた。そのなかで、本年度は、下亀釜田線、北部海岸線、大浜線、西の久保一号線、川内峠線、主師線、大根坂川内線が完了した。 また、県営事業として、県道及び国道の改良、舗装工事が実施され、交通の緩和及び安全性が保たれた。
70,925	36,900		1,406	
	63,600			

事業名	事業内容	事業費
過疎対策道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】 【事項別明細書 264 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 ①大浜線道路整備事業 33,600 千円 (改良) L=190m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=190m W=4.0 (5.0) m ②西の久保一号線道路整備事業 44,400 千円 (改良) L=145.5m W=4.0 (7.0) m (舗装) L=212m W=4.0 (7.0) m ③田崎神鳥線道路整備事業 46,800 千円 (改良) L=311m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=269m W=4.0 (5.0) m ④飯良中通線道路整備事業 5,800 千円 (測量) L=660m W=4.0 (5.0) m ⑤川内峠線道路整備事業 12,100 千円 (舗装) L=400m W=5.0 (6.0) m	142,700
辺地対策道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】	①深月線道路整備事業 12,700 千円 (改良) L= 60m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=110m W=4.0 (5.0) m ②長崎鼻 1 号支線道路整備事業 17,000 千円 (改良) L=201m W=3.0 (4.0) m (舗装) L=230m W=3.0 (4.0) m ③主師海岸線道路整備事業 13,200 千円 (改良) L=267m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=412m W=4.0 (5.0) m ④岳平支線道路整備事業 12,000 千円 (改良) L= 85(176)m W=3.0 (4.0) m ⑤神山線道路整備事業 8,200 千円 (測量) L=550m W=3.0 (4.0) m	63,100
【事項別明細書 264 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 ①主師線道路整備事業 15,000 千円 (改良) L= 95m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=165m W=4.0 (5.0) m ②深月線道路整備事業 48,000 千円 (改良) L=118m W=4.0 (5.0) m ③大根坂川内線道路整備事業 18,500 千円 (舗装) L=601m W=4.0 (5.0) m ④主師海岸線道路整備事業 26,500 千円 (改良) L=140m W=4.0 (5.0) m ⑤岳平支線道路整備事業 33,400 千円 (測量) L=390m W=3.0 (4.0) m (改良) L= 0(128)m W=3.0 (4.0) m	141,400

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	142,700			
	63,100			
	141,400			

事業名	事業内容	事業費
道路単独改良事業 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】	単独改良事業 57,645 千円 安全施設事業 12,220 千円 原材料支給 7,170 千円 ・改良事業 市道大垣線外 101 線 ・安全施設事業 市道伊是線外 27 線 その他(事務費) 791 千円	77,826
【事項別明細書 264 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 <地域活性化・きめ細かな交付金事業> ・改良事業 市道神船線 外 17 線 33,186 千円 ・安全施設事業 市道深川線 外 5 線 6,814 千円	40,000
道路整備事業県 工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】	主要幹線である国・県道に係る地域の産業、経済、文化及び観光産業の発展、市民の日常生活の向上のため、次の整備事業に対する負担を行った。 ①国道 383 号道路整備事業 ・川内工区 <事業費 19,537 千円> 市負担金 2,696 千円 (改良) L=200m W=6.0 (9.75) m ・上中津良工区 <事業費 18,892 千円> 市負担金 2,607 千円 (改良) L=420m W=6.0 (9.75) m ②国道 204 号道路整備事業 ・田平荻田工区 <事業費 10,087 千円> 市負担金 1,392 千円 (改良) L=210m W=6.0 (7.5) m ③平戸田平線道路整備事業 ・野子工区 <事業費 89,918 千円> 市負担金 8,767 千円 (改良、橋梁) L=170m W=6.0 (9.45) m ・獅子・根獅子工区 <事業費 18,749 千円> 市負担金 2,742 千円 (舗装) L=3,400m W=4.0 (5.0) m ・高越工区 <事業費 19,159 千円> 市負担金 2,802 千円 (改良) L=140m W=5.5 (7.0) m ④以善田平港線道路整備事業 ・瀬戸工区 <事業費 14,298 千円> 市負担金 2,091 千円 (改良) L=250m W=5.5 (7.0) m ⑤田ノ浦平戸港線道路整備事業 ・崎方～木引田工区 <事業費 29,250 千円> 市負担金 2,925 千円 (電線地中化)	26,022

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		39	77,787	
31,066			8,934	
			26,022	

事業名	事業内容	事業費
道路整備事業 工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	<p>【平成 22 年度繰越明許費】</p> <p>①国道 383 号道路整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川内工区 ＜事業費 24,653 千円＞ 市負担金 3,402 千円 (改良) L=200m W=6.0 (9.75) m ・水垂工区 ＜事業費 29,022 千円＞ 市負担金 4,005 千円 (改良) L=500m W=5.5 (7.0) m ・草積工区 ＜事業費 25,348 千円＞ 市負担金 3,498 千円 (改良) L=20m ・上中津良工区 ＜事業費 34,848 千円＞ 市負担金 4,809 千円 (改良) L=410m W=6.0 (9.75) m <p>②国道 204 号道路整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田平荻田工区 ＜事業費 51,087 千円＞ 市負担金 7,050 千円 (改良) L=250m W=6.0 (7.5) m <p>③平戸田平線道路整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野子工区 ＜事業費 45,303 千円＞ 市負担金 4,417 千円 (改良、橋梁) L=170m W=6.0 (9.45) m ・飯良工区 ＜事業費 33,922 千円＞ 市負担金 4,961 千円 (測量) L=300m W=5.5 (7.0) m <p>④以善田平港線道路整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸工区 ＜事業費 49,067 千円＞ 市負担金 7,176 千円 (改良) L=250m W=5.5 (7.0) m <p>⑤獅子津吉線道路整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木ヶ津工区 ＜事業費 26,189 千円＞ 市負担金 3,830 千円 (改良) L=250m W=5.5 (9.25) m 	43,148
橋りょう整備事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	<p>橋りょうの腐食が進行しているため、次の補修事業を行った。</p> <p>①市道梅崎線橋りょう補修（黄昏橋） 380 千円 断面修復工 A=2.6 m²</p> <p>②市道小薄香線橋りょう補修（ドンドン橋） 292 千円 断面修復工 A=2.0 m²</p> <p>③市道名切線橋りょう補修（名切橋） 863 千円 石積工 A=12 m²、石張工 A=33 m²</p> <p>④市道里線橋りょう補修（里橋） 640 千円 塗替塗装工 A=74 m²</p>	4,360

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,600		39,548	
			4,360	橋りょう改修工事の施工により、住民の交通の安全が確保された。

事業名	事業内容	事業費
	⑤市道汐の浦線橋りょう補修（潮の浦橋） 断面修復工 A=7.1 m ² 1,040 千円 ⑥市道秋葉参道線橋りょう補修（西里橋） 断面修復工 A=6 m ² 221 千円 ⑦市道焼山・宮崎線橋りょう補修（久保田橋） 護岸補修 N=1 式 924 千円	
橋りょう長寿命化計画策定事業 （建設課） 【事項別明細書 264 頁】	橋りょうを計画的に補修するため、点検及び修繕計画策定を行った。 ①橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託 8,610 千円 ②橋りょう長寿命化概略点検業務委託 3,683 千円 橋りょう点検・修繕計画策定数 235 橋	12,293
河川改良事業 （建設課） 【事項別明細書 264 頁】	河川の氾濫及び護岸の崩壊防止のため、次の改修事業を行った。 ①中津良川河川改修事業 164 千円 練石積工 L= 1.0m ②福良川支川河川改修事業 176 千円 水路工 L= 6.0m ③木ヶ津川支川河川改修事業 1,029 千円 水路工 L= 50.0m ④櫛神川河川改修事業 1,239 千円 練石積工 L= 15.0m ⑤針木川河川改修事業 1,292 千円 水路工 L= 40.0m ⑥戸石川支川外 2 河川改修事業 777 千円 水路工 L= 40.0m ⑦船木川支流河川改修事業 987 千円 練石積工 L= 15.0m ⑧宮方川(1 工区)河川改修事業 1,264 千円 練石積工 L= 11.5m ⑨宮方川(2 工区)河川改修事業 683 千円 練石積工 L= 4.0m ⑩古田川外 1 河川改修事業 703 千円 浚渫工 V=183.0 m ³ ⑪神船川河川改修事業 772 千円 水路工 L= 49.0m ⑫名切川外 1 河川改修事業 1,248 千円 石張工 L= 13.0m ⑬山後川河川改修事業 771 千円 石張工 L= 10.0m ⑭深川支川河川改修事業 483 千円 浚渫工 V=180.0 m ³ ⑮神曾根川河川改修事業 346 千円 ブロック積工 A= 3.0 m ²	13,983

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,990			4,303	道路交通の安全確保のため、これまでの事後保全的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換することで、橋りょうの長寿命化によるコスト削減が図られた。
			13,983	河川改修工事の施工により、河川の氾濫及び護岸の崩壊が防止され、住民生活の安全が確保された。

事業名	事業内容	事業費
河川改良事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	⑩生月小学校横水路改修事業 浚渫工 V=42.0 m ³ 252 千円	
	⑪釜田川支流河川改修事業 水路工 L= 48.3m 799 千円	
	⑫西流川支流河川改修事業 石積工 L=14.0m 998 千円	
	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉	3,000
	①猪渡谷川河川改修事業 石積工 L=20.0m 2,264 千円	
	②火用心川河川改修事業 底張工 A=45.0 m ² 736 千円	
急傾斜地崩壊対策事業 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	災害危険箇所指定された地域の安全で安心できる生活基盤づくりのため、次の地区の防止事業を行った。	12,200
	①潮の浦(2)地区 L= 32.0m 8,100 千円	
	②小川地区 L= 16.0m 4,100 千円	
	【平成 22 年度繰越明許費】 小川地区 L= 28.2m 7,582 千円	7,582
建設海岸自然災害防止事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	県営事業で実施する次の地区の整備事業に対し負担を行った。	718
	船越前目 海岸護岸嵩上げ 〈事業費 10,255 千円〉 市負担金 718 千円	
	【平成 22 年度繰越明許費】 船越前目 海岸護岸嵩上げ 〈事業費 4,700 千円〉 市負担金 329 千円	329
港湾整備事業県工事負担金 (都市計画課) 【事項別明細書 266 頁】	船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため港湾整備を行った。平戸港においては、歩行者のオランダ商館までの動線確保のために棧橋タイプ遊歩道の整備に着手した。	11,818
	①平戸港地域自立活性化事業 〈事業費 19,580 千円〉 市負担金 2,692 千円 浮棧橋改良 1 基	
	②田平港地域自立活性化事業 〈事業費 36,840 千円〉 市負担金 5,066 千円 道路(改良) L=98m	
	③大島港改修事業(旧：統合補助)(神ノ浦地区) 〈事業費 25,200 千円〉 市負担金 3,150 千円 浮棧橋補修 1 基	
	④平戸港他県単改修事業 〈事業費 3,640 千円〉 市負担金 910 千円 側溝蓋等整備 一式	

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,330			670	
5,750	6,100		350	市の災害危険箇所指定された地域の崩壊防止工事の施工により、周辺住民の生命・財産を守ることができた。
3,791	3,600		191	
			718	護岸工事の施工により、高潮等からの災害を防止するとともに、海岸の浸食を防止し、国土の保全が確保された。
			329	
	4,800		7,018	港湾整備を行ったことにより、船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性が確保された。

事業名	事業内容	事業費
港湾整備事業県 工事負担金 (都市計画課) 【事項別明細書 268 頁】	<p>【平成 22 年度繰越明許費】</p> <p>①平戸港地域自立活性化事業 <事業費 22,000 千円> 市負担金 3,025 千円 浮棧橋改良 一式 調査設計 一式 補修 一式</p> <p>②平戸港地域住宅効果促進事業 <事業費 12,000 千円> 市負担金 1,500 千円 ボードウォーク 測量設計等 L=95m</p> <p>③大島港改修事業(旧：統合補助) (神ノ浦地区) <事業費 34,800 千円> 市負担金 4,350 千円 浮棧橋補修 1 基</p>	8,875
平戸港交流広場 整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 268 頁】	<p>【平成 22 年度繰越明許費】</p> <p><地域活性化・きめ細かな交付金事業> 商店街や観光施設に隣接し、市民や観光客の憩いの場及び各種イベント会場として広く活用されていることから、施設利用者の利便性向上のため、施設の改修を行った。</p> <p>①平戸港交流広場整備工事 893 千円 イス設置 5 基・車止設置 36 基・区画線設置他</p> <p>②平戸港交流広場整備工事(2 工区) 420 千円 交流広場トイレ周り洗出舗装 一式</p> <p>③交流広場トイレ整備 285 千円 合併浄化槽ブロワー取替</p>	1,598
都市計画マスター プラン策定事業 (都市計画課) 【事項別明細書 270 頁】	<p>本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定を 3 カ年かけて行う。</p> <p>・平戸市都市計画マスタープラン策定業務 一式 3,600 千円 ・その他事務費 256 千円 ・期 間 平成23年度～平成25年度</p>	3,856
屋外広告物実態 調査台帳作成事業 (都市計画課) 【事項別明細書 270 頁】	<p><緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 景観条例の施行により、市内全域が長崎県屋外広告物条例の適用範囲となることから、現地調査を行った。</p> <p>・屋外広告物調査業務委託 4,200 千円 屋外広告物の調査、データ整理・入力</p>	4,200
都市公園施設整備 事業 (都市計画課) 【事項別明細書 272 頁】	<p>【平成22年度繰越明許費】</p> <p>市内に設置している都市公園の利便性向上と安全性の確保のため、老朽化した施設を改修し、利用者の憩いの場として整備を行った。</p> <p>・亀岡公園石積改修工事 2,678 千円 石積工 一式</p>	2,678

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,400		7,475	
1,021			577	この事業を行ったことにより、施設利用者の利便性が向上され、安らぎと憩いの場として提供することができた。
			3,856	平成 23 年度においては、アンケート調査を行い、既都市計画マスタープランの検証と現在の都市計画区域における課題の整理を行ない、現況の把握ができた。
4,200				この事業を行ったことにより、市内の屋外広告物の掲出状況等を把握することができ、基準に基づいた指導・改善をできるようになった。併せて、緊急雇用により雇用の創出につながった。 新規雇用失業者数 4名
			2,678	市内に設置している都市公園の利便性向上と安全性の確保のため、老朽化した施設を改修することで、利用者の憩いの場としての機能が向上した。

事業名	事業内容	事業費
街なみ環境整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 272 頁】	平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画の整備方針の、「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」実現のため、町屋 8 棟の修景補助を行うと共に、公共施設整備として電線地中化、及び道路美装化、消防施設整備、公共施設修景を実施した。加えて魚の棚町・職人町の事業計画策定を行った。 ①修景施設整備(崎方地区) 11,994千円 整備棟数 3棟 ②修景施設整備(四町地区) 19,990千円 整備棟数 5棟 ③電線類地中化共同溝整備工事 8,866千円 引込管 一式 建物事前調査業務委託 一式 地質調査業務委託 一式 詳細設計業務委託 一式 ④地区施設整備 22,939千円 道路測量業務委託 一式 道路美装化工事(崎方) 一式 道路美装化工事(四町) 一式 ⑤消防施設整備(消防格納庫) 2,520千円 消防格納庫新築 1棟 ⑥公共施設修景整備 4,179千円 旧大島フェリー待合所修景設計委託 一式 旧大島フェリー待合所修景 1棟 ⑦事業計画策定 1,575千円 魚の棚町・職人町事業計画策定業務委託 ⑧その他事務費 273千円	72,336
【事項別明細書 274 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 ①電線類地中化共同溝整備工事 1,546千円 連携施設整備 一式 ②地区施設整備(崎方地区) 26,002千円 道路美装化工事 一式 ③地区施設整備(四町地区) 2,078千円 小公園整備 一式 ④消防施設整備(消防格納庫) 43,027千円 用地費 一式 補償費 一式 消防格納庫新築 1棟 ⑤その他事務費 104千円	72,757
美しいまちづくり推進事業 (都市計画課) 【事項別明細書 272 頁】	特徴的で魅力ある景観資産を後世に残していくことを目的に、長崎県の景観資産に登録されている松浦史料博物館閑雲亭について、経年による老朽化対策の葺き替えを行った。同様に、田平町山内免の鮎川邸について風呂・玄関等の補修を行った。また、広告景観モデル地区内において屋外広告物の除去、改修に対し助成を行い、街なみ景観と調和し魅力あるものとした。 ①景観資産助成事業 整備棟数 2件 8,000千円 ②屋外広告物助成事業 整備件数 3件 658千円	8,658

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
44,539	15,000		12,797	城下旧町地区において、平成17年度から23年度までに、電線類地中化や地区施設を整備するとともに修景施設82棟を整備したことにより、歴史的な趣のある街なみが形成されてきた。また、魚の棚町・職人町地区も新たに事業計画を策定するなど住民の街づくりに対する意識が向上し、城下旧町地区内全体にまちづくりの気運が高まった。
42,237	28,400		2,120	
4,329			4,329	この事業を行ったことにより、歴史的価値がある平戸の重要な景観資産を後世に残すことができた。また、城下旧町の通りの看板について、歴史的景観と調和した魅力あるものを作ることができた。

事業名	事業内容	事業費
大島村神浦地区街なみ環境整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 272 頁】 【事項別明細書 274 頁】	大島村神浦地区の伝統的な街なみを活かしながら、地域住民や来訪者の利便性向上を図るため案内所の整備に着手した。 ①地区施設整備 9,143千円 設計業務委託 一式 案内所整備工事 一式 ②その他事務費 306千円	9,449
【事項別明細書 274 頁】	【平成22年度繰越明許費】 ①地区施設整備 33,371千円 設計業務委託 一式 用地買収 一式 家屋補償 一式 施工管理業務委託 一式 小公園整備(公衆便所他) 一式 ②その他事務費 54千円	33,425
まちづくり総合整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 274 頁】	平戸市北部地区の「美しいまちづくり支援地区」及びその周辺地域におけるまちづくりとして、平成 21 年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、都市計画道路亀岡循環線、平戸観光交流センターの整備に着手した。 ①亀岡循環線整備 48,729 千円 用地測量業務 一式 建物事前調査業務 一式 建物補償調査業務 一式 用地費 3 件 補償費 2 件 ②平戸観光交流センター(仮称) 2,316 千円 建物補償調査業務一式 ③その他事務費 2,274 千円	53,319
【事項別明細書 274 頁】 【事項別明細書 276 頁】	【平成22年度繰越明許費】 ①亀岡循環線整備 16,265 千円 業務委託料 一式 ②平戸城修景護岸工事 16,371 千円 施工延長 L=41.73m ③その他事務費 55 千円	32,691
高齢者向け優良賃貸住宅等家賃低廉化事業 (都市計画課) 【事項別明細書 276 頁】	居住用住宅を必要とする60歳以上の高齢者向け優良賃貸住宅(希望の里 ひかり)へ入居する収入基準以下の高齢者の家賃減額分を助成する。 ・家賃減額補助 1,078 千円 対象戸数:10 戸(管理数 20 中、10 戸ずつを市・県が助成) 延べ 119 月	1,078

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,571	4,600		278	大島村神浦地区の伝統的な街なみを活かしながら小公園を整備することで、地域住民や来訪者の利便性向上を図られた。
16,766	15,800		859	
20,417	31,000		1,902	亀岡循環線の用地測量や補償費の算定を行い、用地の取得や補償契約を取り交わし、工事にスムーズに着手する準備が完了した。 また、平戸観光交流センター(仮称)の建物補償費の算定を行い、事業に着手する準備を進めることができた。
14,072	17,700		919	
485			593	この補助事業を行ったことにより、高齢者が安心して居住できる住宅を提供することが出来るとともに、入居高齢世帯の負担軽減を図ることができた。

事業名	事業内容	事業費
公営住宅整備事業 (都市計画課) 【事項別明細書 276 頁】	入居者の生活の安全及び居住環境の向上を図るため、老朽化した既存住宅の外壁改修及び屋上防水等の改善を行った。 ・里団地E・F棟外壁・屋上防水工事 15,213千円 ・馬の元団地解体工事 3,392千円 ・稗田岩の上住宅法面復旧工事 830千円 ・市営清水川住宅B・C棟量水器取替工事 1,386千円 ・土地分筆登記委託料 641千円	21,462
【事項別明細書 278 頁】	【平成22年度繰越明許費】 ①清水川住宅浄化槽改修工事 1,281千円 ②上大垣住宅排水溝整備工事 3,150千円 ③大膳原・下大垣住宅階段手すり等整備工事 670千円 ④辻住宅擁壁改修工事 2,730千円 ⑤里団地フェンス改修工事 1,704千円 ⑥山内団地換気口金具取替工事 782千円 ⑦永田団地浄化槽補修工事 1,134千円 ⑧永田団地側溝等整備工事 1,105千円 ⑨里団地側溝整備工事 1,197千円 ⑩里団地窓改修工事 1,029千円 ⑪下亀団地外側溝整備工事 1,011千円 ⑫大久保団地側溝等整備工事 1,856千円 ⑬大久保団地排水暗渠等整備工事 180千円 ⑭飛石・犬場住宅側溝整備工事 430千円 ⑮飛石住宅簡易水洗化工事 1,418千円 ⑯代作・友草住宅舗装工事 1,292千円 ⑰友草住宅フェンス設置工事 819千円 ⑱小田之平団地屋根防水補修工事 346千円 ⑲上川団地漏水配管改修工事 296千円 ⑳外灯LED化取替工事(全地区) 16,312千円 ㉑中の原・里団地等震災関係整備 3,575千円	42,317
大久保団地公営住宅建設事業 (都市計画課) 【事項別明細書 278 頁】	良質な住宅を供給するとともに、入居者及び地域の生活環境を整備するため、次の住宅建設事業を行った。 《地域住宅交付金事業》 ①建築工事 23,900千円 木造2階建 1棟 建築面積 A=233.43㎡ 2DKタイプ 6戸 延べ床面積 A=351.22㎡ ②屋外付帯工事 一式 3,400千円 ③機械設備工事 2,400千円 ④既設住宅解体工事 4,269千円 CB造平屋建 2棟 建築面積A=330.2㎡ 増築部A=88.5㎡(単独) ⑤遊具移設工事 一式(単独) 689千円 ⑥電柱移転補償 616千円 ⑦その他事務費 1,681千円	36,955

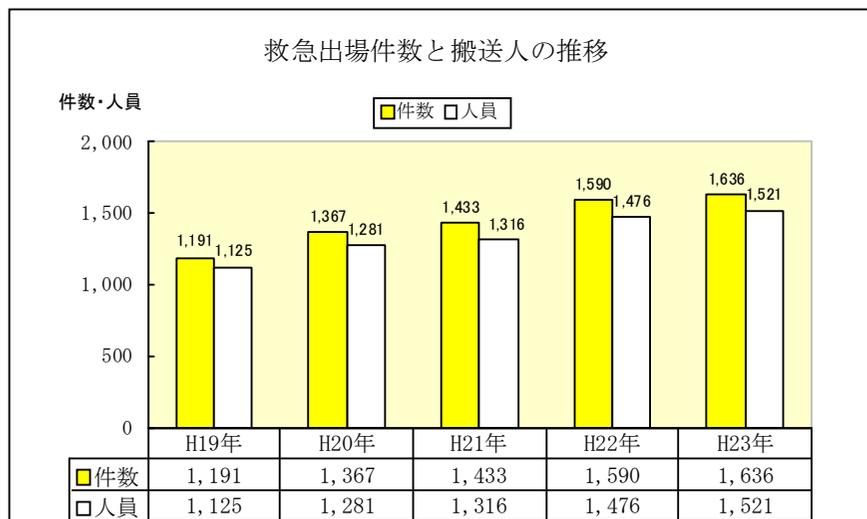
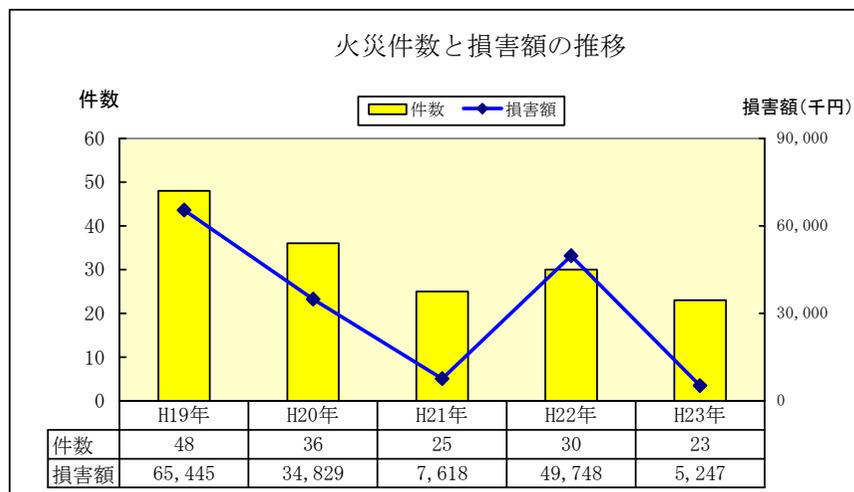
財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,998			15,464	この事業を行ったことにより、老朽化した既存住宅の利便性や安全性が改善され、入居者の生活の安全及び居住環境を向上させることができた。
			42,317	
14,411			22,544	住宅建設事業により、良質な住宅が供給され、入居者が安全で快適な生活ができる居住環境を提供することができた。

【 9 款 消防費 】

平成 23 年中における本市の火災発生状況は、発生件数 23 件、損害額 5,247 千円で、これを前年と比較すると発生件数で 7 件、損害額は 44,501 千円とそれぞれ減少となっている。また、救急活動状況は、出場件数 1,636 件、搬送人員 1,521 人で前年と比較すると、出場件数で 46 件、搬送人員で 45 人とそれぞれ増加となっている。

このような状況の中、消防業務に対する市民のニーズに対応するために、職員及び団員の研修などのソフト面における資質の向上や、消防水利施設、消防車両といったハード面における施設・設備の整備を計画的に図った。

(火災・救急統計は、暦年統計のため平成 23 年中のデータとした。)



(1) 火災予防推進事業

火災予防推進のため幼少年期から火災予防に対する関心を持たせるため、幼年消防クラブ員等へ火災予防啓発用DVD(アニメ)を購入し、避難訓練等の折に視聴させ、火災の怖さ火災予防の大切さを身につけさせる。

(2) 消防防災無線デジタル化整備

現在使用している消防無線は電波関連法の改正により、平成 28 年 5 月 31 日までの使用期限が示され、アナログ方式からデジタル方式へ移行することとなり、この整備のための事前調査として電波伝搬調査を実施し、基本設計を策定した。

(3) 消防防災施設整備

消防施設の整備は、市民の生命・財産の保護及び被害の軽減を図るためにも整備が必要であり、消防水利の設置、消防格納庫の補修等、消防施設の充実強化を図った。

(4) 消防防災設備整備

消防車両の整備は、災害現場における消防活動の円滑化を図るうえで最も重要であり、一定年数を経過した車両の更新により機動力を強化した。

事業名	事業内容	事業費
火災予防推進事業 (消防本部) 【事項別明細書 286 頁】	【平成22年度繰越明許費】 (地域活性化・きめ細かな交付金事業) 幼年への火災予防啓発用DVDを購入した。 285千円	285
消防防災無線デジタル化整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 290 頁】	消防無線デジタル化整備に向けての調査・基本設計を行った。 ・消防デジタル無線電波伝搬調査・基本設計業務委託料 8,085千円	8,085
消防防災施設整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 290 頁】	水利不便地区に対する防火水槽の新設及び防火水槽・消火栓の改修を図った。また、消防団格納庫の建替えのための設計を行った。 ・耐震性貯水槽新設 40 t 級 2 基(木場・主師) 11,832千円 ・志々伎防火水槽改修 930千円 ・消火栓改修 1基(迎紐差地区) 40千円 ・野子格納庫設計委託料 609千円 消防庁舎建設予定地の用地取得のための土地鑑定を行った。 ・庁舎用地土地鑑定業務委託料 368千円	13,779
	【平成 22 年度繰越明許費】 <地域活性化・きめ細かな交付金事業> 消防団格納庫、消火栓等新設、改修を行い消防施設の整備を行った。 ・消防格納庫屋根改修(京崎) 399千円 ・消火栓新設・改修工事(生月 5 箇所・田平 2 箇所) 3,639千円	4,038
消防防災設備整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 290 頁】	車両等設備について、計画的更新を行うことにより災害時における機動力の強化と消火活動の円滑化に努める。 ・小型動力ポンプ付積載車 2 台(堺目、大島前平) 8,606 千円 ・空気呼吸器 2 基(本署、中津良出張所) 917 千円	9,523
	【平成22年度繰越明許費】 <地域活性化・きめ細かな交付金事業> 消防資機材及び個人装備品の整備を行った。 需用費(消耗品費) ・防塵めがね(78個)・人命搜索活動用品 423千円 備品購入費 ・消防器具 3,113千円 ヘッドランプ(325個)・エアージャッキ一式・発電機一式(5基) 空気呼吸器(3基) ・救助資機材 2,004千円 空気式救助資機材コントローラー・救助器具耐圧ホース エアソー・LEDライト(78個)・ガス検知器・携帯無線機(平戸17分団)	5,540

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
221			64	幼年消防クラブ員等へ火災予防啓発用DVD(アニメ)を視聴させ、火災の怖さ等幼年消防の育成活動の充実が図られた。
			8,085	火災、救急等の消防活動の円滑化を図るため、通信機器の充実、高度化を整備することは極めて重要であり、消防無線デジタル化整備に向けて回線設計、基地局の位置を決定するための伝播調査を行い、基本設計を作成することができ、実施設計作成に向けての準備が図られた。
4,980	7,142		1,657	消防水利が乏しく有事の際、消火活動が危惧されていた地区において、耐震性貯水槽の新設、消火栓配管の改修を行ったことで、消防施設、水利の充実が図られた。また、老朽化した格納庫の建替えのための設計を行い、建設に向けての準備が整った 消防庁舎用地取得に係る土地鑑定の業務委託を行い、市民の消防・防災の拠点となる消防庁舎建設に係る用地交渉が可能となった。
3,135			903	老朽化した消防団格納庫の改修、消火栓の新設や補修等、消防水利の整備、充実が図られた。
	8,400		1,123	老朽化により性能が低下した消防車両を更新したことで、災害時における機動力の強化と消火活動の円滑化が図られ、また、市民の生命・財産の保護及び被害の軽減に寄与することができた。
4,304			1,236	救助資機材・発電機等の資機材の充実を図り、効果的かつ円滑な消防活動を行うための環境整備が整った。 また、消防職員・団員の個人装備の充実を図り、隊員の安全確保を図ることができた。

業 名	事 業 内 容	事 業 費
防災行政無線施設整備事業 (総務課) 【事項別明細書 290 頁】 【事項別明細書 292 頁】	デジタル同報系防災行政無線施設整備の平成 23 年度工事を行った。 平成 23 年度工事の内容 ・ 慈眼岳中継局の建設 ・ 平戸地区、大島地区、生月地区、田平地区の再送信局の設置 ・ 平戸地区及び大島地区の屋外子局の設置 (平：107、大：15) ・ 大島地区、生月地区及び平戸地区の戸別受信機の設置 ・ 生月支所、田平支所及び大島支所への文字入力装置、遠隔制御装置の設置 ・ 文字表示戸別受信機の設置 ・ 公共施設への戸別受信機の設置 ・ 既設局の撤去	367,350

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
100,000	253,900		13,450	屋外拡声子局及び戸別受信機の一部運用開始により、防災情報及び行政情報の市民への周知が可能となった。 (事業進捗率) 平成 23 年度工事進捗率：77.9%

【 10 款 教育費 】

1 学校教育

本市の教育分野においては、平戸市総合計画に定める基本目標や平戸市教育方針及び平戸市教育努力目標に基づき、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体」の充実を掲げ、「生きる力」の育成を目指してきたところであり、平成 22 年 6 月には、現在の様々な教育的課題に対応すべく今後 5 年間のアクションプランとして、平戸市教育振興基本計画を策定した。学校教育課においては、『高い志を持つ人づくり』をスローガンに各種施策に取り組んだ。

この中で、「学校教育の充実」を重点目標として掲げたところであり、その一つの柱が、「学力の向上」である。

第 1 に、教師の指導法の改善と指導力の向上を目指し、全ての小・中学校を訪問して指導にあたった。

第 2 に、研究指定による指導を行った。平成 22 年度から 2 カ年、大島中学校が市の研究指定校として、地域に根ざし、生きる力を育む教育の創造を目指して、言語活動の充実を図り豊かな表現力を育成するための実践研究を行った。また、平成 23 年度から 2 カ年、平戸小学校及び津吉小学校を県教育委員会指定及び市教育委員会の研究指定校として、言語活動の充実を図り実践研究を進めている。

第 3 に、学力向上計画の作成と実践を行った。全ての小・中学校で「観点別学力到達度診断テスト」を実施するとともに、平成 19 年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、全校がそれぞれに学力向上プランを作成し、指導法の改善を図り、学力の確実な定着を目指している。

第 4 に、外国語の向上を図る取組を行った。児童生徒が生きた英語に慣れ親しみながら、英語力の向上並びに国際感覚の充実を図るため、外国語指導助手を招致し、全ての小・中学校に指導を行った。

もう一つの柱は、「心の教育」の充実である。

第 1 に、道徳の指導に力を入れることを目標に、校長をはじめ、全職員による道徳教育の充実に努めた。道徳の指導方法の工夫・改善に取り組む一方、保護者や地域に対して道徳の授業を公開した。また、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を活用し、全ての小・中学校の道徳の授業を参観し、指導につなげた。

第 2 に、全ての小・中学校において、日課表の中に読書の時間（「朝の読書」など）を設定し、全校一斉の読書活動に取り組ませた。このことは子どもの情操教育に効果的であり、落ち着いた学習態度の定着など良い結果をもたらしている。

第 3 に、県派遣「スクールカウンセラー」を平戸小学校、平戸中学校、生月中学校、南部中学校及び田平中学校の 5 校に配置を行うとともに、全中学校を対象に「心の教室相談員」が不定期に学校を訪れるほか、各学校においても、悩みを抱える児童生徒のカウンセリングに力を注いだ。また、適応指導教室「のぞみ」の活用を図り、不登校児童生徒の学校復帰に向けての指導を行った。

第 4 に、「特別支援教育」体制の更なる充実に向け、特別支援教育支援員を増員配置するとともに、研修会、講演会を開催し、個に応じた指導体制の基盤づくりを進めた。

また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を受けて、本市においても平成 27 年度までに学校施設の耐震化完了に向けた学校建設計画の見直しを調整しており、情報教育等と併せて、安全で安心な教育環境の整備を図るとともに、学校統廃合に伴う廃校後施設の跡地利活用等について、各地区と検討協議を行っている。

(1) 奨学費

平戸市奨学金制度は、品行方正、学業成績が良好でありながら、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与し、教育の機会均等を図り、将来、社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、高校または大学等に修学する生徒・学生を対象に、高校 5 人、高専 1 人、専修 3 人、短大 2 人、大学 2 人の全体で 13 人（平成 23 年度新規貸付者：高校 1 人、高専 1 人、大学 1 人）について、平戸市奨学資金貸付基金運営委員会の審査により決定し、奨学金の貸与を行った。

(2) 小学校・中学校費

○学校管理

学校教育の充実を目的として、児童生徒の健康対策及び保護者の負担軽減を図るなど、児童生徒が安心して学習できる教育環境の整備を行った。

施設の営繕等については、プールの濾過装置補修、校舎や体育館の屋根・外壁補修、校舎の防水工事、照

明器具や高圧機器の改修、更には、教室のカーテン・暗幕の取替、黒板張替など施設の維持及びより安全な教育環境の整備を行った。

○教育振興

心の教育の充実及び児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館支援員を全ての小・中学校に配置するとともに、学校図書館管理システムを円滑に運用するなど読書環境の整備を図ることによって、小中学生の年間読書量が大幅に増加した。

就学援助対策として、要保護及び準要保護並びに特別支援学級の児童生徒に対し、援助費及び奨励費の支給や、遠距離通学等をしている児童生徒に対し、補助金の支給を行った。また、適応指導教室「のぞみ」では、不登校児童生徒 7 人に対し、学校復帰を目指した指導を行い、学校行事や卒業式への参加や高校への進学など改善できた生徒がいた。更には、全中学校を対象に心の教室相談員が計画的に訪問し、多くの生徒がかかえる悩みを聞くことができる環境の整備を図った。

○学校建設

学校施設環境の整備については、校舎の増改築や大規模改修、耐震補強、屋内運動場を含む各施設の整備等、年次計画を立て実施しているところであり、本年度は、野子小・中学校校舎大規模改修事業、田平東小学校校舎大規模改修事業、生月小学校校舎耐震改修事業、生月中学校校舎耐震改修事業及び平成 22 年度から継続の田平北小学校校舎増改築事業を実施し、安全で安心な教育環境の整備を図った。

併せて、平戸中学校校舎増改築事業において、校舎建設工事に着手し、平成 24 年度中の完成（グラウンド造成は平成 25 年度完成予定）に向けて実施中である。また、志々伎小学校校舎大規模改修事業において、実施設計を行い、平成 24 年度工事着工の準備が完了した。

更には、田平北小学校に太陽光発電設備を導入し、児童が自然エネルギーや環境問題に関心を持つことができた。

○学校施設の耐震化率の推移 (各年度末)

施設名	平成 22 年度	平成 23 年度
小学校	67.3%	73.1%
中学校	83.3%	96.7%
計	73.2%	81.7%

2 幼稚園費

幼児教育の充実と円滑な幼稚園運営を図るため、職員研修の実施、施設の維持補修及び備品の購入を行うなど幼児がのびのびと学べる環境の整備に努めた。

また、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、私立幼稚園の保護者に対し、保育料等を減免する私立幼稚園就園奨励費補助を行った。

3 社会教育費

(1) 社会教育

平成 19 年 3 月に策定した平戸市生涯学習推進計画に基づき、市民自らの学習意欲を喚起し、学習した成果を生かした協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとして、市民自らが様々な分野から講師を招聘しての生涯学習講演会の開催をはじめ、生涯学習パスポートの表彰・生涯学習月間の啓発、ながさき県民大学主催講座の実施、市民編を前面に出した出前講座の実施等、生涯学習の推進に取り組んだ。

長崎県の県民運動である「ココロねっこ運動」を推進する事業や学社融合事業等を実施し、学校と地域、家庭が一体となって青少年の健全育成に取り組む気運を高め、地域や家庭の教育力の向上を図った。また、少年センターでは、専門員や少年センター補導委員による補導活動や環境浄化活動を実施し、青少年の非行防止、保護育成に取り組んだ。

【 10 款 教育費 】

公民館事業については、市内 6 公民館を生涯学習の拠点施設として各種学級・講座等を実施し、市民のニーズや時代に即応した学習の場の提供を行った。また、地域の生涯学習の推進や住民相互の交流を図るうえで必要な地区公民館の修繕補修についても助成を行った。

図書館事業については、利用者ニーズにあった資料の購入、読書感想発表大会や読み聞かせ等の読書推進事業、各種講座開催など読書に親しむ機会の提供を行った。また、公民館図書室の整備に伴い、今まで生月町中央公民館にあった生月図書室を生月支所に移設し、改修を行い、明るく利用しやすい図書室としてリニューアルオープンした。また、図書館フェスティバルや絵本作家講演会を開催し、読書環境の改善を図った。

(2) 文化財保護

文化財保護について、平成 23 年 9 月 16 日付で「松浦文書」「石志文書」「伊万里文書」「相知文書」「吉村組捕鯨文書」の 5 件が県の有形文化財に指定された。それに伴って、松浦文書に含まれる「豊田秀吉キリシタン禁制定書」1 通が指定解除された。また、平成 23 年 9 月 21 日に「棲霞園」が国の名勝地に登録された。

指定・選定文化財について、大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区の町家 4 件の修理補助及び公開活用施設の修理、県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」座敷の改修、県指定有形文化財「紐差教会」の自動火災報知設備設置、同「旧松浦家住宅」と「雄香寺開山堂」の補修等の補助、県指定天然記念物「海寺跡のハクモクレン」の保存整備事業を行い、貴重な文化財の保存・保護・継承・活用に努めた。

平戸和蘭商館については、史跡地内公有地にて文化財に相応しい整備を実施し、来館者が平戸港周辺を周遊できるよう動線を設定した。また、長さに渡る復元検討の未完成した 1639 年築造倉庫が 9 月 20 日に開館することに併せて記念式典を開催し、秋篠宮同妃両殿下のお成りをはじめ多くの来賓に出席いただくことができ、開館を広く内外にアピールすることができた。

重要文化的景観については、適切な保存活用を図っていくため、整備活用計画の策定検討を行った。また、選定区域内の便益施設整備として休憩施設 2 棟を設置した。

世界遺産登録推進について、県版アクションプラン、包括的保存管理計画の一部となる市アクションプランの策定や、関係地域における継続した調査研究を行い、登録作業の推進を図った。

(3) 文化振興・文化施設

文化振興について、市美術展、文化協会加盟団体による文化まつりを実施し、文化活動団体への活動補助、全国大会出場者への補助を行うなど、市民の文化に対する意識の高揚と、芸術文化の振興に努めた。

また、宝くじまちの音楽会を平戸文化センター、次代を担う子どもの文化芸術体験事業を津吉小学校、平戸オランダ商館開館記念コンサート、ながさき音楽祭 2011「木管アンサンブル・ポエ」コンサートをオランダ商館・島の館、海上自衛隊佐世保音楽隊コンサートを平戸文化センターで開催し、質の高い芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

文化施設について、大島村ふるさと資料館、田平町里田原歴史民俗資料館、生月町博物館・島の館の施設の維持管理・運営・公開を行い、郷土の歴史や地域文化の紹介と情報発信、文化財の保存保護に対する周知と啓発を行った。また、緊急経済対策を活用して、田助ハイヤ節伝承館、生月町博物館・島の館、田平町里田原歴史民俗資料館の改修等を行い、施設の維持補修並びに利用者の利便性向上に努めた。

4 保健体育費

(1) 保健体育・体育施設

スポーツ振興においては、体育協会を中心としてスポーツ団体の育成と競技力の向上を図ることができた。また、スポーツ振興基金を活用して、個人・団体等の九州大会以上の大会への参加補助やスポーツ教室等の開催に助成を行った。各地区の体育振興会を中心に、健康まつりや村民運動会などを開催し、市民の融和と社会体育の底辺拡大、市民の健康増進を図るため、生涯スポーツの推進に努めた。

スポーツイベントとして、「第 5 回ひらどツデーウォーク 2011」を開催し、市内外から多くの参加者が訪れ、健康増進とともに、観光地平戸を大きく P R し、地域の活性化に貢献することができた。

青少年の健全育成を目的としたスポーツ振興については、スポーツ少年団体の活動に支援を行った。

社会体育施設である総合運動公園及びシーライフひらどについては、平成 18 年 9 月から指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化とサービスの向上を図っている。今回、平成 24 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 4 年間における指定管理者の指定を行った。また、平成 26 年度長崎がんばらば国体に向けて、軟式野球競技の会場となる平戸市総合運動公園ライフカントリー赤坂野球場と生月町勤労者体育センターの施設改修を行うことによってスムーズな競技運営が図られるようになった。そのほか各体育施設改修等を行うことにより、利用者の安全確保やサービスの向上を図った。

第 69 回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業については、7 月 20 日に平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会を開催し、その後、常任委員会及び 4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査（岐阜・山口）を行うことにより具体的な内容の把握が出来、今後の業務遂行に大いに参考となった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、イベントでのティッシュ配布により啓発活動に努めた。また、関係機関団体等との連絡調整を図り大会開催へ万全を期すため準備を行った。

全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業については、7 月 20 日に平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会を開催し、その後、4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査（青森県弘前市）を行うことにより具体的な施設面・競技運営面等、今後の業務遂行に参考となるものであった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、また、ポスター募集を行い啓発活動に努めた。関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の視察研修を行い大会開催への準備を行った。

全国高等学校総合体育大会相模競技選手強化育成事業については、年間を通して遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手強化が図られた。

(2) 学校給食

安全安心でおいしい給食を児童生徒に提供するため、調理講習会や衛生管理研修会を実施し調理従事者等の資質の向上を図った。

一方、設備面では 20 年以上使用し老朽化して故障が頻発していた中南部共同調理場の食缶類洗浄機を更新したほか、北部、中南部給食調理場の老朽化した真空冷却機の更新や、大島及び度島調理場への新たな真空冷却機の整備を行い、学校給食衛生管理基準の遵守を図るとともに、スチームオープン等の最新鋭の調理機器及び作業機器の整備を行った。

また、中南部地区の学校統廃合で減車となった給食配送車 1 台を、老朽化した大島共同調理場の配送車と入れ替えたほか、田平共同調理場の老朽化した配送車の更新整備を図った。

事業名	事業内容	事業費
離島留学生ホームステイ支援事業 (教育総務課) 【事項別明細書 294 頁】	地域活力の高揚及び学校教育の振興を図るために、猶興館高校大島分校に島外からの高校生の受け入れを行うとともに受入家庭に対して助成を行った。 対象 高校3年生 3人 ※平成24年3月31日閉校	1,080
特別支援教育総合推進事業 (学校教育課) 【事項別明細書 294 頁】 【事項別明細書 296 頁】	発達障害を含む障害のある子どもの保護者への相談体制の充実を図るとともに、当該児童生徒の乳幼児から成人期に至るまでの一貫した支援方策について検討し、早期からの就学相談や小学校から高等学校への支援体制の引継ぎについて整備を行った。 就学相談等の回数 96回(延べ人数61人) 委員会の開催 運営委員会 2回 幼保小連携専門委員会 2回 中高連携専門委員会 2回	1,794
奨学資金貸付事業 (教育総務課) 【事項別明細書 298 頁】	経済的理由により修学困難と認められる品行方正、学業成績が良好である者に教育の機会均等を図り、将来の社会発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的に学資を貸与した。 平戸市奨学資金貸付基金 平成23年度貸付状況 13人 3,384千円	232
スクールバス・ボート運行事業 (教育総務課) 【事項別明細書 300 頁】	学校統廃合等による児童生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスの運行またはスクールボートの運航を行った。 バス 中野小～古江、大瀬地区 20人 中野小～主師、山野、白石地区 11人 紐差小～獅子、高越、春日地区 15人 紐差小～宝亀地区 20人 紐差小～大川原、赤松、木ヶ津4地区 17人 津吉小～早福地区 19人 大島小・中～板ノ浦地区 4人 ボート 宮の浦港～高島港 4人 乗船延べ人数 児童1,294人 一般 324人	21,173
学校等施設整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 310 頁】 【事項別明細書 318 頁】	【平成22年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 児童生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、各学校の老朽化等による危険箇所及び学校生活に支障をきたしている施設の改修を行った。 廊下床張替 (1) 小学校(8校) 10,489千円 (2) 中学校(4校) 4,228千円 (3) 幼稚園(1園) 294千円 南部中学校屋外便所建設 1,838千円	16,849

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
540			540	この事業を行ったことで、受入家庭の負担軽減のほか、地域活力の高揚及び島内の学校教育の振興が図られた。
1,786		7	1	この事業を行ったことで、きめ細かな就学相談や支援体制の整備が進み、本人や保護者の教育に対する不安が軽減できた。さらに、支援体制の適切な引継ぎにより、当該児童生徒の生活や学習上の困難を改善又は克服することができた。
		20	212	この事業を行ったことで、修学困難とされる者に修学を促し、教育の機会均等を図ることができた。
	18,500	214	2,459	この事業を行ったことで、学校統廃合となった地区または公共交通機関が乏しい地域の児童生徒の安全な通学の確保ができた。 また、通学以外で市内各小中学校の学習活動(水泳指導、社会科見学等)等への有効活用が図られた。
11,659			5,190	この事業を行ったことで、廊下での防滑、転倒防止等及びプライバシーの保護等学校施設での安全性の確保及び教育環境の改善が図られた。

事業名	事業内容	事業費
学校統廃合事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 児童数の減少等により学校統廃合を行ったことに伴い、当該地域等にスクールバスを運行させているが、当該スクールバスを効果的に管理するための車庫を建設するとともに、当該地域から要望があつて耐震性の無い校舎部分の解体等の環境整備を行った。</p> <p>スクールバス車庫建設 (紐差小：123.66 m²) 16,523 千円 (津吉小：39.32 m²) 5,119 千円 校舎解体等 (旧獅子小) 16,284 千円 (旧宝亀小) 20,254 千円 その他 (遊具撤去等) 1,970 千円</p>	60,150
就学対策事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 310 頁】	<p>就学困難な児童生徒の保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な実施等を図るため、就学のために必要な学校用品等の整備及び支援等を行った。</p> <p>【負担金補助及び交付金】 4,263 千円 遠距離等児童・生徒通学費補助金 3,700 千円 遠距離等の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校(4km以上) 28人 480 千円 (2) 中学校(6km以上) 79人 3,111 千円 (3) 特別支援教室等通級費 16人 109 千円 児童・生徒通学費助成金 563 千円 学校統廃合の条件として、生月町御崎地区及び古賀江地区の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 7人 234 千円 (2) 中学校 6人 329 千円 【扶助費】 17,838 千円 要準要保護児童生徒援助費 14,218 千円 要保護及び準要保護児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 116人 1,889 千円 給食 114人 4,423 千円 医療 23人 168 千円 (2) 中学校 就学 95人 3,545 千円 給食 93人 4,109 千円 医療 9人 84 千円 特別支援学級就学奨励費 3,621 千円 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 22人 338 千円 給食 22人 924 千円 通学 8人 180 千円 (2) 中学校 就学 14人 527 千円 給食 14人 700 千円 通学 12人 952 千円</p>	33,411

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
27,971	21,200		10,979	この事業を行ったことで、スクールバスを効果的に管理できるとともに、廃校後敷地の安全性の確保ができた。
903			32,508	この事業を行ったことで、児童生徒の就学環境の改善とともに、保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な実施が図られた。

事業名	事業内容	事業費
図書教育充実事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 310 頁】	心の教育の充実のために、図書を購入整備し、学校図書館を充実させ、児童生徒の読書活動を推進した。	9,411
学校図書館支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 310 頁】	市内小中学校図書館の活性化を図るため、学校図書館支援員を配置し、学校図書館の様々な取組みを支援した。 小学校 2人 拠点校：中野小 支援校：田助小、大島小、中野中、大島中 拠点校：志々伎小 支援校：根獅子小、堤小、中津良小、野子小中 中学校 2人 拠点校：田平中 支援校：田平北小、田平南小、田平東小、度島小中 拠点校：生月中 支援校：生月小、山田小、紐差小、中部中	1,731
学校図書館管理システム円滑化推進事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 312 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 平成 22 年 4 月から本格稼働している学校図書管理システムの円滑な運用を図るため、各学校間または公立図書館との連携調整事務及び図書台帳の整備(加除・修正)や図書(新規購入分・学校統廃合分)の登録作業を行った。	8,557
小学校指導書等購入事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】	新学習指導要領改訂に伴う教師用指導書及び教科書の購入を行った。	18,632
平戸子ども読本編纂事業 (学校教育課) 【事項別明細書 304 頁】	郷土の歴史、伝統文化等への理解を深め、夢やあこがれ、ふるさと平戸への思いを膨らませるために児童向けの副読本「平戸子ども読本『平戸あこがれ物語～心に残る人物伝』」を作成し、小学校 1～3 年の教室に配置し、授業等で活用した。	354
特別支援教育支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 304 頁】 【事項別明細書 314 頁】 【事項別明細書 316 頁】	心身に障害を持つ児童生徒が、健常者と平等に楽しく学習が受けられる環境整備を図るため、特別支援教育支援員を配置し、個々の障害に応じた適切な教育にかかる側面からの支援を行った。 小学校 13人 (支援対象児童 101人) 中学校 3人 (支援対象生徒 27人)	14,663

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
	7,100		2,311	この事業を行ったことで、児童生徒の読書量が増え、休日でも学校図書を借りて帰ることも多くなり、読書が定着、活発化してきている。												
855		10	866	この事業を行ったことで、学校図書館環境が格段に良くなり、児童生徒が図書館を積極的に活用するようになった。 ○児童生徒 1 人あたりの貸出冊数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 22 年度</th> <th>平成 23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>125.4 冊</td> <td>148.4 冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>12.8 冊</td> <td>14.7 冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>83.4 冊</td> <td>100.2 冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成 22 年度	平成 23 年度	小学校	125.4 冊	148.4 冊	中学校	12.8 冊	14.7 冊	計	83.4 冊	100.2 冊
	平成 22 年度	平成 23 年度														
小学校	125.4 冊	148.4 冊														
中学校	12.8 冊	14.7 冊														
計	83.4 冊	100.2 冊														
8,534		23		この事業を行ったことで、児童生徒への効率的効果的な読書指導の実施と学校図書館の環境整備を図ることができた。 新規雇用失業者数 10 名												
			18,632	この事業を行ったことで、新しい教科書に対応した児童への指導が図られ、個々の児童に確かな学力を身につけさせることができた。												
			354	この事業を行ったことで、郷土の歴史、伝統文化等への理解を深め、授業以外でも興味を示し、貸し出しも行っている。												
	13,400	93	1,170	この事業を行ったことで、児童生徒は、心のふれあいや協調性などを学び、心身に障害を持つ児童生徒と健常者が平等に学習できる環境整備が図られた。												

事業名	事業内容	事業費
田平北小学校校舎増改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 306 頁】	児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、老朽化等により授業に支障をきたしている校舎について、改築工事を行った。 平成 21 年度 耐力度調査、地質調査、実施設計 平成 22 年度 A 棟解体、仮設校舎設置(リース)、本校舎建設工事 平成 23 年度 仮設校舎設置(リース)、本校舎建設工事、B 棟解体及び屋外階段・トイレ建設工事、構内外構舗装工事 【仮設校舎設置】 軽量鉄骨造 1 階建 延べ床面積 299 m ² 校長室、職員室、保健室、普通教室、トイレ、給食コンテナ室 【本校舎建設工事】 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 1,886 m ² 太陽光発電設備(17.6kw)、雨水利用設備等 【B 棟解体及び屋外階段・トイレ設置工事】 B 棟解体 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 416 m ² 屋外階段・トイレ鉄筋コンクリート造 1 階建 延べ床面積 10 m ² 【構内外構舗装工事】 舗装工事 1,010 m ² 砕石敷均 600 m ² 事業費 322,703 千円	322,703
【事項別明細書 308 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 【本校舎建設工事】 事業費 114,897 千円	114,897
野子小学校校舎大規模改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 306 頁】	児童生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 40 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改築工事を行った。 平成 20 年度 耐震診断 平成 21 年度 耐震補強設計 平成 23 年度 耐震補強及び大規模改築工事 【耐震補強工事】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,905 m ² 補強箇所 9 箇所 補強に伴う外壁塗装及びアルミサッシ改修 【大規模改築工事】 校舎内部(廊下の天井及び床、建具類)、電気設備及び機械設備の改修工事等	42,479
野子中学校校舎大規模改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 316 頁】		30,406

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
123,391	181,500		17,812	この事業を行ったことで、児童の安全安心な教育環境の整備が図られるとともに、児童が自然エネルギーや環境問題に関心をもつ等、学習意欲の向上につながった。
52,398	59,300		3,199	
20,414	20,900		1,165	この事業を行ったことで、児童の安全性の確保及び教育環境の整備が図られた。
14,621	14,900		885	

事業名	事業内容	事業費
志々伎小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書306頁】	児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後34年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を実施するための設計を行った。 平成21年度 耐震診断 平成23年度 大規模改造設計、耐震補強及び大規模改造工事 (工事は平成24年度に繰越) 【大規模改造設計】 鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積 1,599㎡ 校舎内部(天井、床、建具類)、校舎外部(屋上防水、外壁塗装)電気設備及び機械設備の改修工事に係る実施設計	2,562
田平東小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書306頁】	【平成22年度繰越明許費】 児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、建築後43年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を行った。 平成21年度 耐震診断(耐震性有) 平成22年度 大規模改造設計 平成23年度 大規模改造工事 【大規模改造工事】 鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積 1,250㎡ 校舎内部(天井、床、建具類)、校舎外部(屋上防水、外壁塗装)電気設備及び機械設備の改修工事等	136,293
生月小学校校舎耐震改修事業 (教育総務課) 【事項別明細書308頁】	【平成22年度繰越明許費】 児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を行った。 平成20年度 耐震診断 平成21年度 耐震補強設計 平成22年度 耐震補強工事 平成23年度 耐震補強工事 【耐震補強工事】 鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積3,414㎡ 補強箇所18箇所 補強に伴う外壁塗装及びアルミサッシ改修	69,614
子ども議会開催事業 (学校教育課) 【事項別明細書312頁】	中学生(市内9校×2人)を「子ども議員」として、市議会を疑似体験する場を設定し、中学生の視点から将来の平戸市に思いを巡らせ、「魅力ある平戸市」を創るための提言を行った。 市は、この提言を検証し、これからの施策への反映を検討した。	111

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,400		1,162	本年度は、耐震補強及び大規模改造工事(平成24年度繰越)に先立ち、実施設計を行った。
43,237	88,300		4,756	この事業を行ったことで、児童の安全性の確保及び教育環境の整備が図られた。
40,294	27,800		1,520	この事業を行ったことで、児童の安全性の確保及び教育環境の整備が図られた。
			111	この事業を行ったことで、生徒は身近な問題から平戸市全体の問題まで、故郷平戸市を見直すことができ、また、提案された内容をいくつか市の施策に反映させた。

事業名	事業内容	事業費
平戸市算数・数学 検定事業 (学校教育課) 【事項別明細書 312 頁】	検定の合格を目指し学力の向上及び家庭と連携し継続的に取り組むことで家庭学習の習慣化を図るため、平戸市中学校教育研究会を中心に検定を行った。 また、保護者への呼びかけを通して親子で計算に親しむ環境をつくった。 年2回開催	106
情報教育環境整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 312 頁】	児童生徒の情報化時代に対応できる能力を養うと共に、効果的効率的な教育の推進を図るため、児童生徒及び教職員等用のパソコンの整備を行った。 児童生徒用 46 台 (入替) 平戸中 37 台、野子小中 9 台 学校事務職員用 27 台 (入替) 緊急時対応用 7 台 (導入)	5,480
外国語指導助手 招致事業 (学校教育課) 【事項別明細書 312 頁】 【事項別明細書 314 頁】	児童生徒が生きた英語に慣れ親しみながら、英語力の向上並びに国際感覚の充実を図るため、外国語指導助手を招致し、全小中学校に指導を行った。 ALT (Assistant Language Teacher) 5 人 国籍：オーストラリア 5 人	24,062
適応指導教室運営事業 (学校教育課) 【事項別明細書 314 頁】	不登校児童生徒の学校復帰及び学校行事への参加促進並びに学習の援助を図るため、適応指導教室を設置した。併せて、指導員を配置し、通級者へ個別の指導や家庭訪問を行った。 平成 23 年度 中学 3 年生 6 人 中学 2 年生 1 人	3,185
心の教室運営事業 (学校教育課) 【事項別明細書 316 頁】	心の問題、不登校問題等の発生を未然に防ぎ、心にゆとりを持てるような環境整備を図るため、全中学校を対象に不定期に相談員が訪れ、生徒の悩み、不安、ストレスに対し、気軽にカウンセリングを行った。 相談件数 98 件	1,270

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			106	この事業を行ったことで、生徒の関心も高まり、学力の向上及び家庭学習の習慣化が図られた。
			5,480	この事業を行ったことで、児童生徒の情報化時代に対応できる能力の養成と効果的効率的な教育の推進が図られた。
	8,200	110	15,752	この事業を行ったことで、児童生徒一人ひとりが意欲を持って学習に参加できており、英語力の向上並びに国際感覚の充実が図られた。
		1,581	1,604	この事業を行ったことで、子どもたちの心のよりどころとして、効果的な学習指導及び精神的ケアが十分に機能し、中学3年生が卒業式に参加し、高校入試を受験、進学することができた。
			1,270	心この事業を行ったことで、の問題、不登校問題等の発生を未然に防ぐことができた。

事業名	事業内容	事業費
平戸中学校校舎増改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 316 頁】	生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、老朽化等により授業に支障をきたしている校舎について、5カ年計画の増改築事業を策定し、改築工事を着工している。 平成 21 年度 耐力度調査 平成 22 年度 地質調査、実施設計、プール解体工事 平成 23 年度 プール解体工事、本校舎建設工事 (建設工事の一部は平成 24 年度に繰越) 平成 24 年度 本校舎建設工事、既存校舎解体工事、グラウンド整備工事 平成 25 年度 グラウンド整備工事 【本校舎建設工事】 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 3,930 m ² 事業費 115,632 千円	115,632
	【平成 22 年度繰越明許費】 【プール解体工事】 事業費 6,390 千円	6,390
生月中学校校舎耐震改修事業 (教育総務課) 【事項別明細書 316 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を行った。 平成 20 年度 耐震診断 平成 21 年度 耐震補強設計 平成 23 年度 耐震補強工事 【耐震補強工事】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 4,636 m ² 補強箇所 45 箇所 補強に伴う外壁塗装及びアルミサッシ改修	151,972
幼稚園就園奨励事業 (学校教育課) 【事項別明細書 318 頁】	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減を図るため、私立幼稚園の保育料等を減額又は免除し、公立幼稚園との保護者負担の格差是正を行った。 私立幼稚園就園奨励費補助金 4 園 (56 人) 5,987 千円	6,827

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
54,461	58,200		2,971	本年度は、平成 22 年度から繰り越しのプール解体工事の実施及び本校舎建設工事に着工しており、工期については、平成 23 年 11 月 15 日より平成 24 年 11 月 30 日竣工予定である。
	6,000		390	
76,023	72,100		3,849	この事業を行ったことで、生徒の安全性の確保及び教育環境の整備が図られた。
1,429			5,398	この事業を行ったことで、私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減が図られた。

事業名	事業内容	事業費
生涯学習推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 320 頁】	<p>行政と市民の協働によるまちづくりを推進するため、市民自らが企画・立案・運営まで一貫して行う公募型の生涯学習講演会を開催したほか、生涯学習指導ボランティア育成講座ではパソコン指導者養成講座を開催し、ボランティアを育成するなど、まちづくりに向けた市民参加のための学習を推進した。</p> <p>また、生涯学習だより「まなぶ君」を情報提供と啓発の場とするとともに、まちづくり出前講座における市民編のPRや生涯学習パスポート制度、生涯学習まちづくり表彰などを通じて市民の生涯学習を評価し、その成果を生かす機会を拡充した。</p> <p>生涯学習講演会 2回 出前講座 479回 生涯学習指導ボランティア養成講座 1回 生涯学習だよりまなぶ君発行 4回 生涯学習推進会議 2回 生涯学習視察研修 1回</p>	2,284
少年の主張大会 開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	<p>平戸市内の全小中学校から 26 名の児童・生徒が参加した。</p> <p>開催日：平成 23 年 6 月 18 日（土） 場 所：平戸文化センター 来場者：約 350 名</p>	136
青少年健全育成 事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	<p>明日を担う青少年を、心身ともに健全でたくましく育てるため、各地域の青少年健全育成活動に助成を行った。</p> <p>平戸地区（12 校区） 911 千円 田平地区 300 千円 生月地区 500 千円 大島地区 120 千円</p>	1,864
自治公民館整備 事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】 【事項別明細書 326 頁】	<p>地域の生涯学習の拠点施設である地区公民館の整備を図るとともに、自治活動やコミュニティの醸成を図るため、地区公民館の改修、補修の補助を行った。</p> <p>地区公民館改修等 平戸地区 明の川内 137 千円 山野白石 2,250 千円 紐差第 2 940 千円 迎紐差 2,009 千円 木場 701 千円 田崎 2,099 千円 宝亀第 3 2,801 千円 野子 632 千円 田平地区 釜田 1,250 千円 福崎 150 千円</p>	12,969

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			2,284	<p>市民自らが学習の機会を作り、活動し、成果を活用する生涯学習のまちづくりに向けて、さまざまな企画が進み、市民の学習意欲の喚起につなげることができた。特に出前講座市民編が回数と参加者が増え認知されつつある状況である。また、生涯学習だより「まなぶ君」によって生涯学習活動全般や、拠点となる各公民館の情報を全市的に発信することができた。</p> <p>参加者数 H23 H22 生涯学習講演会 470人 410人 出前講座 17,885人 20,667人 (うち市民編 1,155人 980人)</p>
			136	<p>社会問題や家庭での出来事などに対し、自分の思いや自分が果たすべき役割を堂々と主張し、来場者に感銘を与えた。また、社会や地域の問題に接し、問題解決を考えることで、自らも社会の一員であることを自覚し、社会に対する意識の向上や健全な心を育んだ。</p>
			1,864	<p>本事業を通して、家庭・学校・地域が連携し、青少年の健全育成や社会環境の浄化、非行防止などに努めるとともに、家庭や地域の教育力の向上を図ることができた。</p>
		3,205	9,764	<p>地域住民のコミュニティの促進や生涯学習活動を推進するための環境が整った。</p>

事業名	事業内容	事業費																																										
公民館講座開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 326頁】	<p>①公民館講座開催事業 2,214千円</p> <p>学習の場を市民に提供するため、各公民館において、女性、高齢者、成人、青年、少年等を対象に、各種事業講座、教室を開催した。また、スポーツ面においては、地域間の親睦と健康増進やスポーツの普及を図るため、軽スポーツ、新スポーツの教室を開催した。</p> <p>主催講座数 延べ受講者数</p> <table border="1"> <tr> <td>北部公民館</td> <td>20講座</td> <td>1,161人</td> </tr> <tr> <td>中部公民館</td> <td>10講座</td> <td>1,077人</td> </tr> <tr> <td>南部公民館</td> <td>11講座</td> <td>790人</td> </tr> <tr> <td>生月町中央公民館</td> <td>6講座</td> <td>1,660人</td> </tr> <tr> <td>田平町中央公民館</td> <td>12講座</td> <td>1,657人</td> </tr> <tr> <td>大島村公民館</td> <td>2講座</td> <td>197人</td> </tr> </table> <p>②公民館大会開催事業 300千円</p> <p>これまで不安のない社会づくりの努力を積み重ね、多くの便利さと豊かさを手に入れたが、その結果、新たな不安が見えてきた。 「ひと(HITO)響きあう宝島」実現のため、歴史の舵を今一度見つめ直す機会とし、平戸市公民館大会を開催した。 開催日：平成24年2月19日(日) 場 所：平戸市離島開発総合センター 講 演：小関 哲 氏 パネルフォーラム：町田 雅之 氏 他3名 参加者：304名</p> <p>③北部公民館まつり開催事業 190千円</p> <p>地域住民の文化振興と生涯学習活動を推進するため、北部公民館に關係する団体が一堂に集まり、日頃の学習成果の発表や作品の展示を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,400人</td> <td>学習成果発表</td> <td>12団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>7団体</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>④越南まつり開催事業(中部公民館) 170千円</p> <p>学びあう仲間が集い、発表と交流により親睦を深め、活動のより一層の充実と生涯学習の推進及び明るく健康なひとづくり、まちづくりを進めるため越南まつりを開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,000人</td> <td>学習成果発表</td> <td>20団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>5団体、個人12人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤奥ひらど文化祭開催事業(南部公民館) 170千円</p> <p>日頃の学習成果を発表し、研鑽を深めるとともに仲間づくりや文化の向上を目的に、奥ひらど文化祭を開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>894人</td> <td>学習成果発表</td> <td>19団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示</td> <td>17団体</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	北部公民館	20講座	1,161人	中部公民館	10講座	1,077人	南部公民館	11講座	790人	生月町中央公民館	6講座	1,660人	田平町中央公民館	12講座	1,657人	大島村公民館	2講座	197人	参加者数	1,400人	学習成果発表	12団体	作品展示コーナー	7団体			参加者数	1,000人	学習成果発表	20団体	作品展示コーナー	5団体、個人12人			参加者数	894人	学習成果発表	19団体	作品展示	17団体			3,044
北部公民館	20講座	1,161人																																										
中部公民館	10講座	1,077人																																										
南部公民館	11講座	790人																																										
生月町中央公民館	6講座	1,660人																																										
田平町中央公民館	12講座	1,657人																																										
大島村公民館	2講座	197人																																										
参加者数	1,400人	学習成果発表	12団体																																									
作品展示コーナー	7団体																																											
参加者数	1,000人	学習成果発表	20団体																																									
作品展示コーナー	5団体、個人12人																																											
参加者数	894人	学習成果発表	19団体																																									
作品展示	17団体																																											

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			3,044	<p>①この事業を行ったことにより、市民の学習意欲の高揚と学習情報の発信ができた。また、時代に即応した講座を開催し、市民のニーズにあった学習機会を提供することで、生涯学習への意識が高揚した。</p> <p>②この事業が“ふるさと平戸”の宝を再度見つめなおす機会となり、今後も公民館を拠点として、豊かなまちづくりを展開していくうえでの大切なものを考えることができた大会となった。</p> <p>③この事業を行ったことにより、関係団体相互の親睦と連携が深まり、地区住民への文化振興と生涯学習の推進に貢献した。また、ふれあい広場では、もちつきや出店などを通して、参加者や地域住民相互の交流ができた。</p> <p>④地域住民の団体やサークルによる発表及び作品の展示を通して、公民館利用団体や地域住民との親睦が深まり、公民館活動の一層の充実が図られた。また、呈茶、実演・体験コーナー、バザーコーナー、ちゃんこコーナーなどを通して、地域住民の交流と世代間のふれあいの場を提供した。</p> <p>⑤学習グループや公民館関係団体の発表や作品展示を通して日頃から学んだ生涯学習の成果を発表し、グループ間の親睦交流や生涯学習の相互研鑽ができた。また、地域住民に対し、芸術文化に親しむ機会を提供した。</p>

事業名	事業内容	事業費
公民館施設整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 各公民館施設の整備を行った。 ふれあいセンター 中央監視装置取替ほか 田平町民センター 消防設備等改修事業ほか 生月町中央公民館 消防設備等改修事業ほか 南部公民館 展示パネル導入ほか	4,879
読書推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】	①子ども読書の週間記念事業 (両館主催) 子ども読書週間の期間、おはなし会 (紐差小、津吉小、永田記念図書館) を開催した。 ②図書館フェスティバル (両館主催) 子どもから大人までのイベントを開催し、読書活動推進を実施した。 開催日：平成 23 年 10 月 29 日 (土) 場 所：平戸文化センター 参加者：600 名 ・絵本作家と布バックにおえかき (ワークショップ) ・講演会「図書館の可能性」鳥取県立図書館支援協力課長ほか ・アジアの国の文化体験 (九州国立博物館ワークショップ) ・廃棄本の配布など ③読書感想発表大会 (両館主催) 本大会の開催に当り、多数の応募を得て子どもたちの読書活動への意欲を高めるとともに、図書館、学校や家庭における読書活動推進の活性化を図った。 開催日：平成 23 年 11 月 27 日 (日) 場所：ふれあいセンター 参加者：200 名 ④絵本作家講演会 (両館主催) 絵本作家 長谷川義史さんを講師に迎え、自作の本の読み聞かせや、本の創作時のエピソードなどの講演会を実施し、読書推進を図った。 開催日：平成 24 年 1 月 28 日 (土) 場 所：北部公民館 大ホール 参加者：参加者：200 名 ⑤図書館モニターツアー 県内の先進的な図書館を市民と共に見学し、図書館運営の参考にした。 開催日：平成 24 年 3 月 18 日 (日) 場 所：諫早市立たらみ図書館、佐々町立図書館 参加者：19 名	604

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,789			1,090	施設の改修整備の実施により、施設使用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られた。
		200	404	読書感想発表大会などの読書推進事業を開催し、児童生徒を中心に読書に親しむ機会を進め、親しみのある図書館づくりと図書館の利用の拡大が図られた。(出展数 感想文 319 点、感想画 1,061 点) また、図書館フェスティバル、図書館モニターツアー、絵本作家講演会など読書推進活動を行い、絵本の大切さ、読書の楽しみ方やその役割について、子どもから大人まで幅広く理解を深めることができた。また、定期的に読み聞かせやビデオ上映会を行い、図書館の利用促進、本にふれる機会を提供した。

事業名	事業内容	事業費
図書購入事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】	市内の図書館(室)に季節や話題の本など定期的に図書購入を行い、利用者サービスを行った。(一般書・児童書・雑誌等) ・平戸図書館 2,172 冊 ・永田記念図書館 1,808 冊 ・南部公民館図書室 447 冊 ・生月中央公民館図書室 603 冊 ・田平中央公民館図書室 481 冊 ・大島村公民館図書室 299 冊 合計 5,810 冊	8,524
生月図書室整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】 【事項別明細書 330 頁】	生月町中央公民館にある生月図書室を施設の老朽化ならびに庁舎の有効活用のため、生月支所1階に移転し、改修工事を行い、新しい書架等の整備を行った。 改修内容 ・カーペット張替え ・紫外線カットフィルム貼 ・多目的トイレと給湯室の入れ替え 備品購入 ・事務室用パーテーション ・書架一式 ・パソコン一式(事務用2台、閲覧用3台、プリンター1台) ・ブックポスト 図書購入 4,331 冊	33,081
社会教育施設整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 332 頁】 【事項別明細書 334 頁】	【平成22年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 各社会教育施設の整備を行った。 生月町開発総合センター 掃除機等導入 地域交流センター 消防設備等改修ほか 大島村離島開発総合センター 空調設備導入ほか ふれあい会館 消防設備等改修ほか	1,300
伝統的建造物群保存地区保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 334 頁】	平成23年度平戸市大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業は直接事業1棟、間接補助事業で町家4棟の保存修理を行った。(うち1棟は22年度から継続)	38,077
伝統的建造物群保存地区保存整備推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 334 頁】	保存計画に基づき大島村神浦伝統的建造物群としての町並み保存整備推進を行った。保存地区内の未調査建築物などの学術調査及び、痕跡調査を実施し継続的に町家の修理・修景を推進した。 修理希望調査の実施 対象 184 人 学術・痕跡調査 (5件)	601

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,500	30	994	図書館(室)の利用者層や地域性を重視し、季節や話題の本など毎月、一般書・児童書、雑誌、新聞など資料提供を行った。また、図書システムで資料を管理しているので、利用頻度に応じて、本の購入が可能のため、利用者の要望を重視した、サービス提供をした。
21,246		11,628	207	生月支所に移設し改修を行うことにより、以前の約 60 ㎡から 161 ㎡になり、明るく利用しやすい図書室に生まれ変わった。これにより、多くの来館者が見込まれ、読書への関心が高まり、貸出冊数の増加につながる。また、読み聞かせを行うスペースが出来たため、子どもたちが本に親しむ機会が増え、読書への習慣づけが将来にわたって大きな効果を生むことが期待される。
1,010			290	施設の改修整備の実施により、施設使用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られた。
25,694			12,383	町家の修理については20年度からこれまでに、12棟が完了。徐々にではあるが、町家の整備が進みつつある。 間接事業 20年度 1棟 21年度 4棟 22年度 4棟(うち、1棟は21年度継続事業) 23年度 4棟(うち、1棟は22年度継続事業) 直接事業 公開活用施設 1棟 (20、21年度外観修理、23年度内装修理)
			601	学術調査・痕跡調査により、調査未実施家屋の建築年代と当時の建築構造が解明された。 修理希望調査結果 24年度修理希望件数7件、25年度以降11件 学術調査結果 建築年代推定 大正期2棟 昭和期3棟

事業名	事業内容	事業費
指定文化財維持管理事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 334 頁】 【事項別明細書 336 頁】	指定文化財の保存のため管理・整備・改修など行った。 ・史跡維持管理事業 146 千円 ・保存整備補助事業(5 件) 207 千円 ・保存管理補助事業(5 件) 115 千円 ・ハクモクレン整備事業 840 千円 ・大島盆踊り開催委託 1,500 千円 ・平戸黒子島倒木除去作業委託 854 千円 ・無形民俗文化財団体運営費補助 530 千円 ・事務費 32 千円	4,224
埋蔵文化財発掘調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	各種開発及び範囲確認に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。また、里田原遺跡出土の木製品の保存処理を行った。 ・発掘調査事業 3,089 千円 (下大垣遺跡・堂の元遺跡・入口遺跡・梅崎遺跡・根獅子遺跡・日之嶽城跡・浦小川遺跡・亀岡城跡・丸尾山遺跡・堂山遺跡) ・出土遺物保存処理事業 693 千円 ・自然科学分析 217 千円	3,999
重要文化的景観保護事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	平成 22 年度、国の重要文化的景観に選定となった「平戸島の文化的景観」の適切な保存活用を図るため、調査研究、有識者による委員会の開催、整備活用計画の策定検討を行った。また、選定地区の便益施設整備として休憩所を 2 箇所設置した。 ・調査研究、委員会開催 4,431 千円 ・整備活用計画策定委託 6,167 千円 ・便益施設整備事業 2,875 千円 ・事務事業 103 千円	13,576
県指定文化財保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」の座敷の改修事業、県指定有形文化財「旧松浦家住宅」及び「雄香寺開山堂」の補修、同「紐差教会」の消防設備設置事業に対する補助を行った。 ・県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」 3,000 千円 ・県指定有形文化財「旧松浦家住宅」 776 千円 ・県指定有形文化財「雄香寺開山堂」 889 千円 ・県指定有形文化財「紐差教会」消防設備設置事 420 千円	5,085
和蘭商館関連施設発掘調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】 【事項別明細書 338 頁】	和蘭商館関連施設があったとされる、田平町横島で発掘調査を行い、リンパーンと呼ばれる航海用ロープ製作場のものと想定される柱穴痕や、壁基礎の遺構を検出した。 また、建築材と考えられる鉄釘も検出することが出来た。	3,201

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
420			3,804	指定文化財の維持・管理や修理、伝承や後継者育成等に助成を行うことにより、所有者や管理者・保存会の負担を軽減し、貴重な文化財の保存・保護・継承をうながし、指定文化財としてふさわしい体裁等の保全、伝承活動の活性化を図ることができた。
2,200			1,799	発掘調査により中世～近世にかけての遺物・遺構(丸尾山・堂山遺跡)を検出することができ、キリシタン集落の中で、近世史を検証する上で、新たな資料を追加することができた。平戸城の調査では富江橋付近の石垣が確認された。 里田原遺跡から出土していた、木製品を保存処理することにより、後世に伝えることができるようになった。
9,503			4,073	調査研究及び文化的景観推進委員会の実施により重要文化的景観の保護保存、活用方針を定める整備活用計画の骨子及び景観データベースの整理を行うことができた。また、便益施設整備として、春日、宝亀地区に休憩所を設置し、地元での効果的な利活用が図られている。
			5,085	益富家居宅跡の座敷や旧松浦家住宅の千歳閣・九阜斎・玄閣、雄香寺開山堂は雨漏、壁・柱材が傷んでいたが、文化財としての補修が行われた。また、紐差教会は未設置だった火災報知設備が整備された。それぞれ保存継承できるようになった。
1,760			1,441	国史跡に追加指定することにより遺跡を保存保護し、将来的に崎方町の主体部と併せて公開活用していくための基礎資料を得ることができた。

事業名	事業内容	事業費
和蘭商館復元整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】	史跡地内公有地について、砂岩貼りや土系舗装による整備を実施した。整備にあたっては、1637 年築造倉庫の遺構を玉石にて表示するなど、復元専門委員会周辺整備部会の指導の下、史跡地に相応しい整備を目指した。 また、史跡地内県道の歩道整備や 1639 年築造倉庫内の展示物設置工事を併せて実施した。	171,885
和蘭商館跡等史跡周辺環境整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 和蘭商館跡をはじめとする市内の史跡地周辺を、草刈や樹木の伐採により環境整備した。	5,281
和蘭商館資料等整理調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 臨時職員 2 名を雇用し、平戸オランダ商館に関する史資料の整理、調査、保存等を行った。	3,414
世界遺産登録推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」世界遺産登録を目指し、文化庁、県、関係市町との連絡調整を行うとともに、県学術会議など各種会議への出席、継続した調査研究など登録作業を推進した。また、県を主体とした周知啓発グッズ作成などの広報活動を行った。 ・世界遺産登録推進負担金 1,262 千円 ・世界遺産登録に係る調査事業 4,147 千円 (賃金含む) ・事務事業 5,016 千円 (〃)	10,425
世界遺産アクションプラン策定事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】 【事項別明細書 340 頁】	世界遺産登録に必要な包括的保存管理計画及び県版アクションプラン(ともに県作成)の一部となる市アクションプランの策定を行った。 ・アクションプラン策定委託 4,095 千円 ・事務事業 1,905 千円	6,000
文化振興事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 340 頁】 【事項別明細書 342 頁】	市民の文化活動の振興を図るため、文化協会、保存会、全国・九州大会出場者への補助等を行った。市内の小・中・高校生・一般の参加による青少年音楽会、各地区文化協会と連携した文化まつり、市民公募作品による市美術展を開催した。 ・がわっぱ祭開催委託 150 千円 ・文化協会補助金 1,192 千円 ・未来創造文化振興事業補助金 361 千円 ・田平権現太鼓保存会補助金(用具修理等) 1,070 千円 ・事務事業 135 千円 ・青少年音楽会 175 千円 ・文化まつり 698 千円	3,781

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
44,382	94,700	26,136	6,667	史跡地内公有地を整備することにより、一般市民や観光客が和蘭商館跡に訪訪するようになり、歴史を生かしたまちづくりに大きく寄与することができた。 また、史跡地内県道について、歩車道分離のための歩道整備を実施し、来場者の交通安全を図ることができた。
5,281				史跡地の周辺が整備されることにより、市民が郷土の歴史に触れる機会が増え、歴史を生かしたまちづくりの役割を担うことが出来た。 新規雇用失業者数 4 名
3,399		15		史資料の整理、出土品の実測・トレースなどを行い、開館後の展示、学術研究発表の基礎資料の充実を図ることができた。 新規雇用失業者数 5 名
		39	10,386	構成資産の調査研究結果を県世界遺産学術会議及び、国内外の有識者を招聘し行った国際会議(県開催)の場において示したことにより、推薦書(原案)提出のための資産価値の熟度を高めることができた。 また、各種イベント時における周知啓発グッズの配布により登録推進の広報ができた。
3,000			3,000	世界遺産登録作業の一つである市町世界遺産アクションプラン作成が完了し、関係市町とともに登録に向けた体制づくりを万全にすることができた。
		1,361	2,420	市民文化の振興を図るため、市民の積極的な参加と文化団体への助成をとおして文化活動の活性化と市民の積極的な参加を促し、潤いとゆとりをもたらす文化の振興に努めた。 また、青少年音楽会・文化まつり・市美術展を開催することにより、市民の芸術文化の向上、文化活動の大切さと地域への愛着を持つ人材の育成に努めた。 ・がわっぱ祭 参加者 200 人 ・全国高校ダンスドリル、全国少女少女囲碁大会出場補助 ・青少年音楽会 入場者数 500 人 出演団体 9 団体 ・文化まつり(4会場)入場者数 3,423 人 ・市美術展(4会場) 入場者数 1,489 人 出品点数 710 点

事業名	事業内容	事業費
民俗芸能祭開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書342頁】	国指定重要無形民俗文化財「平戸神楽」、県指定無形民俗文化財「大島の須古踊」「田助ハイヤ節」、「宮の町獅子舞」、「堺目ヨホー太鼓」、佐賀県指定重要無形民俗文化財「音成の面浮立」の出演による民俗芸能祭を開催した。	1,198
平戸ジャンガラフェスティバル開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書342頁】	国指定無形民俗文化財「平戸のジャンガラ」9団体、県指定無形民俗文化財「大島のジャンガラ」1団体のジャンガラ保存会による一般公開を行った。	1,843
文化公演開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書342頁】	宝くじまちの音楽会【岩崎宏美 with 宗次郎〜心のふるさとを求めて〜】、次代を担う子どもの文化芸術体験事業【東京シティバレエ団】、平戸オランダ商館開館記念コンサート【OOMURA室内合奏団】、ながさき音楽祭2011【木管アンサンブル・ポエ】、海上自衛隊佐世保音楽隊コンサートを開催した。	2,420
平戸オランダ商館企画展開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書344頁】	平戸オランダ商館の開館に併せて記念企画展を開催した。また、開館前に、九州国立博物館にて商館開館記念と題した展示を開催し、開館の周知に努めた。 ・九博トピック展 平戸―海外に開かれた港市― 7/6～8/15 ・企画展1 平戸・オランダ―過去・現在・未来へ― 9/20～10/23 ・企画展2 つづられた商館の記憶 ―平戸と出島― 11/12～12/18	3,467
平戸オランダ商館開館記念事業 (文化遺産課) 【事項別明細書344頁】	長い検討の過程で、日本のみならずオランダ政府やオランダの建築士、歴史学、考古学等の専門家の協力を得て復元に至った平戸オランダ商館を、平戸の文化財のシンボル、また日蘭交流の新たなシンボルとして世界にアピールするために開館記念式典を9月17日に開催した。 開館記念式典、内覧会、仮装パレード、記念レセプション、記念セレモニー等を実施した。	13,201

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,198	広く市民に公開することにより、地域の優れた伝統文化を再認識する機会を提供することができた。また、各保存会間の交流を促すことにより、民俗芸能の保存・伝承活動における意見交換を図ることができた。 ・出演団体 6団体 出演者数 131人 ・入場者 522人
			1,843	「ジャンガラの地区ごとに衣装・道具・芸態の違いを始めて見ることが出来た」、「平戸に住んで50年以上経過するが、平戸地区以外のジャンガラを知らなかった」など、市民を中心に多くの意見が寄せられ、ジャンガラの周知並びに保存・継承への理解と認識を深めることができた。 ・観覧者数 500人
		1,091	1,329	各種コンサートを開催することにより、本物の芸術に触れる機会を提供することができた。 ・宝くじまちの音楽会 1,400人 ・次代を担う子どもの文化芸術体験事業 300人 ・平戸オランダ商館開館記念コンサート 130人 ・ながさき音楽祭2011 183人 ・海上自衛隊佐世保音楽隊コンサート 1,500人
			3,467	開館記念の企画展の開催により、集客の向上を図るとともに、商館の持つ歴史上の特色を広く紹介することができた。また、九州国立博物館の協力で、常設展示において平戸オランダ商館開館記念の展示を開催し、九博の来館者に対して広く商館の開館をPRすることができた。
3,343			9,858	秋篠宮同妃両殿下のお成りをはじめ、駐日オランダ王国特命全権大使や長崎県知事など多数にご来場いただくことができ、連休を利用した「オランダWEEK」と併せて、国際観光都市平戸を内外に広くアピールすることが出来た。 また、「記念レセプション」において、市民提案事業にて考案された「オランダレシビ」を中心とした料理を提供するなど、行政と市民が一体となって事業を展開することが出来た。

事業名	事業内容	事業費
平戸オランダ商館 プロモーション事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 344 頁】	新聞や、テレビ、ラジオに広告を掲出したり、旅行エージェントへのセールスや旅行商品の造成等を行なうことにより、オランダ商館への来館者数が増加するよう事業を展開し、多くの来館者を得ることができた。	12,643
平戸オランダ商館 シャトルバス運行 事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 346 頁】	平戸オランダ商館への来館者の駐車場が不足することから、来館者に文化センター駐車場や市役所駐車場等も利用してもらうこととし、移動のためにシャトルバスを運行した。 【コース】 文化センター → レストハウス → 市役所第 2 駐車場 → 市役所駐車場 → 交流広場 土日祝限定で無料	1,393
平戸オランダ商館 交通誘導整理事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 346 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 平戸オランダ商館の開館に合わせて、平戸港交流広場からオランダ商館周辺に交通誘導整理員を配置し、来館者の安全確保に努めた。	16,771
文化施設整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 348 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 田助ハヤ節伝承館の雨水排水工事、島の館の空調機器及び浄化槽の部品修繕、里田原歴史民俗資料館の銅板屋根改修工事、同浄化槽上部舗装改修・空調機器修繕等を行った。 ・田助ハヤ節伝承館の雨水排水工事 483 千円 ・島の館空調機器部品交換修繕 126 千円 ・島の館浄化槽部品修繕 130 千円 ・里田原資料館銅板屋根改修工事 8,889 千円 ・里田原資料館浄化槽上部舗装改修 199 千円 ・里田原資料館空調機器修繕 117 千円	9,944
市民体育祭開催 事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】	市民各層のスポーツ振興、普及発展及び競技力の向上を図り、併せて市民の健康と体力の保持増進を目指し市民体育祭を開催した。 競技部大会 (開催日) 9月4日～11月6日 (競技数) 19 競技 (参加者) 2,258 人 健康まつり (開催日) 10月9日 (開催地区) 3 地区(北部、中部、南部) (参加者数) 1,376 人 村民運動会 (開催日) 10月9日 (開催地区) 大島地区 (参加者数) 500 人	1,258

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			12,643	平戸オランダ商館の開館に併せて、各種プロモーションを実施することにより、平戸オランダ商館を全国にアピールすることが出来、多くの来館者を得ることができた。 平成 23 年度来館者目標数 64,000 人 〃 実績数 68,388 人
			1,393	開館当初は一定の利用があり、来館者の利便性を図ることができたが、平成 24 年に至ってからは空席が目立つようになり、利用者が減ったため、3月までで運行を中止することとした。
			16,771	平日 5 名、土日祝日 9 名の体制で交通誘導整理員を配置し、来館者の安全確保と、商館への誘導など利便性の向上を図ることができた。併せて、緊急雇用により雇用の創出につながった。 新規雇用失業者数 18 名
			7,722	田助ハヤ節伝承館では雨水排水工事により、隣接の田助小グラウンドのコンディションがよくなった。 島の館の空調や浄化槽の修繕ができ、来館者のアメニティーが確保された。 里田原歴史民俗資料館は銅板屋根改修工事により、雨漏りが止まり、外観を整えることができた。また、浄化槽上部の舗装や空調の修繕等、施設の整備ができた。
			1,258	体育協会加盟団体による競技部大会は、その競技力向上と県民体育大会出場選手等の選考も兼ねて開催した。 市内 4 地区で開催した「健康まつり」や「村民運動会」により、市民の融和と健康増進、生涯スポーツの推進に寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
少年自然体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】	半元キャンプ場において、自然観察・シーカヤック・キャンプファイヤーや漁師体験などの野外体験キャンプを行った。 開催日：7月21日(木)～22日(金) 場 所：半元キャンプ場 参加者：38名	90
サバイバル体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】	平戸市野子町高島において、市内小学校4年生～6年生を対象に2泊3日の野外体験学習を行った。 開催日：1回目 8月1日(月)～3日(水) 2回目 8月10日(水)～12日(金) 場 所：旧野子小中学校高島分校 参加者：44名	535
スポーツ振興事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】 【事項別明細書 350 頁】	①平戸ソーダウォーク大会開催補助金 3,200千円 開催日：9月24日～9月25日 開催地区：生月地区(1日目)、平戸・田平地区(2日目) 参加者数：レギュラーコース 延べ2,698人 エコウォークコース延べ 80人 ②社会体育振興事業補助金 3,926千円 地域スポーツの振興を図るために、生涯スポーツ団体等に補助を行った。 体育振興会 6団体 3,926千円 ③スポーツ振興事業補助金 3,224千円 市民自らが健康で活力ある生活を目指して、スポーツの振興と競技力の向上を図るため、関係団体及び事業に対して補助を行った。 競技大会参加(九州大会等への参加) 16件 1,434千円 市長特認事業 1件 250千円 県民体育大会参加事業 2件 1,540千円 ④スポーツ少年団活動事業補助金 725千円 少年スポーツの振興を通して、青少年の健全育成に資する活動に補助を行った。 団体育成事業 35件 635千円 スポーツ交流事業 3件 90千円 ⑤体育協会補助金 1,300千円 本市における社会体育の普及・振興及び競技力向上を図るため、体育協会に対して助成した。 競技部強化費 19団体	16,959

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			90	自然の中での生物学習、野外炊飯などのキャンプ活動を体験し、自然と接することやリーダーシップなど団体行動での必要な知識を体験させることができた。また、シーカヤックやタベのつどいを通して地域間の子どもの交流ができた。2日目の漁師体験では、定置網漁を体験することで、ふるさと平戸の漁業について学ぶことができた。
			535	離島という隔離した環境の中、市内から集まった子どもたちが共同生活により野外体験学習を行うことで、たくましい身体と精神の育成を図ることができた。
		5,528	11,431	① 市民を中心に誰でも気軽に参加できる歩くイベントを行い、健康増進と交流の場を提供し、地域の活性化を図ることができた。また、このイベントは市外に平戸市の魅力をアピールする絶好の機会であり、更なる地域発展につなげることができた。 ② 各地区の体育振興会及び団体による社会体育事業を通して、健康で活力ある地域づくりを図ることができた。 ③ 県代表として九州大会以上の大会に参加する競技団体等に対して、補助することにより、その競技力の向上とともに、市民スポーツ普及へつなげることができた。 有名選手の招聘やスポーツ教室の開催により、スポーツの振興と技術力の向上を図ることができた。 ④ 少年スポーツの競技力向上を目的に指導者に対し、正しい知識と技能を修得してもらうための研修会を行い、指導者が研修会に参加した団体に対し活動費を助成し、本市のスポーツの底辺拡大を図ることができた。 ⑤ 体育協会に活動補助を行い、各種団体の競技力の向上を図ることができた。 (県民体育大会成績) 優 勝：[団体]相撲(成年男) [個人]相撲(成年)、 [個人]水泳50M バタフライ(50歳以上男) 準優勝：[団体]サッカー(40歳以上) [団体]軟式野球(成年) [個人]空手(一般男子) [個人]相撲(成年) [個人]水泳(一般男子)

事業名	事業内容	事業費
スポーツ振興事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】 【事項別明細書 350 頁】	⑥平戸縦断駅伝大会開催事業 350 千円 第 42 回大会を開催するにあたり、体育協会に委託を行った。 開催日：1 月 15 日 (日) コース：宮の浦～平戸文化センター 42.1Km 7 区間 参加数：一般(フリー)の部 8 チーム 一般(市内)の部 8 チーム 高校の部 8 チーム ⑦県下一周駅伝大会参加補助金 230 千円 県下 42 区間を 3 日間で競う駅伝大会に、市陸上競技協会を中心とした平戸チームに助成を行った。	
第 69 回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 350 頁】	【総会・委員会等】 平成 23 年 7 月 20 日：平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会 平成 24 年 2 月 10 日：第 1 回常任委員会 平成 24 年 2 月：各 4 専門委員会 【先催地の視察・調査】 平成 23 年 8 月 20～21 日：岐阜県郡上市 第 50 回全国教職員相撲選手権大会(兼第 67 回国民体育大会リハ大会) 平成 23 年 10 月 1～10 日：山口県山口市ほか 第 66 回国民体育大会(相撲、軟式野球競技) その他、第 66 回国民体育大会事後調査説明会、第 51 回全国教職員相撲選手権大会三者連絡調整会議 【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、市内イベントでのティッシュ配布等	974
第 69 回国民体育大会開催準備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 350 頁】 【事項別明細書 352 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 【総会・委員会等】 平成 23 年 7 月 20 日：平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会 平成 24 年 2 月 10 日：第 1 回常任委員会 平成 24 年 2 月：4 専門委員会 【先催地の調査】 第 66 回国民体育大会事後調査説明会(相撲競技) 【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、市内イベントでのティッシュ配布等	4,118

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
				3 位：[団体]サッカー(一般男子) [団体]バレーボール(一般女子) [個人]陸上(一般男子) [個人]水泳 50M 自由形(40 歳以上男子) 200M 個人メドレー(一般男子) [個人]相撲(成年) [個人]グラウンド・ゴルフ(一般男子) ⑥ 駅伝大会を開催したことにより、駅伝競技の普及と競技力向上、底辺拡大を図ることができた。 優勝：一般(フリー)の部：陸自大村 4 施大 一般(市内)の部：田平玄海クラブ 高校の部：松浦高校 A ⑦ 助成をしたことにより、平戸チームの経済的負担が軽減されるとともに、レースに専念することができた。 大会結果：総合 10 位(全 11 チーム中)
			974	平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会、第 1 回常任委員会及び 4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査(岐阜・山口)を行うことにより具体的な内容の把握が出来、今後の業務遂行に大いに参考となった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、イベントでのティッシュ配布により啓発活動に努めた。また、関係機関団体等との連絡調整を図り円滑な大会運営を期するため準備を行った。
4,105		13		平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会、第 1 回常任委員会及び 4 専門委員会を開催した。先催地の事後調査(山口県)を行うことにより具体的な内容の把握が出来、今後の業務遂行に大いに参考となった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、イベントでのティッシュ配布により啓発活動に努めた。また、関係機関団体等との連絡調整を図り円滑な大会運営を期するため準備を行った。併せて緊急雇用により雇用の創出に繋がった。 新規雇用失業者数 4 名

事業名	事業内容	事業費
全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 352 頁】	<p>【総会・委員会等】 平成 23 年 7 月 20 日：平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会 平成 24 年 2 月：4 専門委員会</p> <p>【先催地の視察・調査】 北東北総体相撲競技（抽選会）平成 23 年 7 月 6 日 北東北総体相撲競技 平成 23 年 7 月 29～31 日：青森県弘前市</p> <p>【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、ポスター募集</p> <p>【連絡調整会議等】 長崎県相撲連盟・平戸市相撲連盟との協議、高校生放送部の視察研修</p>	1,299
全国高等学校総合体育大会相撲競技選手強化育成事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 352 頁】	本市高校相撲部の選手強化のため、遠征合宿・交流合宿等に係る費用の補助を行った。	500
体育施設整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 352 頁】	<p>生月町勤労者体育センター整備事業 生月町勤労者体育センター（野球場）の改修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装工事（内野・外野芝生張替え） ・ウォーニングゾーン舗装 ・水道工事ほか 	67,181
	<p>赤坂野球場整備事業 赤坂野球場の改修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装工事（外野芝生張替え） ・ウォーニングゾーン舗装ほか 	53,299
【事項別明細書 356 頁】	<p>社会体育施設整備事業</p> <p>【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 各社会体育施設の整備を行った。</p> <p>総合運動公園 スポーツトラクター整備ほか 生月町勤労者体育センター 刈払機導入 B&G 海洋センター ドア改修ほか 田平町武道館 玄関ドア取替 南部市民屋内運動場 フットサルゴール等購入ほか</p>	25,616

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,299	平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会及び 4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査（青森県弘前市）を行うことにより具体的な施設面・競技運営面等、今後の業務遂行に参考となるものであった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、また、ポスター募集を行い啓発活動に努めた。関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の視察研修を行い大会開催へ万全を期すため準備を行った。
		500		遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手強化（技術力の向上）が図られた。
2,181	41,000	24,000		平成 26 年度開催の第 69 回国民体育大会軟式野球競技を実施するために施設改修整備等を行った。 また、その他の施設についても施設改修や備品整備を行い、スポーツの振興及び利用者の利便性及び安全性を確保し、地域スポーツの振興が図られた。
851	27,800	24,000	648	
10,611			15,005	

事業名	事業内容	事業費
給食共同調理場 設備整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 356 頁】	安全安心な給食を提供するため、老朽化した設備機器及び調理用機械器具の更新を行った。	6,977
学校給食設備整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 358 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 安全安心な給食を提供するため、老朽化した設備機器及び調理用機械器具の更新と新規導入を行った。	29,673

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			6,977	この事業を行ったことで、作業の効率化と衛生面が大幅に改善し、児童生徒等に安全安心でおいしい給食の提供を図ることができた。
23,046			6,627	この事業を行ったことで、安心で安定した業務遂行ができるようになったほか、高機能な調理機器により献立の充実を図ることができた。

【 11 款 災害復旧費 】

農地・漁港等並びに公共土木施設の機能回復及び保全、地域の安全性の向上及び経営の安定を図るため、平成22年7月の梅雨前線豪雨及び8月の台風4号、平成23年6月の梅雨前線豪雨、7月の梅雨前線豪雨及び8月の豪雨による農地及び農業用施設並びに漁港、道路・河川等の被災した箇所の災害復旧工事を実施した。

事業名	事業内容	事業費
農地等災害復旧事業 (農林課) 【事項別明細書358頁】 【事項別明細書360頁】	22年災(過年災) 農地 15箇所 13,843千円 農業用施設 2箇所 1,968千円 その他(単独事務費) 302千円	16,113
	23年災(現年災) 農地 6箇所 4,407千円 農業用施設 1箇所 15,198千円 その他(単独事務費) 3,108千円 査定設計委託 340箇所 45,616千円	68,329
	【平成22年度繰越明許費】 22年災(現年災) 農地 45箇所 42,143千円 農業用施設 18箇所 17,435千円 その他(単独事務費) 1,097千円	60,675
公共土木施設災害復旧事業 (建設課) 【事項別明細書362頁】	23年災(現年災) [補助災害] 道路 38箇所 63,730千円 河川 34箇所 81,314千円 その他(事務費) 756千円 [単独災害] 道路 46箇所 19,809千円 河川 1箇所 840千円 その他(測量委託、事務費) 5,483千円	171,932

【被災箇所数】

農地等災害復旧事業

平成23年度発生件数 農地 232箇所 農業用施設 130箇所 計 362箇所
平成22年度発生件数 農地 108箇所 農業用施設 45箇所 計 153箇所

公共土木施設災害復旧事業

河川 35箇所 道路 84箇所 計 119箇所

(単位:千円)

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
14,128	1,500	367	118	被災箇所の復旧工事を行ったことにより、農地等の機能が回復し、農地(国土)の保全、農業生産力の維持及び農業経営の安定化に寄与することができた。
27,109	17,700	174	23,346	
49,300	2,300	1,025	8,050	
92,608	53,192		26,132	風雨における災害箇所の復旧工事により、河川及び道路の機能が回復し、河川流域住民の安全が保たれ、道路の交通安全が確保された。

【 12 款 公債費 】

1 市債繰上償還

平成 19 年度から 21 年度までは、総人件費の削減等を内容とする財政健全化計画、または公営企業経営健全化計画を策定し、新規市債発行額を元金償還額以下に抑制し、市債残高を減らしていくとともに、年利 5%以上の公的資金（財政融資資金、簡保資金、公営公庫資金）に係る残債の積極的な繰上償還を行い、財政の健全化を図った。

平成 22 年度からは、健全な財政運営に資するため、民間資金（銀行引受資金）に係る市債繰上償還を実施している。平成 23 年度においては、公営住宅債の抑制と併せて繰上償還を行い、実質公債費比率の減少及び将来の地方債負担の軽減を図ることができた。

表 1 平成 23 年度繰上償還額及び利子影響額（一般会計）（単位：千円）

借入先	対象債利率*	繰上償還額	利子影響額
銀行引受資金	1.40%以上～1.80%未満	625,588	35,046

※借入れている銀行引受資金の最大利率は 1.79%

表 2 借入先別及び利率別現在高の状況（一般会計）（単位：千円）

借入先	利率別現在高						23年度末現在高
	1.5%以下	2.0%以下	3.0%以下	4.0%以下	5.0%以下	5.5%以下	
財政融資資金	12,527,771	5,717,617	723,663	619,656	215,037	31,725	19,835,469
旧郵政公社資金	847,694	638,112	166,231	158,396	153,257	0	1,963,690
地方公共団体 金融機構資金	919,341	1,260,676	243,200	201,498	137,628	0	2,762,343
国の予算貸付等	0	0	0	0	0	0	0
銀行引受資金	3,891,199	0	0	0	0	0	3,891,199
その他の金融 機関引受資金	0	279,988	2,716	0	0	0	282,704
共済等	48,125	0	0	0	0	0	48,125
その他貸付金等	52,138	0	0	0	0	0	52,138
合計	18,286,268	7,896,393	1,135,810	979,550	505,922	31,725	28,835,668
構成比	63.4%	27.4%	3.9%	3.4%	1.8%	0.1%	100.0%

図 1 地方債借入額、償還額及び実質公債費比率の推移

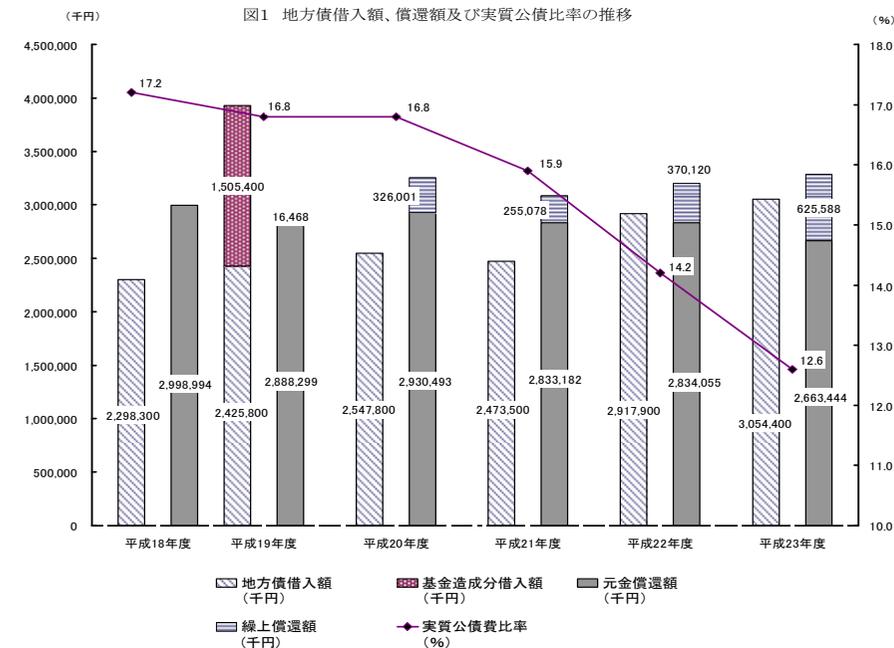
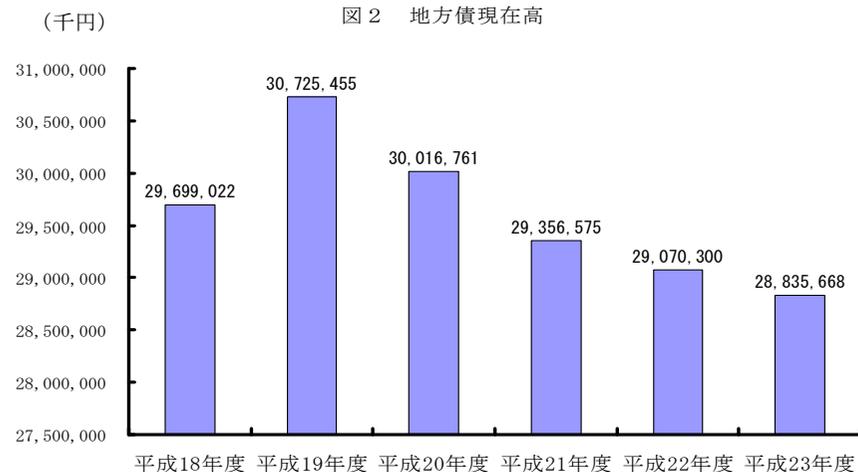


図 2 地方債現在高



※図 1、2 の地方債借入額、元金（繰上）償還額及び現在高は、一般会計のみを計上。

※図 2 の 19 年度以降の現在高には、19 年度に借り入れた基金造成分の起債現在高を計上。

※21 年度における電気事業特別会計の新設により、図 2 の 21 年度以降の現在高には、電気事業分の起債現在高（21 年度 38,245 千円、22 年度 30,912 千円、23 年度 23,424 千円）は含まない。

別紙 地域活性化事業・雇用対策事業

1 地域活性化事業

現下の厳しい経済状況を踏まえ、地域経済の活性化及び雇用の創出が図られるよう、市道改良や公的施設の改修など生活基盤のインフラ整備などを行った。

(1) 地域活性化・きめ細かな交付金（平成22年度繰越明許費）

国の平成22年度第2次補正予算で創設された交付金を活用し、緊急経済対策の趣旨に沿ったきめ細かなインフラ整備事業を実施し、地域活性化等に取り組むことができた。

○地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業一覧

(単位：千円)

事業名	担当課	事項別明細書	事業費
庁舎施設整備事業	総務課	94 頁	9,163
庁用自動車整備事業	総務課	94 頁	9,324
道路反射鏡整備事業	建設課	110 頁	4,356
社会福祉センター整備事業	福祉課	142 頁	20,456
高齢者生活福祉センター整備事業	長寿保険課	150 頁	11,212
児童福祉施設整備事業	福祉課	166 頁	2,421
斎場施設整備事業	市民課	182 頁	3,308
企業会計繰出金	財政課	186 頁	40,000
最終処分場施設整備事業	市民課	192 頁	5,954
子牛共同育成施設整備事業	農林課	208 頁	101,540
農道等整備事業	農林課	212 頁	9,991
農業施設整備事業	農林課	214 頁	4,981
林道整備事業	農林課	220 頁	4,999
漁港施設整備事業	水産課	232 頁	23,414
中小企業振興対策事業	商工課	240 頁	9,360
観光施設整備事業	観光課	256 頁	19,939
道路単独改良事業	建設課	264 頁	40,000
河川改良事業	建設課	264 頁	3,000
平戸交流広場整備事業	都市計画課	268 頁	1,312
火災予防推進事業	消防本部	286 頁	284
消防防災施設整備事業	消防本部	290 頁	4,038
消防防災設備整備事業	消防本部	290 頁	5,540
小学校施設整備事業	教育総務課	302 頁	10,489
学校統廃合事業	教育総務課	302 頁	36,014
中学校施設整備事業	教育総務課	310 頁	4,228
幼稚園施設整備事業	教育総務課	318 頁	294
公民館施設整備事業	生涯学習課	328 頁	4,879
社会教育施設整備事業	生涯学習課	332 頁・334 頁	1,300
文化施設整備事業	文化遺産課	348 頁	9,944
社会体育施設整備事業	生涯学習課	356 頁	13,662
学校給食設備整備事業	教育総務課	358 頁	29,673
合 計			445,075 (うち交付金276,921)

※上記事業費については、全体事業費のうち当該交付金の対象経費のみを計上。

(2) 住民生活に光をそそぐ交付金（平成22年度繰越明許費）

これまで住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野に対する地方の取り組みを支援するために創設された交付金を活用し、消費者相談室と福祉相談室の整備を行った。

○住民生活に光をそそぐ交付金事業一覧

(単位：千円)

事業名	担当課	事項別明細書	事業費
消費者相談室等整備事業	総務課	94 頁	1,671 (うち交付金1,540)

※上記事業費については、全体事業費のうち当該交付金の対象経費を計上。

別紙 地域活性化事業・雇用対策事業

2 雇用対策事業

平成 21 年度から深刻な雇用失業情勢を踏まえ、国の交付金を財源として県に創設された、「ふるさと雇用再生特別基金事業」及び「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」の助成を受け、雇用機会の創出に取り組んだ。

(1) ふるさと雇用再生特別基金事業

本事業は市が民間企業等へ委託して、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、継続した雇用確保のために、地域の実情や創意工夫に基づいて地域求職者等の雇用機会を創出する事業であり、6 事業 13 人の雇用を実施した。

○ふるさと雇用再生特別基金事業一覧 (単位：千円)

事業名	担当課	事項別明細書	事業費	労働者数(人)		実施方法
					うち新規雇用失業者数	
しいたけ新商品開発モデル事業	農林課	218 頁	7,567	2	2	委託
「ふるさと平戸」の地場産品流通ネットワーク構築事業	商工物産課	238 頁	22,812	5	5	委託
ほんもの体験型観光推進事業	観光課	244 頁	1,758	2	2	委託
観光施設展示物案内事業	観光課	246 頁	1,623	1	1	委託
地域資源活用旅行商品造成事業	観光課	246 頁	8,983	2	2	委託
東アジア観光誘客推進事業	観光課	250 頁	7,572	1	1	委託
合 計			50,315 (うち県費 50,315)	13	13	

※上記事業費については、全体事業費のうち当該事業の対象経費を計上。

(2) 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業

本事業は市が直接実施または民間企業等へ委託して、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までをつなぐ短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業で、30 事業を実施し 276 人の新規雇用を創出した。

○緊急雇用創出事業臨時特例基金事業一覧 (単位：千円)

事業名	担当課	事項別明細書	事業費	労働者数(人)		実施方法
					うち新規雇用失業者数	
公有財産環境整備事業	財政課	96 頁	966	13	13	委託
情報格差等支援対策事業	企画課	102 頁	830	1	1	直接
平戸オランダ商館活用まちづくり推進事務事業	企画課	112 頁	1,232	2	2	直接
地籍調査情報電子化事業	建設課	120 頁	1,675	2	2	直接
登記情報照合事業	税務課	128 頁	5,645	8	8	直接
不法投棄ごみ調査撤去事業	市民課	188 頁	2,191	4	4	直接
耕作放棄地解消サポート事業	農業委員会	194 頁・196 頁	3,561	4	4	直接
農援隊設置事業	農林課	200 頁	15,990	9	9	委託
担い手支援コーディネーター設置事業	農林課	204 頁	2,057	2	2	委託

○緊急雇用創出事業臨時特例基金事業一覧 (単位：千円)

事業名	担当課	事項別明細書	事業費	労働者数(人)		実施方法
					うち新規雇用失業者数	
農道環境整備事業	農林課	210 頁	3,549	43	43	委託
森林公園環境整備事業	農林課	216 頁	3,507	7	6	委託
林道環境整備事業	農林課	216 頁	12,810	7	6	委託
漁港管理システム化事業	水産課	228 頁	19,530	12	9	委託
ひらどキャラクターまちなか賑わい事業	商工物産課	238 頁	21,850	18	16	委託
観光施設等景観保全事業	観光課	242 頁	42,222	7	7	直接
観光施設台帳整備事業	観光課	242 頁	1,850	36	34	委託
観光統計に要する交通量調査等事業	観光課	246 頁	6,452	10	10	直接
観光施設利用者数調査等事業	観光課	246 頁	811	1	1	直接
大島地区公衆用道路登記事業	建設課	258 頁	1,771	2	2	直接
屋外広告物実態調査台帳作成事業	都市計画課	270 頁	4,200	5	4	委託
災害危険箇所及び避難施設調査事業	総務課	292 頁	1,580	2	2	直接
学校教育環境整備事業	教育総務課	300 頁・308 頁	4,887	4	4	直接
学校図書館管理システム円滑化推進事業	学校教育課	302 頁・312 頁	8,557	10	10	直接
沖図書館保存整備事業	生涯学習課	328 頁	1,500	2	2	直接
和蘭商館跡等史跡周辺環境整備事業	文化遺産課	338 頁	5,282	5	4	委託
和蘭商館資料等整理調査事業	文化遺産課	338 頁	3,414	5	5	直接
平戸オランダ商館交通誘導整理事業	文化遺産課	346 頁	16,771	18	18	委託
ひらどツアーウォーク事務補助員雇用事業	生涯学習課	348 頁	1,091	1	1	委託
第 69 回国民体育大会開催準備事業	生涯学習課	350 頁・352 頁	4,118	4	4	直接
社会体育施設等環境美化整備事業	生涯学習課	352 頁	2,496	43	41	委託
合 計			202,395 (うち県費 202,174)	289	276	

※上記事業費については、全体事業費のうち当該事業の対象経費を計上。